

2. フィールドワーク

1) モニタリング調査

(1) アンケート調査の結果について

国土施策創発調査では、以下の3種のアンケート調査を実施した。

対象	調査実施期間	配布数	回収数
鬼怒川温泉のホテル・旅館の宿泊者	1月28日(金)～30日(日)	1000通(調査期間中の鬼怒川温泉のホテル・旅館(18カ所)の宿泊客)	638通 (回収率63.8%)
潜在的顧客としての台東区民	1月30日(日)～2月6日(日)	600通(台東区に20歳代～70歳代の区民、男女各50名の無作為抽出を依頼)	165通 (回収率27.5%)
鬼怒川温泉のホテル・旅館の経営者	1月28日(金)～2月6日(日)	42通(鬼怒川温泉旅館組合加盟の全ホテル・旅館の経営者)	19通 (回収率45.2%)

○宿泊者アンケートと台東区民アンケートの調査結果 (記入者の属性)

- ・台東区民アンケートで「鬼怒川温泉に行ったことがある」と答えた人は86%に上った。
- ・台東区からは団体旅行で鬼怒川温泉を訪れたことのある人が多い。

	男女比	グループの年齢構成	居住地(上位)	旅行目的(上位)	備考
宿泊者アンケート	男性:44% 女性:51%	子ども(18歳以下)を含む:20% 大人(19～64歳)のみ:65% 高齢者(65歳以上)を含む:15%	埼玉県:28% 東京都:23% 栃木県:13%	家族や親戚と:67% 友人と:19% その他:7% 団体旅行:5%	※「その他」目的は「恋人と」「仕事」など ※旅行目的は、調査時の旅行目的を聴取
台東区民アンケート	男性:42% 女性:55%	20代～30代:26% 40代～50代:38% 60代～70代:35%	(台東区)	家族や親戚と:66% 友人と:50% 団体旅行:44%	※旅行目的は鬼怒川への旅行経験者に複数回答で聴取

(鬼怒川温泉は自然が豊かで風光明媚なところが良い)

- ・鬼怒川温泉の良いところを複数回答で尋ねたところ「自然が豊かで風光明媚」が宿泊客・台東区民いずれのアンケートでも最上位だった。
- ・その他の肯定評価項目は、宿泊者では「温泉の質」「風呂の設備」「ホテルや旅館の食事」「ホテルや旅館のサービス」などの宿泊施設に関する選択肢と「有名な観光地が周辺にある」「テーマパークが周辺にある」といった立地条件に関する選択肢が同程度であった。
- ・一方、台東区民アンケートでは、宿泊施設に関する選択肢より、立地条件に関する選択肢を

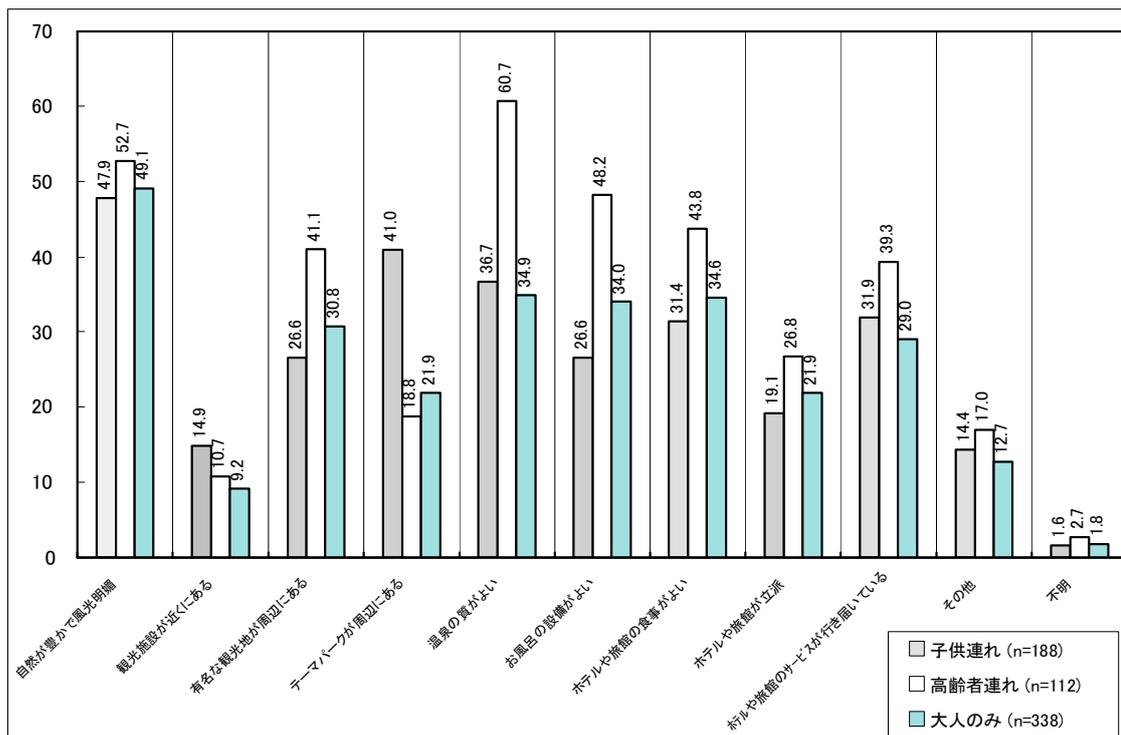
評価する人が多かった。

- ・肯定評価項目の自由回答では「(居住地からの)交通の便がよい・近い」が多く挙がっている。

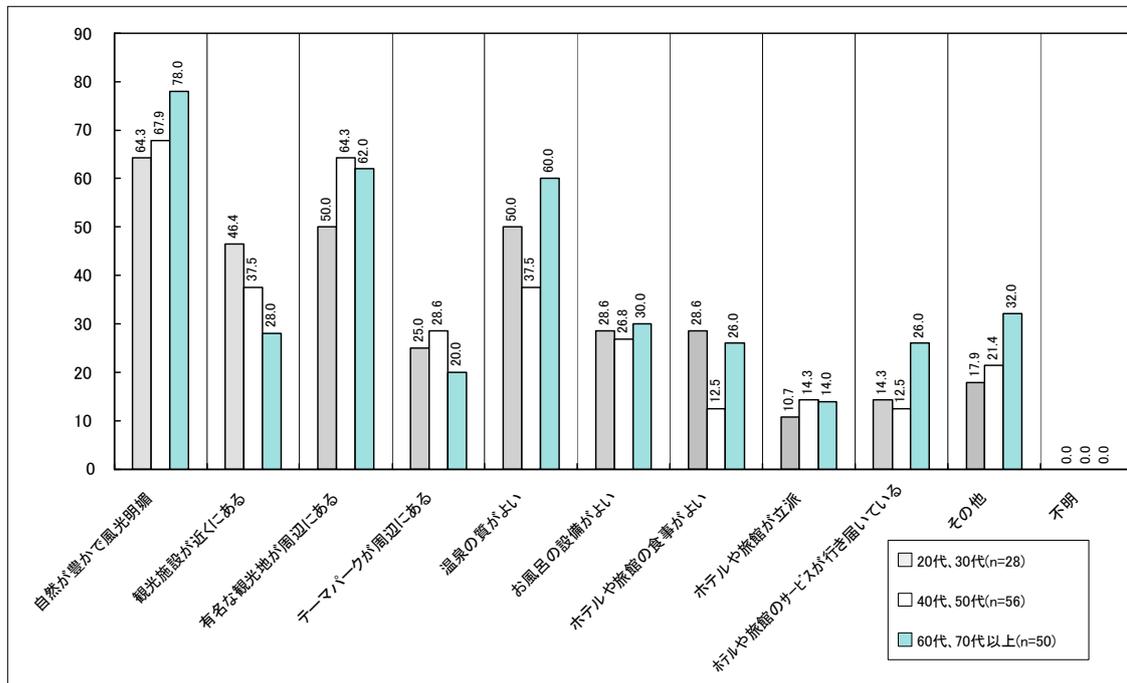
(高齢者は宿泊施設に対する満足度が高い)

- ・65 歳以上の高齢者を含む宿泊者グループに着目すると、「温泉の質」や「風呂の設備」「食事」「サービス」などの宿泊施設に対する肯定評価が、子ども連れや大人だけのグループに比べて高い。
- ・一方、子ども連れグループの肯定評価が、他のグループを上回っているのは「テーマパークが周辺にある」のみで、鬼怒川温泉はファミリー世代より高齢者の嗜好を満足させる温泉地であると考えられる。

鬼怒川温泉の良いところ（宿泊者アンケート：グループ構成別）



鬼怒川温泉の良いところ（台東区民アンケート：年代別）



（ほとんどの人が「もう一度行きたい（行ってもいい）」と答えるが、不満や要望も多い）

- ・ 宿泊者および鬼怒川温泉への旅行経験のある台東区民に「もう一度、鬼怒川温泉に行きたい（行ってもいい）か」と尋ねたところ、宿泊者の95%、台東区民の82%が「はい」と回答した。
- ・ その一方で、自由回答で「鬼怒川温泉への要望や期待」を尋ねたところ、宿泊者から約400項目、台東区民から約150項目に及ぶ不満点や要望・提案のメッセージが寄せられた。

（活気がない、さびれている点を要改善）

- ・ 鬼怒川温泉の街に対する不満や要望では「街に活気がない」「さびれている」点をあげる人が最も多く、土産物屋などの物販店舗や飲食店が少ないこと、閑散とした駅前、廃業旅館の存在などが、その印象をさらに強めている。

（食事は量より質、個々の努力や工夫はあっても連携がとれていない）

- ・ ホテルや旅館に対する不満や要望では食事に関するものが最も多く、「量や品数より質」を求める意見が目立った。
- ・ また上記の「街の活気のなさ」を踏まえて、個々の宿泊施設はそれぞれに集客の努力や工夫をしているものの、宿泊施設間や地域との連携が上手く図れていないのではないか、といった指摘もあった。

(温泉地らしい風情のある温泉地が人気)

- ・行ってみたい温泉地の要素を複数回答で尋ねたところ「温泉地らしい風情がある」が宿泊客・台東区民いずれのアンケートでも最上位だった。
- ・その他の要素としては「温泉表示などがしっかりしている」「食事やチェックイン／チェックアウト時間を選べる」「湯めぐりができる」などがあがっている。

○ホテル・旅館の経営者アンケートの調査結果の概要

(宿泊客は個人客中心。経営状況は厳しいが、新規投資は継続)

- ・宿泊客に占める団体客と個人客の割合は「個人客の方がやや多い」「ほとんどが個人客」と答えた施設が79%で、今後、個人客を中心に誘致を行うと答えた施設が78%にのぼった。
- ・経営状態を10年前と比較して「悪くなった」と答えた施設は84%に上ったが、一方で今後5年間に施設整備や改修などの新規投資を予定している施設が42%あった。

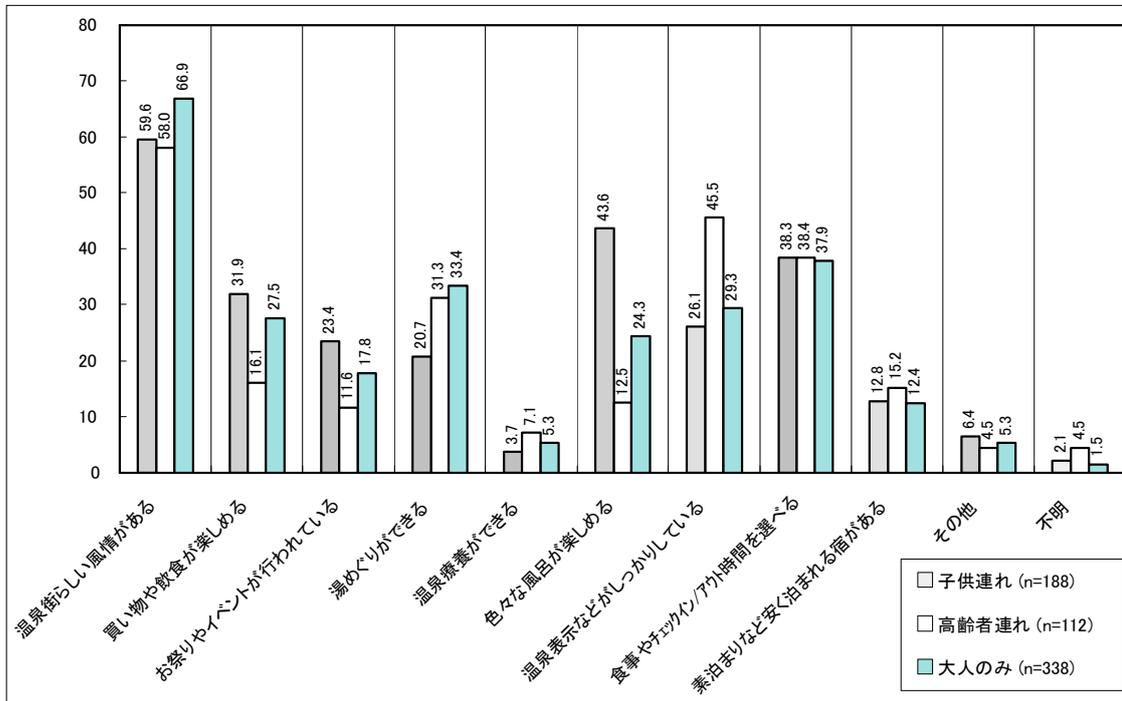
(立地特性が鬼怒川温泉の強みだが、温泉地の風情に欠ける点が弱み)

- ・鬼怒川温泉の強みとしては「東京（首都圏）からの交通の便がよい」「名前が全国的に知られている」「有名な観光地が近くにある」「自然が豊かで風光明媚」などの立地特性をあげた施設が多かった。
- ・一方「弱み」としては「温泉地の風情に欠ける」をあげる施設が最も多かった。

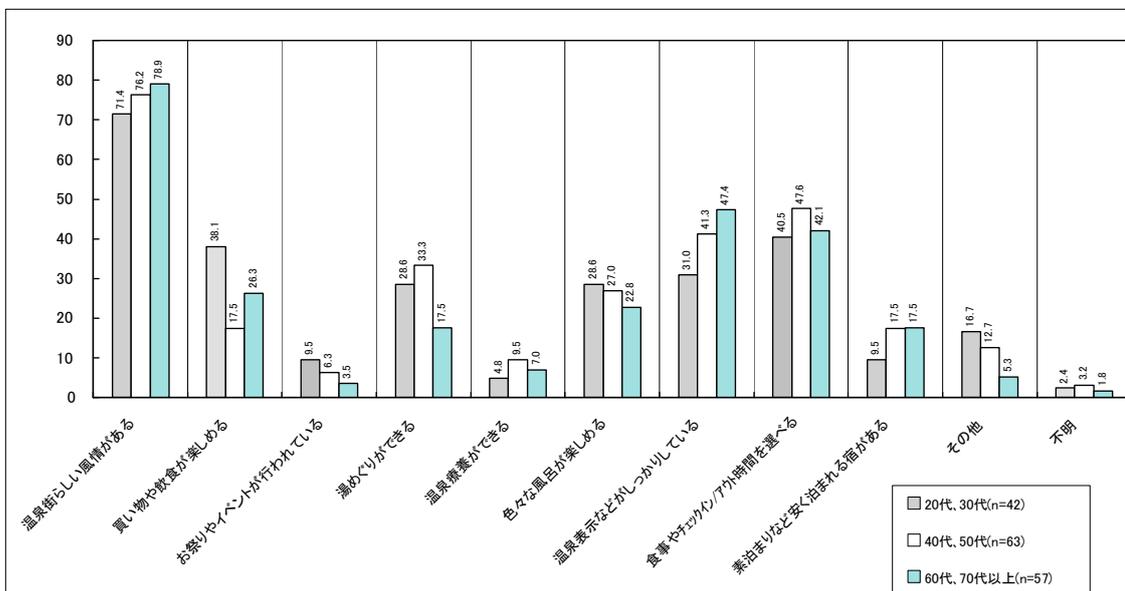
(大規模施設に少ない従業員。廃業旅館の活用やイベントでにぎわいを取り戻す)

- ・「個人客のニーズへの対応が進まない理由」を尋ねたところ、施設が大きすぎる一方で、経費節減のために従業員を減らしていることから、細やかな対応が出来ないとの答えが多かった。
- ・今後「鬼怒川温泉がにぎわいを取り戻す方策」としては、廃業旅館の整理・活用、大きなイベントの実施や街中の観光拠点整備をあげる施設が多かった。

行きたい温泉地（宿泊者アンケート：グループ構成別）



行きたい温泉地（台東区民アンケート：年代別）



(2) 宿泊客へのアンケート（鬼怒川温泉宿泊者アンケート調査）

①概要

□アンケート調査の目的

- ・鬼怒川温泉に立地しているホテル・旅館の宿泊者を対象に、旅行の概要や、鬼怒川温泉の魅力や問題点などについての情報・意見を聴取する。

□調査期間

- ・平成17年1月28日（金）、29日（土）、30日（日）の3日間

□調査対象者

- ・調査期間中に、鬼怒川温泉旅館組合加盟のホテル・旅館（組合青年部の旅館・ホテルを中心に、全18カ所）に宿泊した旅行客

□配布数・回収数

- ・配布数：1000通
- ・回収数：638通（回収率63.8%）

□調査方法

- ・チェックイン時に、フロントで1室につき1通のアンケート用紙を配布
- ・チェックアウト時にフロントで回収

②アンケート用紙

まず、お客さまについてお聞かせください。	
問1	<p>記入者について、当てはまるものに○をつけてください。</p> <p>性別：男性 女性</p> <p>年齢層：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上</p> <p>居住地：東京都 埼玉県 千葉県 神奈川県 栃木県 茨城県 群馬県 その他（具体的に）</p> <p>職業：会社員・公務員 自営業 学生 主婦 パート・アルバイト 退職者 その他（具体的に）</p>
問2	<p>今回、一緒に旅行している人数と年齢構成を（あなたを含めて）教えてください。</p> <p>18歳以下： 人</p> <p>19歳～64歳： 人</p> <p>65歳以上： 人</p> <p>合計： 人</p>
問3	<p>今回の旅行は、どのような旅行ですか。当てはまるものに○をつけてください。</p> <p>1 家族や親戚との旅行</p> <p>2 友人との旅行</p> <p>3 一人旅</p> <p>4 団体旅行（社員旅行、組合、同窓会、町内会など）</p> <p>5 その他（具体的に）</p>
つぎに、鬼怒川温泉の観光や街についてお聞かせ下さい。 ※記入者本人のお考えで結構です	
問4	<p>鬼怒川温泉で良かったことは何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>1 鬼怒川や山並みなど自然が豊かで風光明媚</p> <p>2 ロープウェイやTEPCO 鬼怒川ランドなど観光施設が近くにある</p> <p>3 日光東照宮や竜王峡など、有名な観光地が周辺にある</p> <p>4 日光江戸村や東武ワールドスクウェアなど、テーマパークが周辺にある</p> <p>5 温泉（お湯）の質がよい</p> <p>6 お風呂の設備がよい</p> <p>7 ホテルや旅館の食事がよい</p> <p>8 ホテルや旅館が立派</p> <p>9 ホテルや旅館のサービスが行き届いている</p> <p>10 その他（具体的に）</p>
問5	<p>鬼怒川温泉で期待はずれだったことは何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>1 温泉地の風情に欠ける（湯けむりや土産物屋など）</p> <p>2 鬼怒川の河原や周辺の山を歩けない</p> <p>3 見物できるような名所や旧跡が街の中にある</p> <p>4 周辺の観光地やテーマパークに魅力がない</p> <p>5 外湯や他のホテル・旅館のお風呂の【湯めぐり】ができない</p> <p>6 温泉（お湯）の質が不満足</p> <p>7 お風呂の設備が不満足</p> <p>8 ホテルや旅館の料理が不満足</p> <p>9 ホテルや旅館の施設や設備が不満足</p> <p>10 ホテルや旅館のサービスが不満足</p> <p>11 その他（具体的に）</p>
問6	<p>あなたはもう一度、鬼怒川温泉に来たいですか。</p> <p>1 来たい・来ても良い</p> <p>2 来たくない</p>

問7	<p>このホテル・旅館に宿泊中に、街に出ましたか。または出る予定ですか（徒歩のみを対象とします）</p> <p>1 出た（出る予定である）</p> <p>2 出していない（出る予定はない） →問9へ</p>
問8	<p>問7で、1（街に出た・出る予定）と答えた方に伺います。その目的は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>1 散歩</p> <p>2 買い物</p> <p>3 食事や喫茶</p> <p>4 お酒を飲む</p> <p>5 観光（目的地は： _____）</p> <p>6 他の温泉に入る</p> <p>7 その他（具体的に _____）</p>
問9	<p>問7で、2（街に出していない・出る予定はない）と答えた方に伺います。その理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>1 魅力的なお店がなさそう</p> <p>2 歩道がなく、快適に歩けそうもない</p> <p>3 見物できるような名所や旧跡が街の中にない</p> <p>4 ホテルや旅館内の施設が充実していて用が足りる</p> <p>5 時間がない</p> <p>6 寒い（雪が積もっている）</p> <p>7 その他（具体的に _____）</p>

最後に、その他の温泉や今後のとりくみについてお聞かせください。

問10	<p>あなたが行ってみたいと思う温泉はどんな温泉ですか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。</p> <p>1 温泉街らしい風情がある</p> <p>2 買い物や飲食が楽しめる</p> <p>3 にぎやかなお祭りやイベントが行われている</p> <p>4 外湯や、他のホテルや旅館の風呂の「湯めぐり」ができる</p> <p>5 医師などの指導を受けながら、温泉療養が出来る</p> <p>6 クアハウスやスパ、温泉プールなど色々な風呂が楽しめる</p> <p>7 温泉表示などがしっかりしていて信頼できる</p> <p>8 食事やチェックイン／チェックアウト時間を好みで選べる宿がある</p> <p>9 素泊まりなど、安く泊まれる宿がある</p> <p>10 その他（具体的に： _____）</p>						
問11	<p>あなたが今まで行ったことがあり、もう一度行きたい温泉はどこですか。3つまでお答えください。その理由もお書き添えください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">（ _____ ）温泉</td> <td style="width: 50%;">理由（ _____ ）</td> </tr> <tr> <td>（ _____ ）温泉</td> <td>理由（ _____ ）</td> </tr> <tr> <td>（ _____ ）温泉</td> <td>理由（ _____ ）</td> </tr> </table>	（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）	（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）	（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）
（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）						
（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）						
（ _____ ）温泉	理由（ _____ ）						

問 12	現在、鬼怒川温泉のある藤原町では、皆さまに愛される温泉地づくりを進めています。これからの鬼怒川温泉への要望や期待があったら教えてください。
------	---

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご回答頂いたアンケートは、フロントまでお持ちください。ご回答のお礼に【お風呂セット】を差し上げます。

なお、付属のボールペンはどうぞお持ち帰り下さい。

「お客さまアンケート」へのご協力をお願い

鬼怒川温泉をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、鬼怒川温泉のある藤原町では、お客さまの生の声をこれからのまちづくりに生かしたいと考え、「お客さまアンケート」を実施することにいたしました。

おくつろぎのところ誠に恐縮ですが、鬼怒川温泉がこれからも皆さまの憩いの場として発展できるよう、アンケートにご協力をお願いいたします。

ご回答いただいたアンケートは、フロントまでお持ちください。
ご回答のお礼に【お風呂セット】をさしあげます。

どうぞ、これからも鬼怒川温泉をよろしく願いいたします。

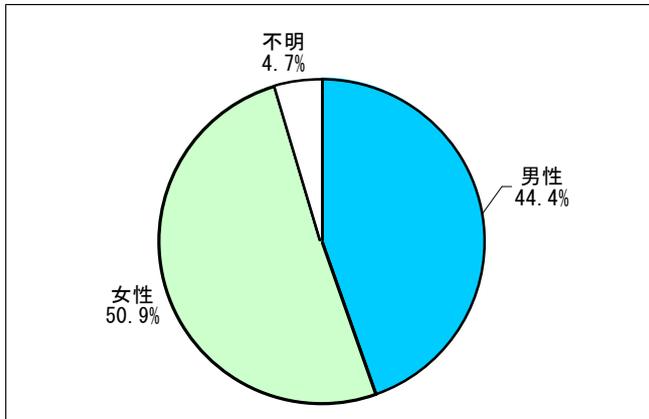
平成17年1月吉日

藤 原 町
鬼怒川温泉旅館組合

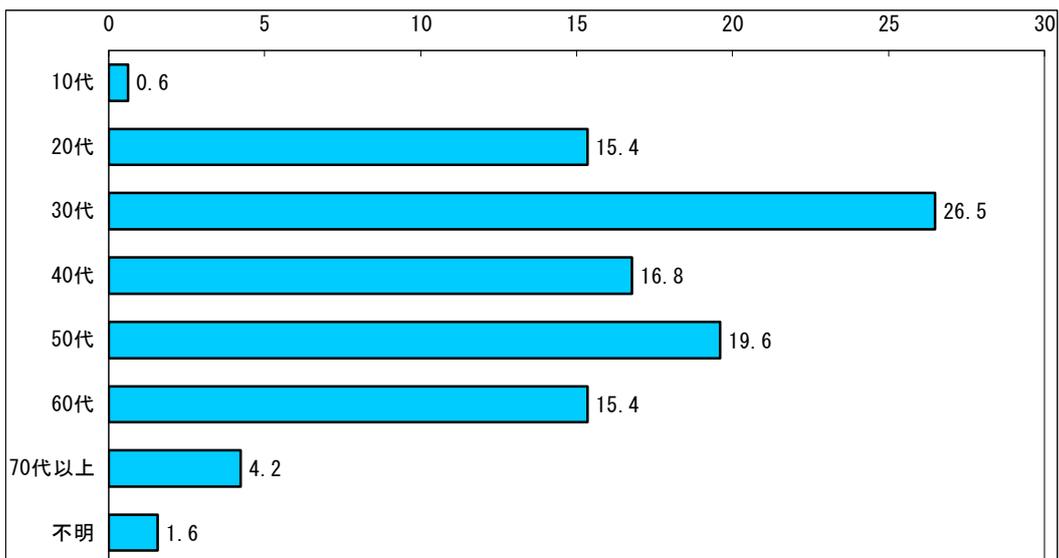
③集計結果

■属性

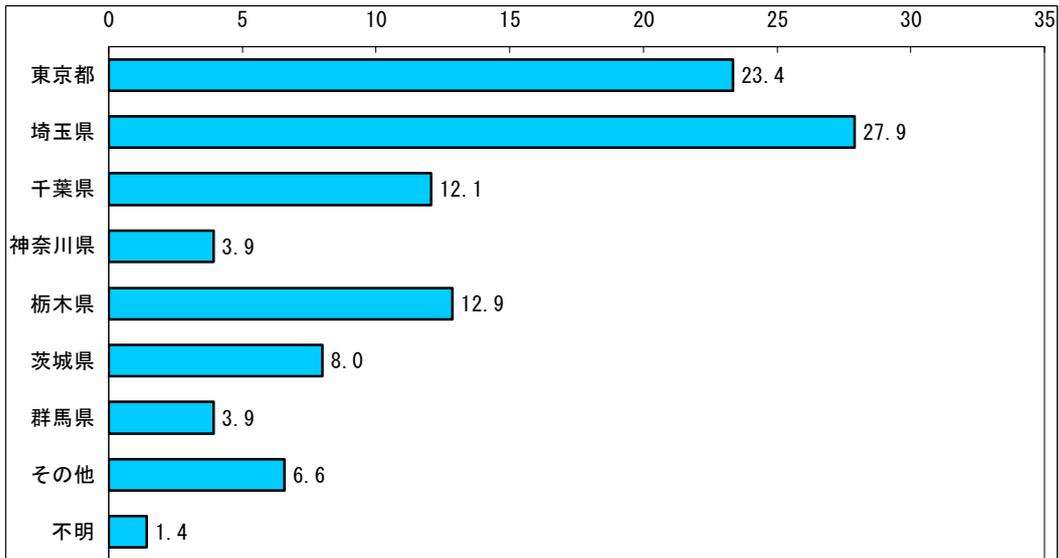
問 1-1 記入者の性別 (n=638)



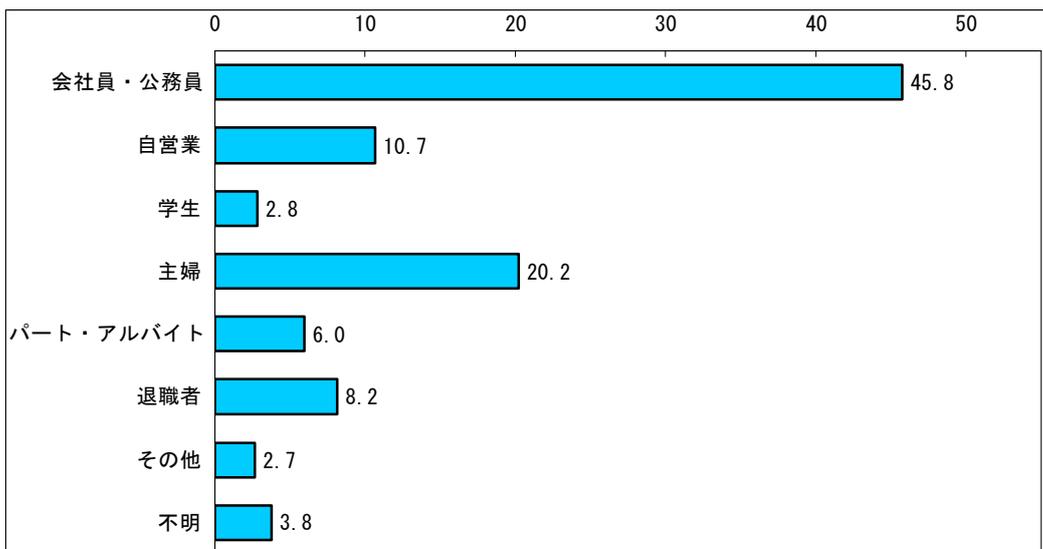
問 1-2 記入者の年齢 (n=638)



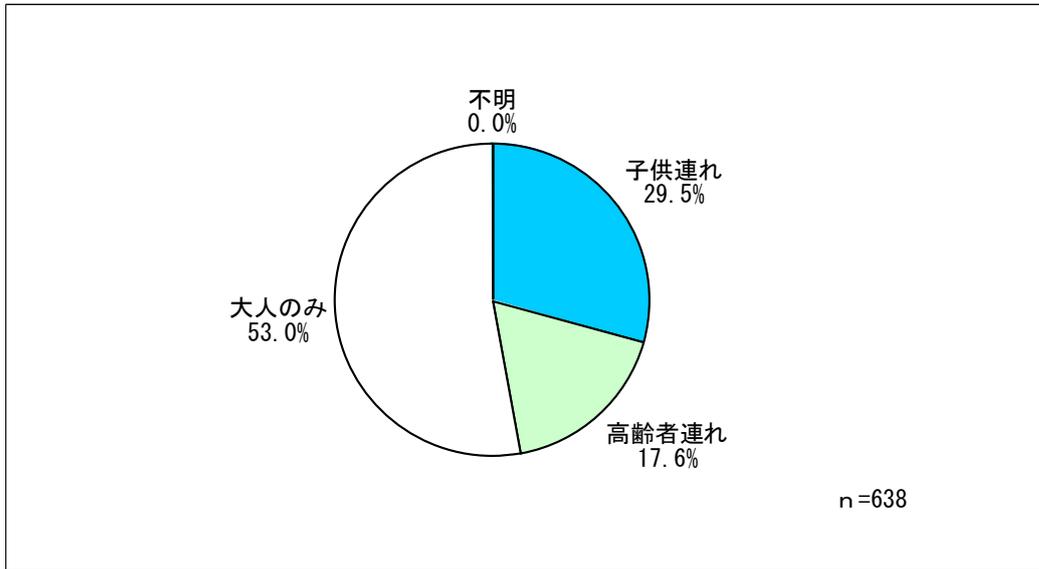
問 1-3 記入者の居住地 (n=638)



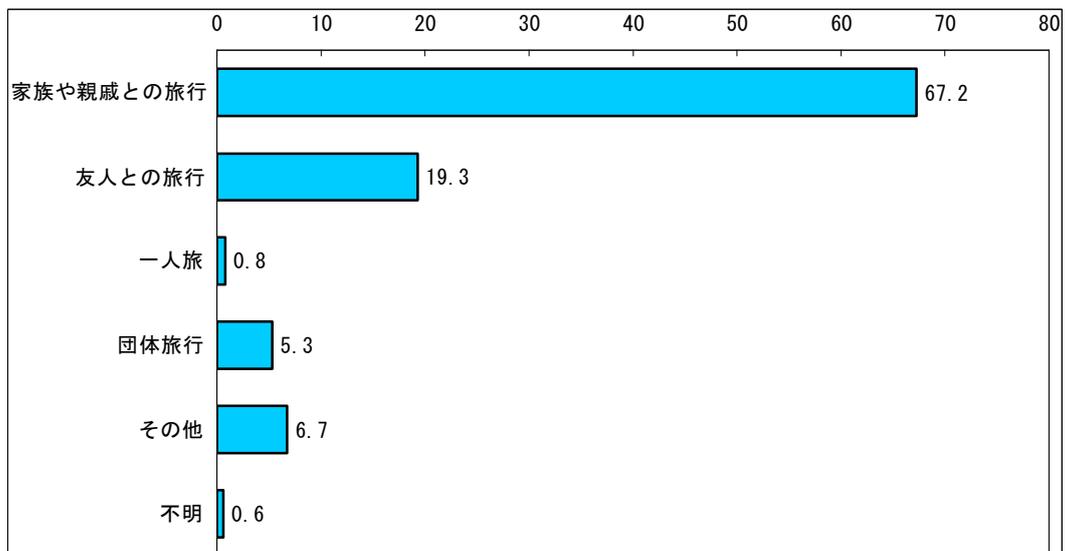
問 1-4 職業 (n=638)



問2 旅行者の年齢構成 (n=638)

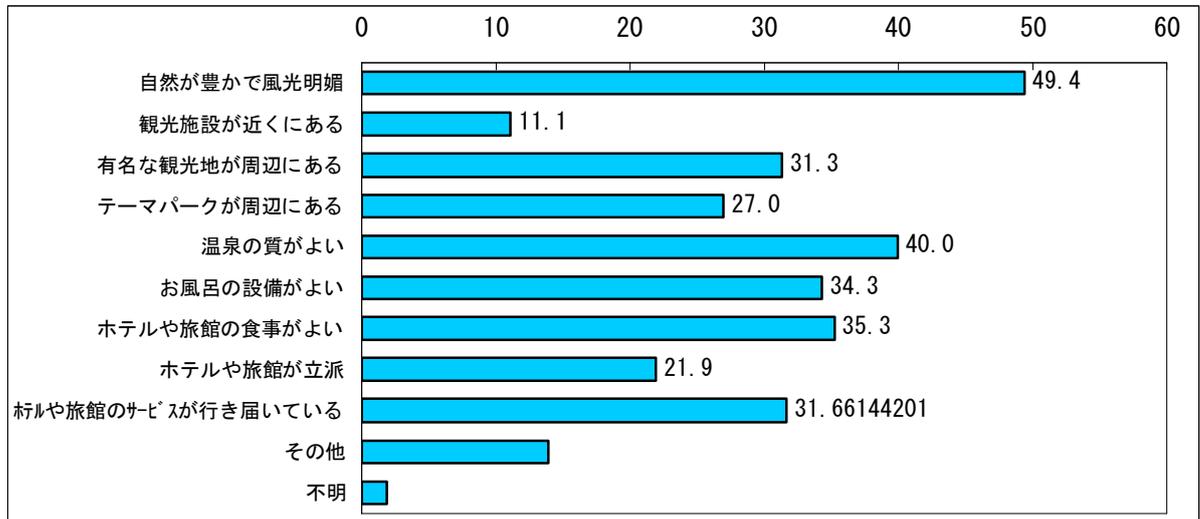


問3 今回の旅行の目的 (n=638)

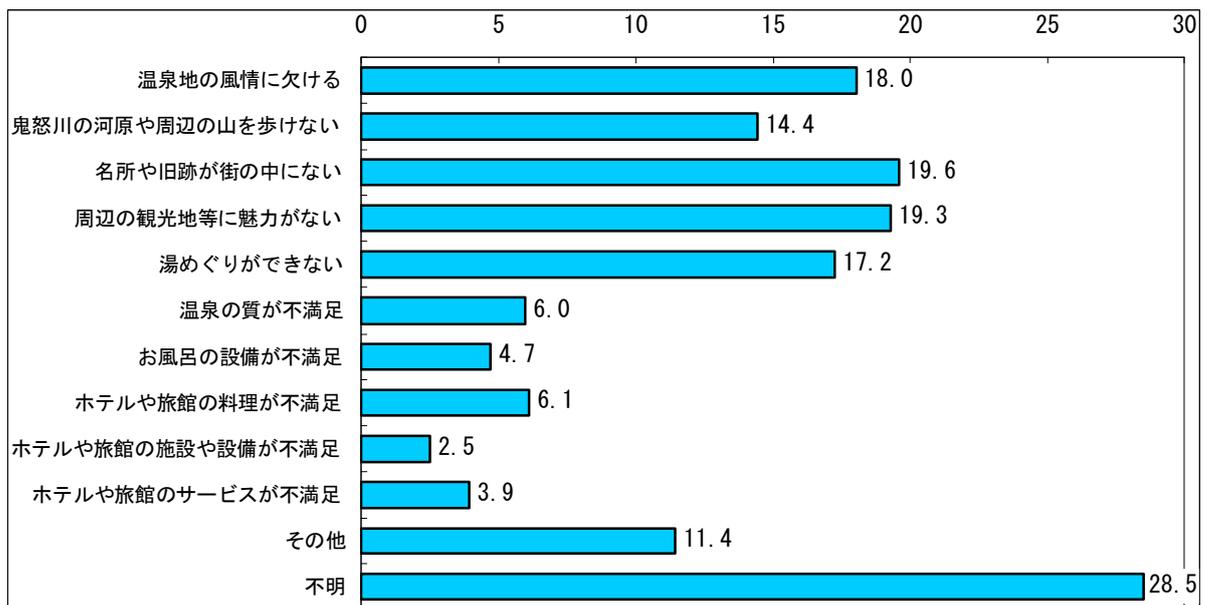


■単純集計結果

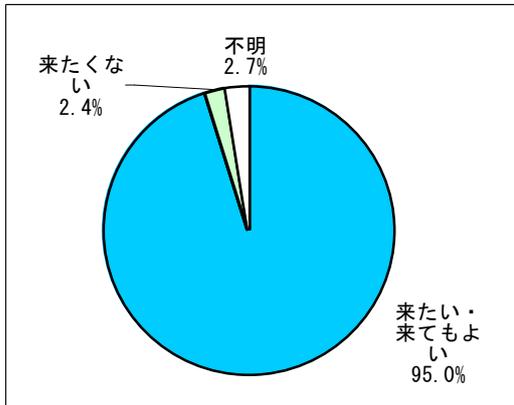
問4 鬼怒川温泉で良かったこと (n=638)



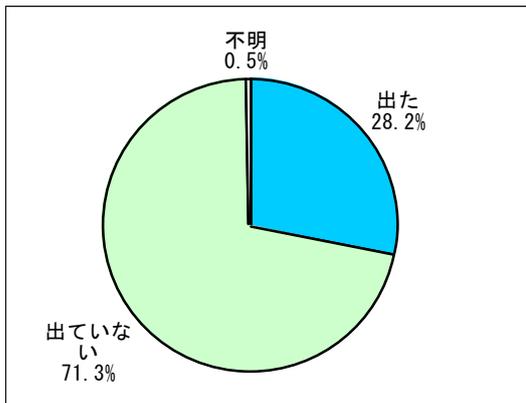
問5 鬼怒川温泉で期待はずれだったこと (n=638)



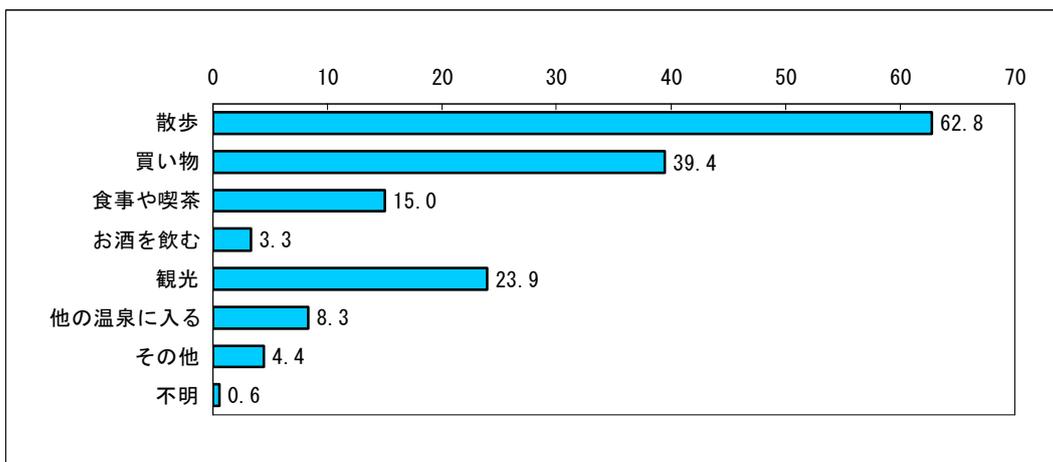
問6 再来訪の意向 (n=638)



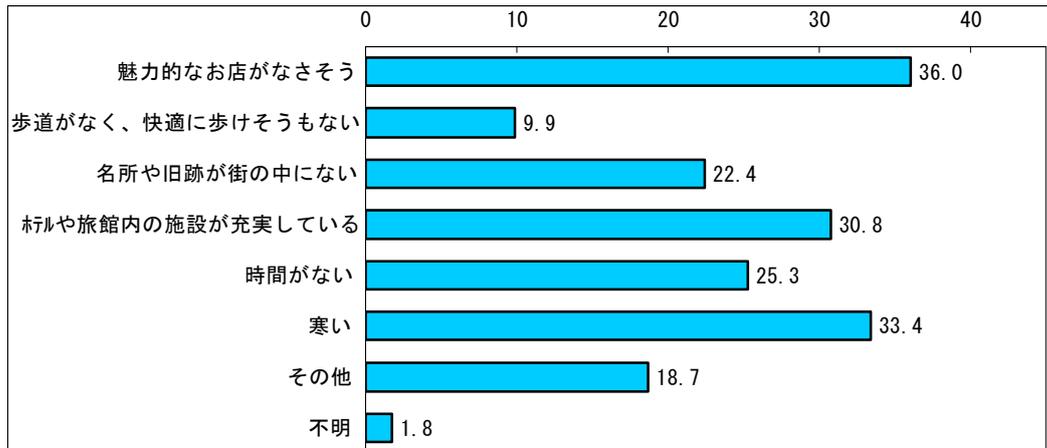
問7 宿泊中に街に出る予定 (n=638)



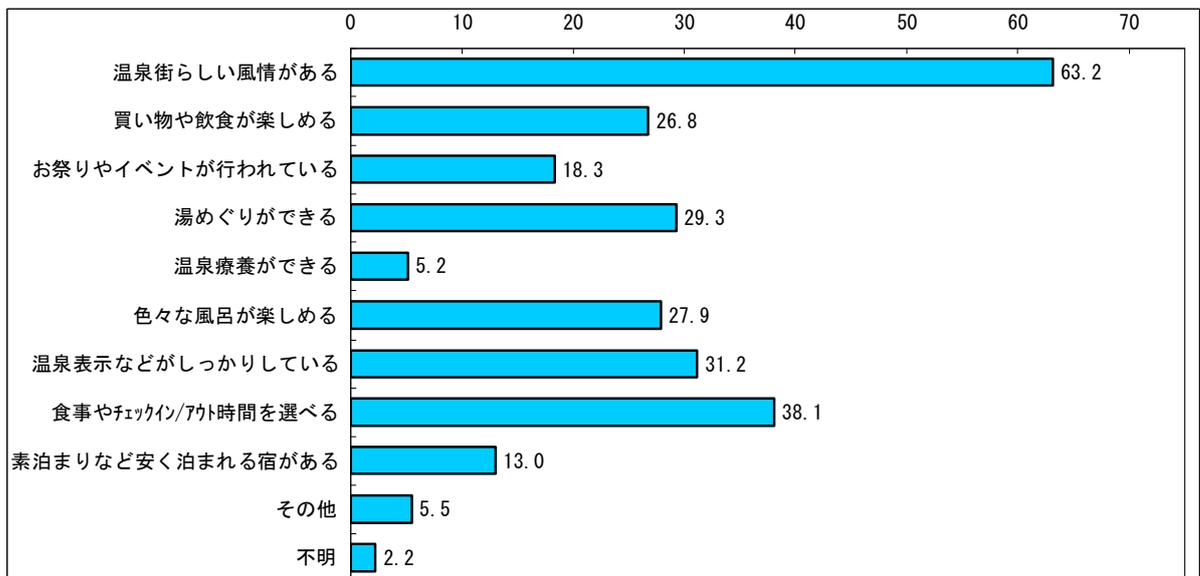
問8 街に出る目的 (n=180)



問9 街に出ない理由 (n=455)

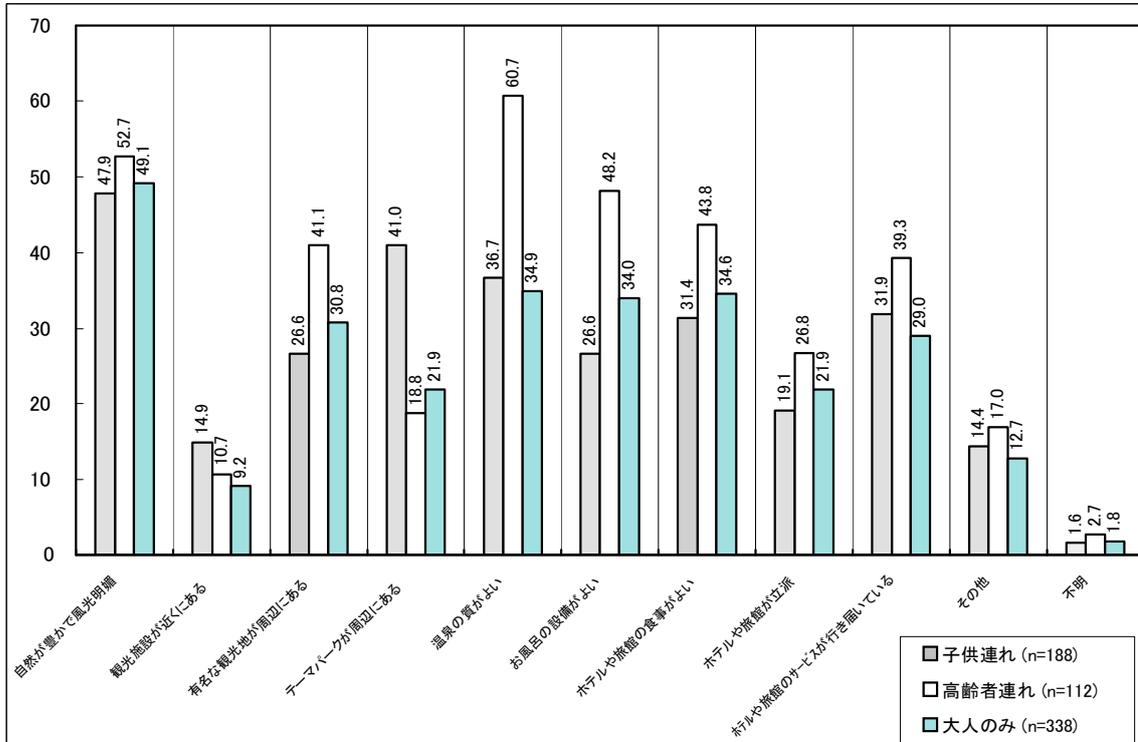


問10 行ってみたいと思う温泉 (n=638)

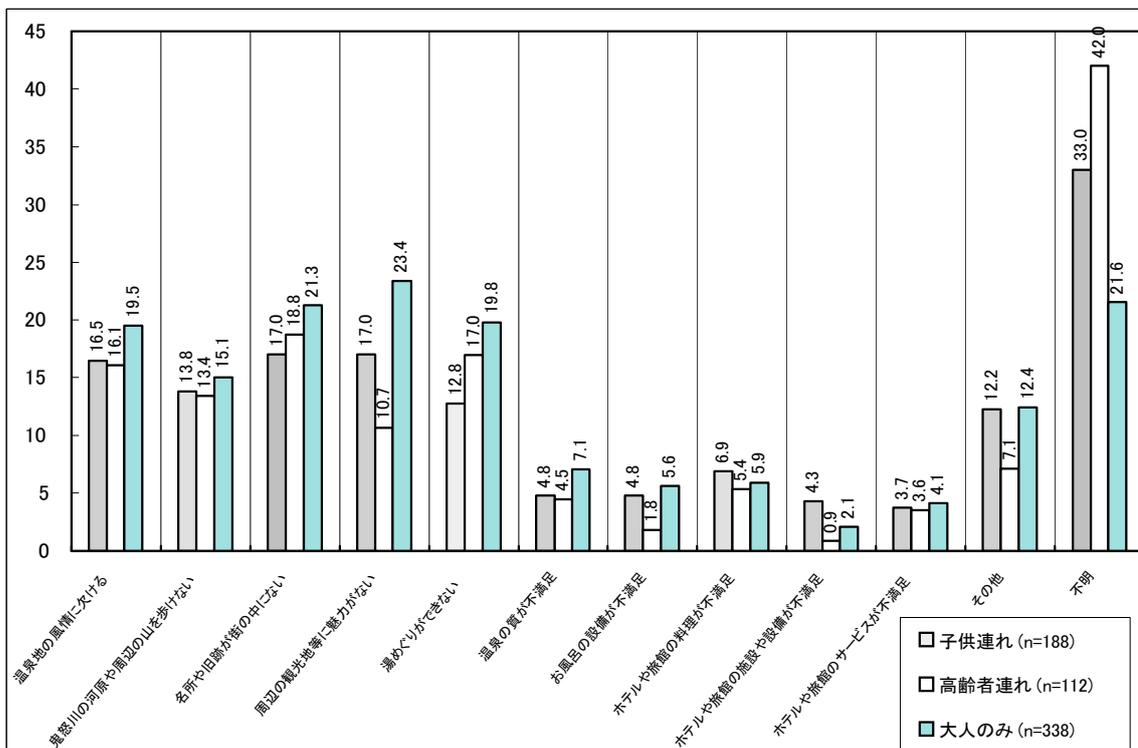


■旅行者のグループ構成別の集計結果（子ども連れ、高齢者連れ、大人のみ）

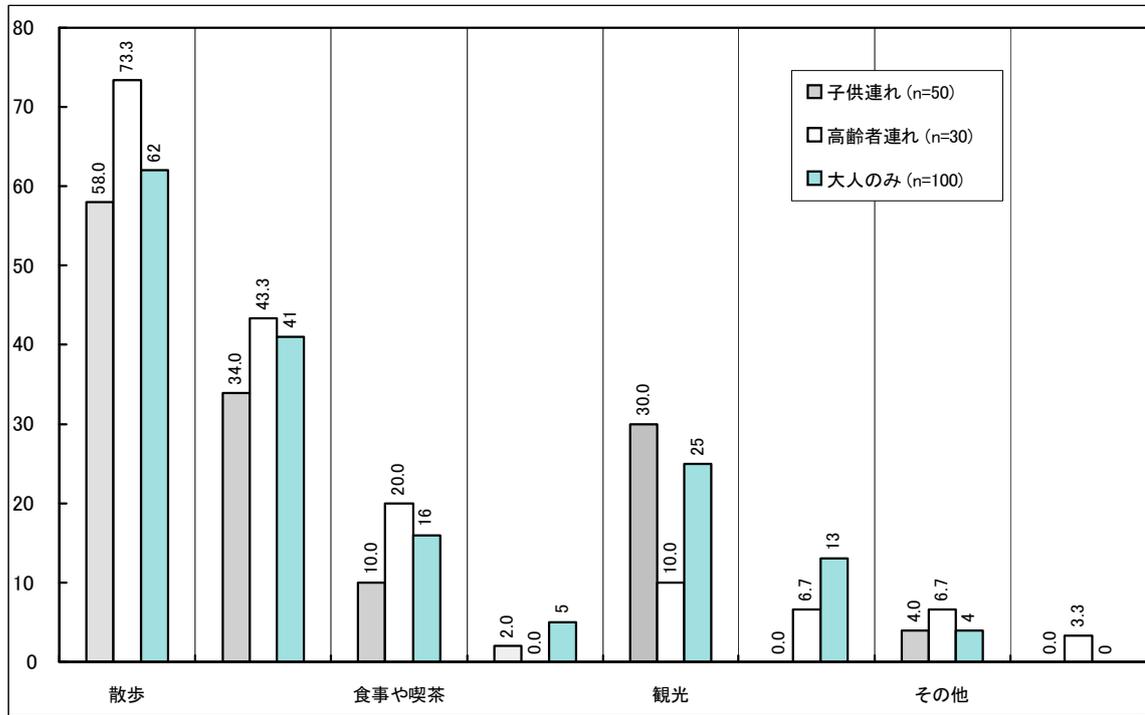
問4 鬼怒川温泉で良かったこと(n=638)



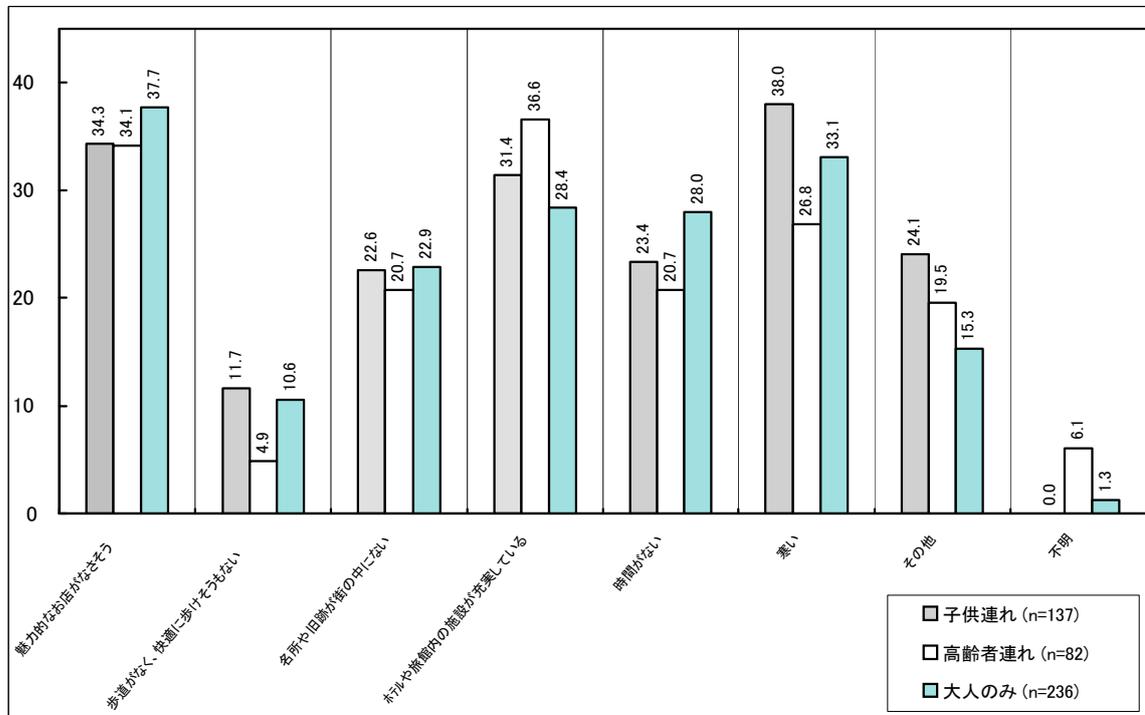
問5 鬼怒川温泉で期待はずれだったこと(n=638)



問8 街に出る目的(n=180)

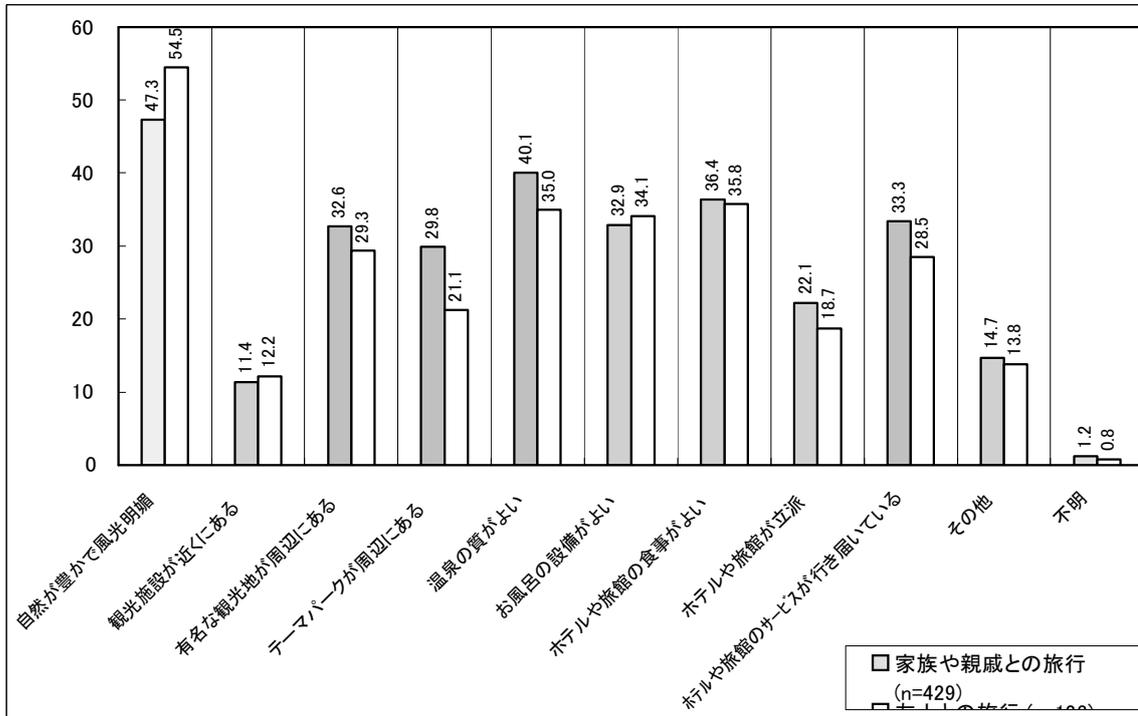


問9 街に出なかった理由(n=455)

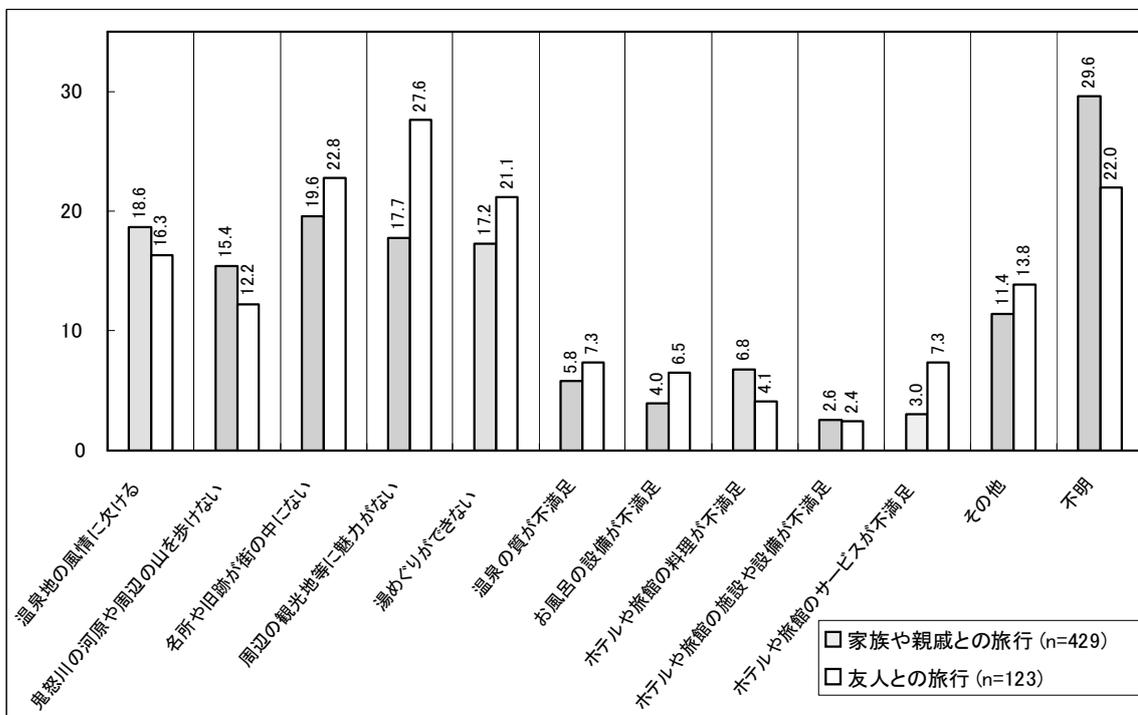


■旅行の目的別の集計結果（家族や親戚と、友人と）

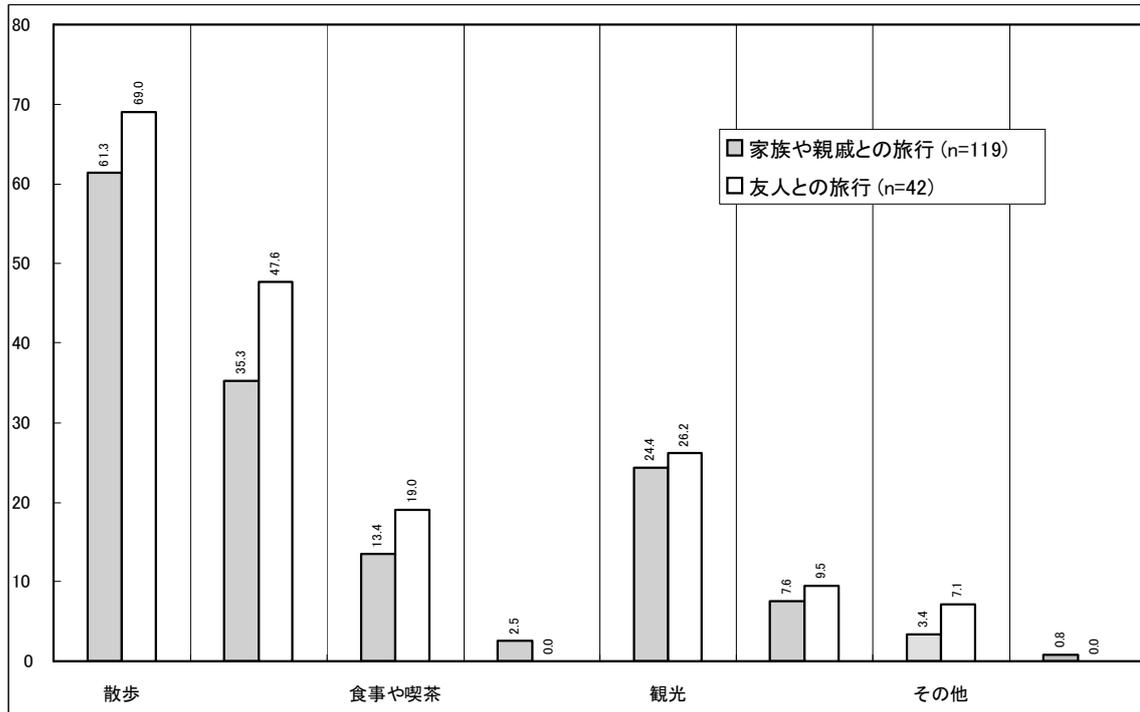
問4 鬼怒川温泉で良かったこと(n=638)



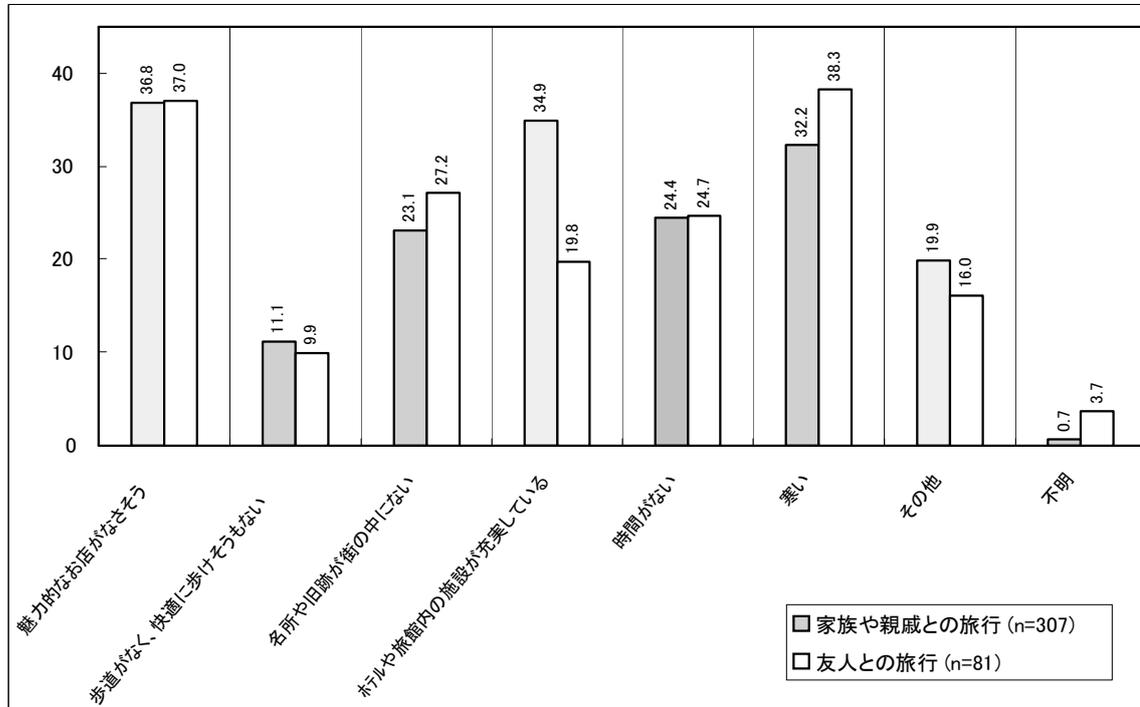
問5 鬼怒川温泉で期待はずれだったこと(n=638)



問8 街に出る目的(n=180)

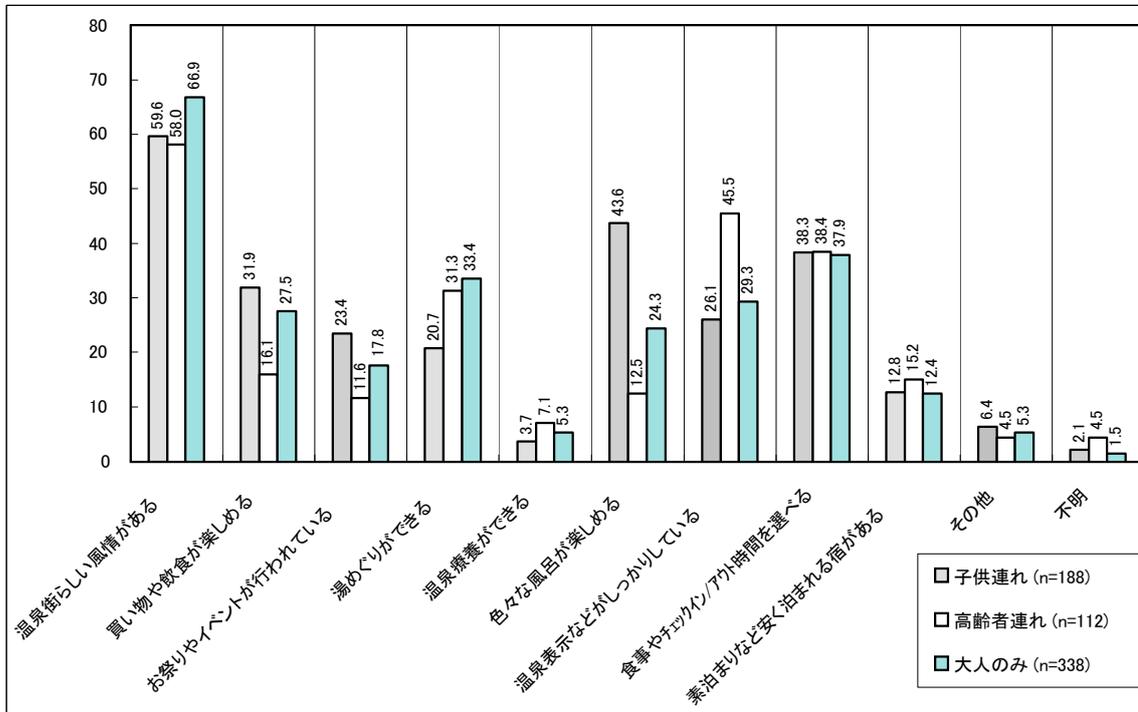


問9 街に出なかった理由(n=455)

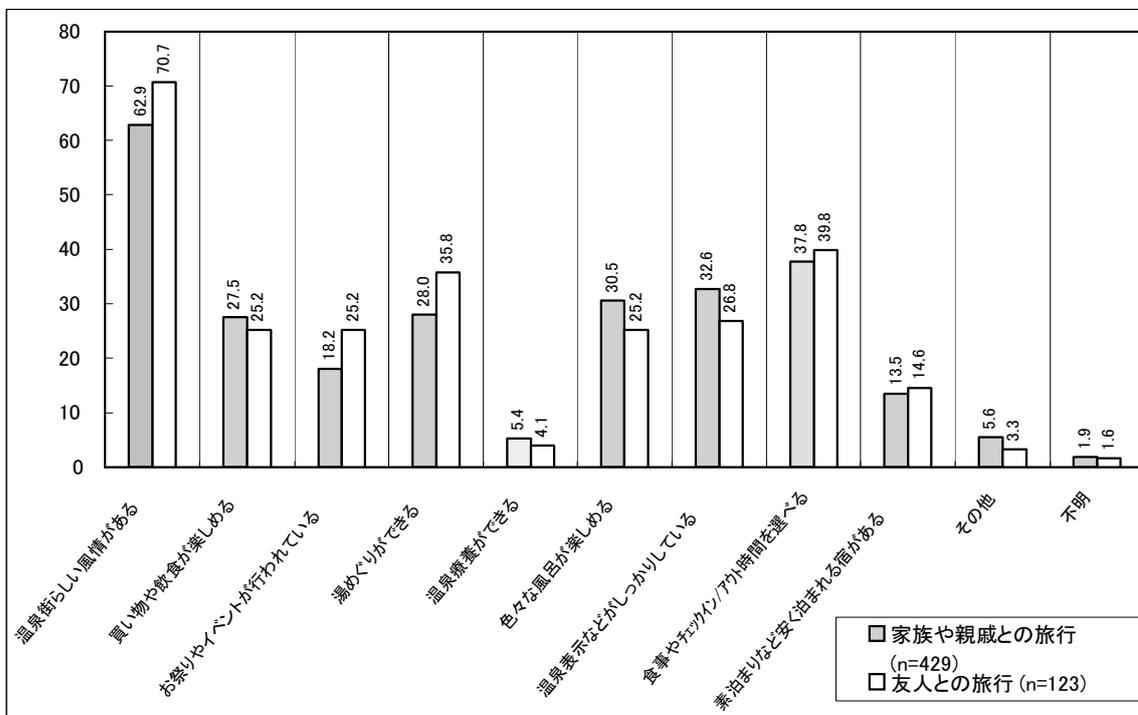


■もう一度行きたい温泉の集計結果

□グループ構成別：子ども連れ、高齢者連れ、大人のみ(n=638)

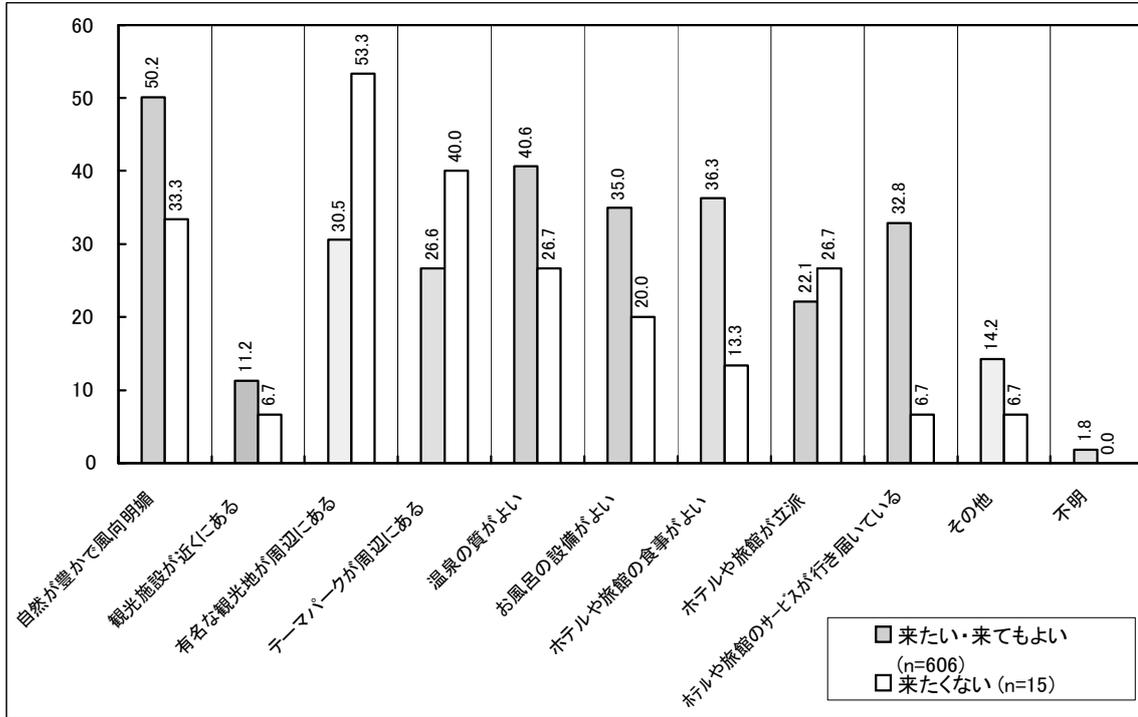


□旅行の目的別：家族や親戚と、友人と(n=638)

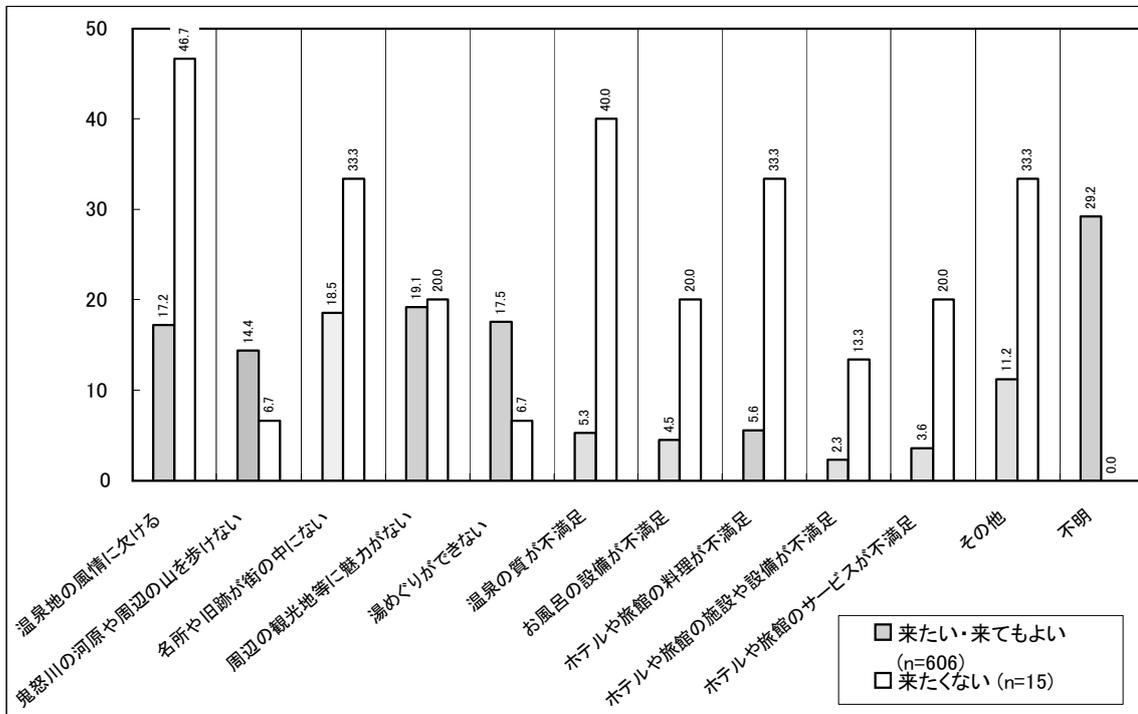


■再来訪の意向別の集計結果（もう一度来たい、来たくない）

□鬼怒川温泉で良かったこと(n=638)



□鬼怒川温泉で期待はずれだったこと(n=638)



■これからの鬼怒川温泉への要望や期待（フリーアンサー）

カテゴリ	件数	主なコメント
街などへの 不満	街全体	3 ・時代の遅れを感じる温泉場の様な気がします。とてももったいないと思う。 ・周辺温泉が無くなっているのに驚き
	街の活気	17 ・温泉街や旅館の建物につかれを感じ、暗く感じる。 ・町全体が活気がなく死んでいるようです。 ・昔から有名で名が知られているのにもかかわらず、今回時季的なこともあります（冬期）町が少し閑散としていた様に感じました。 ・温泉は良いが、町のにぎやかさがないように思える。 年々さびれていくようで、淋しいです。若い頃から社員旅行等楽しかったのに残念です。 ・本日は温泉街は行かず旅館で過ごした。今はオフシーズンなのでお客様がいないと思うが、温泉街全体がそれでも活気をつくる為の演出は必要だと思う。お客様がお客様を呼ぶので。この温泉街はとても受け身だなと思うのが最初の印象だった。
	街の風情	5 ・温泉地の風情が今一つだと思います。 ・とても有名で大きなホテルが多いところですが、巨大になりすぎて“温泉街らしさ”がなくなっているような気がします。
	街の特徴	1 ・鬼怒川は全てが平均点以上だとは思いますが、特にこれといった特徴がない。
	街の見所	3 ・地元なので、年に2~3回は来る機会があります。しかし、もう少し居てみたいと思う施設等があまりなく、時間が来ると、すぐに帰ってしまうこととなります。
	廃業旅館	5 ・つぶれたホテルが多いのがびっくりしました。 ・廃屋となったホテルが目について、さびれた感が強い。 ・廃墟となったホテルや旅館がさらに風情をそこねています。
	駅前	4 ・駅前が閑散としている ・駅前や周辺のにぎわいが足りない様に思う。
	お店	6 ・コンビニなどの店が少ない。 ・ショッピングが出来るところとおしゃれなレストランがない ・本日、宿まで温泉街を車で通ったがほとんど店が閉まっていてつまらなかった。活気がお店にあれば多分興味を持つと思うので、宿での夕飯前に宿に到着し、お風呂に入ってから少し時間が空くのでその時にきっとフラフラと温泉街へ散歩に行くと思う。
	テーマパーク	2 ・若者が好むようなテーマパークが周囲に少ない。 ・江戸村などの施設入場料が高すぎて、行く気になれない。
	景観（ホテル）	3 ・ホテルの外観が古いところがあり、昔ながらの建物の街づくりを目指すのか、オシャレを目指すのか不明 ・街全体、汚いと思う。昔からのホテルからといって外観が汚くて、もう1度来たいとは思わなくなる。
	景観（掃除）	2 ・川はたいへんきれいなのですが、街並が清潔さに欠ける。
	交通	1 ・シーズンオフだからか、バスの本数が少ないのが残念だった
	情報	2 ・鬼怒川温泉駅の観光担当の方は、1日に何度も同じことを何度も言っていて大変だと思いますが、見知らぬ土地のことを尋ねているので、もう少し優しく対応してほしいです。
まちづくりの 体制	2 ・ホテルなどはいろいろなプランを企画したりして努力しているようですが、街全体としての活気が感じられない。宿泊施設と地域の連携が悪い様に思えます。 ・大きいホテルが多く、各ホテル単位でお客を館内で過ごすようにしている。他ホテル間の連携がなく、館内はにぎやかでも一歩外に出るとゴースタウンみたいに淋しい限りです。	
街などへの 要望	温泉街全体	2 ・温泉街の充実。
	温泉街の活気	22 ・温泉街がいまひとつ寂しい気がしました。立派なホテル・旅館がたくさん集まっており、宿泊したホテルもとてもよかったです。街中を散策しても楽しさが少なかったです。 ・街ぐるみでの温泉地としての活気がほしい。 ・お湯めぐりなど、外に出たくなるような活気があると良いと思います ・温泉街全体が古びている。もう少し華やかさを出して欲しい。 ・お金はある人の所に集まると同じく、人は活気のある温泉地に集まるものです。鬼怒川温泉が活気づけばずくほど人は集まってくると思います。 ・全体的にひっそりしている感じなので、明るい印象になるといいかな。 ・温泉街として歩ける活気のある街並みがあったらなあ…と思います。（射的とかおみやげ屋さんが並んで…） ・大自然に囲まれないところですが、駅前やメイン通りにもうひとつ活気があるといいのと思いました。（街中を散歩するのが好きなので…又、違う季節にくると違う楽しみもあると思います）
	温泉街の散策	6 ・足湯や湯めぐり、スタンプラリー等のような街中を歩いて楽しめるようになるといい

		<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴衣でも歩けるような温泉地を作ってもらいたい。 ・草津温泉のように、皆さんが、街に散歩に出られる様にしたらと思います。私の若い頃は鬼怒川温泉でも、夜ぞろぞろ歩いていました。
	温泉街の風情	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんとなく温泉街らしい感じがしない。旅館・ホテルはたくさん並んでいるが、また違う宿に泊まってみたいと言う感じがわいてこない。 ・温泉街は日本中どこにでもあるので、日本情緒豊かな街作りが宜しいかと思います。 ・都会的にホテル風の接待で、昔の温泉風の接待がなつかしい。
街などへの 要望	温泉街の風情	<ul style="list-style-type: none"> ・昔のような温泉地になってほしい。
	温泉（外湯など）	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーで楽しめる、クアハウスやスパ・温泉プールなどがあつたなら都心から近い点で。自然と行楽を満喫出来るのでは…。 ・足湯など遊べる温泉を取り入れる ・外風呂が少ないです（これでも5.6度来てます）
	温泉（湯めぐり）	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば外湯めぐりをしてみたい。 ・1つのホテルに泊まりながら他のホテルの温泉に入ることができる等、湯めぐり専用のバスで行くことができるように企画して下さい。 ・日帰り入浴、湯めぐりを行って下さい。
	駅前全体	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川温泉駅が淋しいと思ったのが第一印象です。電車で旅行している人は電車を待つ時間も楽しみの一つですから。 ・駅前再開発して欲しい。
	駅前の飲食店	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、おいしいお店が駅のそばにあつてほしい。
	駅前の温泉	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から歩いていけるようなところにクアハウスや足湯があると、電車の待時間に利用したいと思います。
	お店全体	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PM11時頃まで開いているお店（お土産屋）等を街として作つた方が良くと思う。（ひなびている） ・道の駅を（独特のものを）大きい野菜（キノコ）市場など、若者の足が止るもの。
	飲食店	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美味しいコーヒー屋さんが欲しい。 ・昔ながらの健康指向の日本料理、美味しいお茶と和菓子のいただけるお店、身体は温泉で、食事で身体と心をいやせる所がほしいです。
	お店（土産物屋）	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から歩いてくる間にもっといろいろなおみやげ屋さんがあると楽しいと思う。 ・街中の「みやげもの店」活性化が望まれる。 ・“鬼怒太”の土産物ってあるのでしょうか？あつたら欲しいです！
	お店（旅館周辺）	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅館のまわりのお店ももっと活があつたらいいなと思います。 ・ホテル周辺に何か名所やお店があると、もっと楽しめると思います。 ・ホテルの近くにおみやげ屋さんがたくさんあつたら楽しいと思います。
	アミューズメント（買い物）	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパーク以外で時間をつぶせる所があると良い。アウトレットモール、ショッピングモール
	町中のアミューズメント	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング場や昔ながらの射的などの遊び場や、自然体験など、子供にも教えられるような場があつたらうれしいです。 ・散策ができて、御土産や産地の朝市などがならぶ所があるとよい。 ・（おみやげ屋さんとかゲームのできる所）古い考えかもしれませんが、スマートボールとかやってみたいです。
	アミューズメント施設の料金	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光所や、テーマパークの料金が少し高いと思うので、ファミリー向けや、ま一、低料金になってくれれば、もっと良い。 ・子供がいるので、何度も来たいと思いますが、やはりテーマパークなど入場料などが高すぎる。大人だけなどゴルフで来るにはいいけど家族では年に何度も来るには、やっぱり考えさせられます。
	レジャー施設	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺のテーマパークや観光施設がもう少し充実していたら、近いまた来たいです。 ・テーマパークも良いですが、那須ハイランドパークのような遊べる施設もあれば…と思います。 ・都心から近いので、日帰りできるような大きい施設があるといいと思う。
子どもの遊び場	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨や雪の時も、子供が気軽に遊べる施設があるといい。 ・子供がもっと楽しめる所を希望です。あまり遊べる場所が少ないです。 ・子供達を遊ばせる場所がないので子供達（2~4才）を遊ばせるテーマパークを作つてほしい。 	
イベント	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川ならではのイベントなどがあると良いと思います。 ・鬼怒川ならではのイベントなどがあると良いと思います。 ・この温泉地は、スキー目的で毎年1泊又は2・3泊で3回来ます。毎回、違うホテル 	

		を選んで泊っています。そして、私達なりにまた来たいと思う所、もう行かない所などを話します。冬ばかりという事もあり、いつも泊るだけになってしまってます。しかし、“何かやってるよ”という事であれば“行こうか！”と思います。子供がいますので、月単位で土・日だけでもイベントがあるとうれしいと思います。
	河原	5 ・ホテル街から気軽に河原に降りられて散歩できる歩道があるといい。河原から流域の景観もいいのでは。 ・鬼怒川べりの散策がもっと出来る様にして欲しいと思います ・鬼怒川ぞいを歩けるような、遊歩道等があれば、子供を連れて歩けると思う。
	景観	5 ・ホテルの裏側の改善をしてほしい。 ・旅館、ホテルなどの外観を風情ある雰囲気と統一するとおしゃれな街並みになって良いのでは？！ ・街の統一感がないから、統一してほしい。
	景観（廃業旅館）	2 ・廃業したホテル・旅館の整備が必要。景観が良くない。
	景観（緑）	2 ・もう少し、緑や花などがあると良いのですが…。
	交通（鉄道）	4 ・交通で JR と東武鉄道の乗換えの利便性。例、栗橋で東武の快速が乗れる様にとか。 ・アクセスをよくしてほしい。埼玉からくる場合、快速の本数がない。鬼怒川公園駅の電車がいない。
	交通（巡回バス）	4 ・主要ホテルと観光地との巡回バスがほしいですね。 ・宿への巡回バスが走っているのは良いが、有料とはいただけない。
街などへの要望	交通（巡回バス）	・東武下車駅から宿泊地までシャトルバスがあるのはありがたいと思いますが、他の温泉地はホテル直営で送迎バスを運行しているところもあります。無料でサービスするのは大変な面があることは理解しています、できれば地方都市で行なっているコミュニティバスのように低料金（例）100 円で区内乗り降り自由のような巡回バスを運行できないのでしょうか？
	道路（歩道）	7 ・舗道の確保と道路の整備は大切かと思えます。 ・外灯、歩道等の整備をお願いします。ハズな必要は全くなく、車で走っていて歩道を歩いている人を気にすることがない感じがベストなのですが。 ・街中を散歩できる様に歩道の整備、
	旅行パック	3 ・駅ネット等の安くて気軽に温泉に来る事が出来るシステムを続けて下さい。 ・観光パック（バスと飲食）とか、バス乗り放題プランとかほしい。
	情報提供・発信	4 ・日光へ出かけた時、名所を廻っているのが、鬼怒川温泉も名所を宣伝して下さい。季節によりイベントが開かれているようですが、東京の私達も不勉強だと感じました。 ・冠雪のきれいな山がいくつもりましたが、今現在、何山（〇岳）なのかわかりません。この地方の特徴的な山の記名のある地図のようなのがほしかった。
	情報（看板）	3 ・車で移動の為、案内板がよく見落とす場合がある。ホテルの名前で表示等もっと多く施設してほしい。 ・個々のホテルの看板を、もっとわかりやすく出してほしいです。
	情報（メディア）	3 ・TV・新聞等でいろいろな行事や風景を宣伝して下さい。今回初めてここにきたのもJTBの旅物語のカラーパンフレットに心ひかれてきました。（お風呂） ・とにかく今はTVの時代、メディアを大いに利用し、鬼怒川の風景をたくさん写し出す。全国ネットで放映してほしい。
	まちづくり	14 ・伝統は残しつつ、新しいもの（施設・テーマパーク・食べ物など）があれば活性化になり良いかと思えます。 ・景色と温泉がよく、静かな山あいの地で食事がおいしく、設備の整った施設で、よいサービスが受けられるのは至福の時になると思えます。 ・気軽に来られるイメージづくりが必要では… ・各ホテルが独自に努力をしているのは感じるが、鬼怒川全体として魅力ある企画を期待しています。 ・今、人気のある温泉地をじっくり研究して生まれ変わって欲しい。正直、今のままで続けていくのは厳しいと思う。お客様の立場に立って頑張ってください！期待しています！（厳しい事を書いたけど、楽しかったですよ。）
	まちづくりの体制	7 ・旅館1軒でがんばっても限界がありますので「町ぐるみ」というのが大切だと思います。 ・現在は一軒一軒が努力をする形でなく、旅館組合が力を合わせ鬼怒川温泉をアピールすることが大切だと思います。より一層のご発展を祈ります。 ・鬼怒川温泉にあるホテル全体で町おこしを行なう気持でイベントでもみやげ通りみたいな路地があれば楽しくゆかたで歩けるのではないのでしょうか？
まちづくりの特色	3 ・鬼怒川にしかない、という何かセールスポイントを作るべき。今は単にゴチャゴチャしているようにしかみえない。 ・ここでしか味わえない、料理や雰囲気があれば…と思います。頑張ってください。	

ホテルへの	全般	7 ・宴会場の前を通っての風呂へ行く事はさせて欲しい。
-------	----	--------------------------------

不満			<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル内の通路のいたる所が喫煙可能になっていることが気になります。 ・古いホテルが多く、耐震の面で心配では無いか？
	サービス（食事）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・夜食に行ったら、みんな食べていて、あまり食べ物がなくなっていた。 ・朝ごはんの盛り方が、ちょっと食欲をなくすような盛り方。
	サービス（清掃）	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1F、温泉のビュールホース（洗い用？）見える所においておくのはルール違反では？こまかい所だが、そういう事から改善して下さい。 ・食事を終わって部屋に来ました時に、テーブルの上に布団を上げたあとのほこりがテーブルにいっぱい積もっていましたが、少し気をつけて頂けると有りがたいと思いました。
	サービス（接客）	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他のホテルは分からないが、こちらのホテルは仲居さんがお風呂で客と一緒に入り、べちゃくちゃ喋っていたり、あいさつをしても感じが悪かったり、とにかく態度がよくなかった。フロントの人は良かったですけど…。部屋はキレイだったし、食事もおいしかったです。湯質がよくないので本物の温泉だったらまた来たいですけど。
	サービス（風呂）	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本日 1/29（土）大浴場にて、イレズミをした人が3~4人位入浴してきましたが、一般のお客様が一気に風呂を出てしまいました。ここはイレズミをしたひとも入浴可能でしょうか？こわくてゆっくり入浴出来ませんでした。風呂に番頭を置くかしてほしいと思いますけどどうでしょうか？
	サービス（部屋）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の冷蔵庫にミネラルウォーターが置かれてなかったのが残念でした。 ・お部屋が暗い。アンケートを書くのも大変でした。 ・冷蔵庫に持ち込めない事がよくない。コンビニ等を設置して自由に持ち込める方がいい。冷蔵品も高すぎる。
	サービス（布団）	3	<ul style="list-style-type: none"> ・布団の片付けが9時前に来ましたが、なんだかチェックアウトをせかされているようでした。 ・夕食後、8時時に部屋に帰ると布団がしいていなかった。自分たちでしいてねるのかと思いました。フロントに電話したら、あわててしきにきたのが8時45分！！1度電話後、再度別の方から「まだしいてないですか？」と確認の電話があった
	サービス（その他）	2	<ul style="list-style-type: none"> ・車を他の駐車場に移動するのは不安である。ホテルの前の駐車場に置いてもらいたい。次回からこの様なホテルに泊らない。選ぶ様にする。
ホテルへの不満	食事	1	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線に住んでいる為、何度も鬼怒川温泉には来ているが、どのホテルも食事がおいしいとは思えない。
	風呂	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お湯もカルキのにおいがして、温泉でなく銭湯に来ている気分でした。 ・露天風呂の設備がよくない。 ・露天風呂が外より丸見えのようで、若い娘には抵抗がありました。
	設備・備品	7	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期、便座が冷たいのが淋しかったです。 ・大浴場で洗い場のシャワー等の給湯状態が良くない。部屋の風呂はなをさら悪い、給湯設備全般再点検必要であると思う。 ・館内のエレベーターの数が少ないと思いました。 ・背もたれがこわれていた
ホテルへの要望	全般	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル全体が大きすぎ経営が大変だと思う。もっと小さく、料理の美味しいホテルがいい。今は、会社より家庭とか友人同志の旅行が多いと思う。 ・（宴席は別として）部屋は旅の目的に合わせていろいろあると思いますが、落ち着く方向性が、今の流行だと思います（備品も含めて）。 ・お部屋の振り分け等が多少可能ならば、してもらいたいです。家族連れ、ご夫婦等etc…。結構、となりの部屋がうるさくて困る事が多いです。のんびりしに来た人にとっては、まわりがさわがしいと…（お子様連れのフロアー、若い人のフロアー等） ・古い外観が多いので、きれいにしてほしい。 ・喫煙所を設ける等分煙対策をして頂きたいです。 ・ペットと宿泊できる旅館、ホテルが何軒かあると良いと思う。温泉はとっても良いと思いますがペットをつれて止まれる宿があれば幸いに思います。
	個人客	5	<ul style="list-style-type: none"> ・団体客のイメージが強いので、もっと個人客を招致する（大事にする） ・団体と個人をしっかり分けると、それぞれが快適になると思います。
	接客	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの接客がもっとレベルアップできたら、とても良いと思う
	チェックアウト	3	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックアウト時間 AM10:00 が一般となっていますが、滞在時間をゆっくりとすると、満足感がアップと、お金を使う機会が増えると思います。 ・チェックアウトを遅くしてもらいたい。休みに来ているのだから。
	施設・イベント	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各ホテルならではの料理、もしくは泊らなくてもは体験出来ないと言う様なもの考えてほしい。 ・エステが館内にあって、低料金でできたらうれしいです！ ・ホテル内の専門店がもっと多いといいなと思います。
	食事（質）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・私も歳を重ねましたので、落ちついたユックリとした時間をもちたく、食事の面（量より質）重視。 ・食事にも変に凝る必要もなく、あっさりとおいしい料理が数品（2~3品）あれば十分だ

		<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川温泉は、加水・加温・循環の風呂がほぼ 100%と聞いております。泉質には全く期待してませんので、せめて料理（温かいものは温く、冷たいものは冷たく）だけは他の温泉地以上のものを出してもらいたいです。
	食事（種類）	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理にひと工夫を。品かずは多くなくても、中国料理やフランス料理といった様に、又料金がやすいと 10,000-といった様に日帰りの時は風呂に入り昼食が出れば最高です。 ・やはりあと食事がおいしいと 1 番いいですかね。和食・洋食・中華のおいしいお店が選べるなど。 ・バイキング食事の形は続けて欲しい。
	食事（特色）	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川温泉独特な料理があっても良いと思う。どこに行っても同じ様な料理が多い。
	風呂 (バリアフリー)	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱いお湯が苦手な人もいるので、低い湯温の浴場（浴槽）があってもいいと思う。（子供や老人） ・幼児でももっともっと安心して利用できる温泉があったらなあと思います。 ・高齢者や障害者も安心して宿泊やお風呂が楽しめるように、すべての面でバリアフリーであると、より多くの方が温泉を楽しめると思う。 ・お風呂（浴槽）に手摺りが欲しいです。高齢者に利用しやすい様に気使いがほしいです。
	風呂（運営）	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂が 24 時間入浴可だとうれしいです。 ・時間制で、男湯と女湯を入替制にしたら、もっとよいと思います。
	風呂（種類）	<p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉の種類が多いといいなあと思います。クアハウス・薬湯やあわ風呂・うたせ湯・垢すりやネイルケアなど。 ・部屋に温泉があると良い。 ・水着で入れる部分もあるとパパと一緒に楽しめていいなあ。 ・貸切風呂の種類を増やして欲しい。 ・出来れば一年中泳げる温泉プールもあったらいいと思います。
	風呂（露天）	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景色の良い露天風呂が良い（欲しい） ・貸切の露天風呂がもっとあるといい。
	トイレ	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当温泉地、ウォシュレットにして頂くと助かります。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの便座を暖かくできたらいいなと思います
	料金（安く）	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手軽に泊れる、安いホテル・旅館が良い。豪華な料理でなくても良い。 ・東京方面から非常に近く、安い値段でサービス良く、気軽に利用できる所を強く表面に出してもらい、チョットした宴会を鬼怒川で出来ると良いと思います。
	料金（適正に）	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安いものを望んでいるわけではないので、高くてもその分のサービスがあれば。 ・閑散期（冬期間）には特に宿泊（休前日、祝日）料などを考慮してほしい。 ・値下げ競争よりも、内容の充実、独自性が優先すべき。
ホテルへの要望	パック旅行	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺のテーマパークの割引券がセットになっている宿泊施設があるといいです。（富士急ハイランド一日券が宿泊代に含まれている旅館があって、なんだかお得感があった） ・宴会目的、家族旅行、くつろぎの旅など目的に応じて宿泊できればありがたいと思います。それぞれもとめているものが違うと思うので。
好意や応援	全般	<p>31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京からのアクセスも良く、周囲の自然も美しく保たれていると思います、 ・首都圏の温泉地の中では、鬼怒川にはレジャー施設が多く魅力的な方だと思います。 ・特に、現代風の華やかなものがなくてもいいのです。今のままで…。鬼怒川温泉はすべてがあたかくて、体も心もポッカポカになります。要望は…本当にこのままでいてほしいことです。心のよりどころです。 ・でも、都内にあるスパリゾートには行く気にはなれません。やっぱり温泉は温泉地です。しかも 2 時間位で来られるなんて、とても嬉しいです。スパリゾートに行ったら結構お金がかかります。少しプラスして、しかも 1 泊できる、どんどん売っていいですよ！ ・初めて鬼怒川温泉に来ましたが、今まで自分が思っていた以上に交通の便が良くてイメージが変わりました。ホテルの人達も皆、親切で楽しい週末を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。近いうちにまた鬼怒川に遊びに来たいと思います。 ・色々な温泉へ行っていますが、好きな温泉の 1 つが鬼怒川温泉です。じたくからは 3 時間ぐらいかかるので、ちょうどドライブしながらの良い場所と決めています。色々温泉地で問題化されていますが、鬼怒川温泉は 100%皆から好かれる温泉地と思っています。これからも又、たびたび来ようと思っています。 ・鬼怒川は昔から湯の良い所ですね。これからの町を良くして下さい。又来ます。ゆっくりさせて戴きました。 ・春日部から“きぬ”に乗れば便利なので、時々利用しています。皆さんの努力がきっと報われますので、がんばって下さい。友達と又、来ますので！ ・これからも、日頃の疲れをいやせる、ホッとできる場であってほしいと思います。 ・とても良い所と思い何度か来ていますが、今まで通りでとても皆さまに愛される温泉地だと思います。

		<ul style="list-style-type: none"> ・不況気ですが、大いに皆で頑張って続けて下さい。又来ますので！ ・各旅館、ホテル皆々様頑張ってます。景気が沈んで大変だと思います。客様もわがままにぜいたくになっています。お互いに反省しなければと思います。
	風呂・温泉	3 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉もたくさんの設備はとても最高の気分でした。これからも利用したいです。 ・温泉の質がすごく良く、肌が輝くようだった。
	ホテル	17 <ul style="list-style-type: none"> ・各旅館が施設管理に大変であると思いますが、金をかけなくても、よく管理し、維持していると、その感じがよくわかりますので、一つ一つ清掃し、使うことも必要だと思う。これは経験から。 ・これからもよりよいサービスでがんばって下さい。1人1人へのおもてなしが信頼を生んでくれると思います。ありがとうございました。 ・これからも今まで通りのおもてなしを継続して下さい。今回一心館様に宿泊させて頂き本当に心身ともに休まりました。ありがとうございました。是非、又利用させて頂きたいです。 ・貴ホテルは料金の割に料理は大変満足でした。又来たいと思います。 ・昔ながらの温泉宿もいいけど、吹き抜けのロビーやラウンジ、近代的な大きなホテルが魅力的です。ホテルの中の雰囲気やリゾート気分が味わえるロビーはこの辺りでは立派で素敵だと思います。 ・とてもいごちがよかったです。朝のバイキングも種類も多くおいしかったです。良い時間を過ごすことができ、ありがとうございます。 ・6年毎年同じホテルに滞在していますが、今回がこれまでよりサービスもよく、従業員の方もよくして下さい、食事もおいしく感じられました。
	交通	5 <ul style="list-style-type: none"> ・何度か鬼怒川に来ましたが、家からの交通の便もよく、各旅館やホテルも駅から近くとてもよいと思います。このままでとても気に入っています。 ・駅前から出ているバスはこの時期にはとても良かった。 ・娘と2人で遊びに来ました。ダイヤルバスが駅から出ているときいていましたが、地図を見ると方向音痴の私でもわかるように説明があり、ホテルへ簡単に到着しました。すばらしい景色をながめながら、パンフレットなどで調べた時間よりずっと近かったと思います。観光客のほどよく集まる温泉でありますように応援しています。
	情報	1 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページがとても役に立ちました。
リピーターのコメント集 (再掲あり)	不満・要望	4 <ul style="list-style-type: none"> ・私も年に2.3回来ますが、何か不満な気がします。 ・鬼怒川温泉、川治温泉は交通の便も良く(自宅から)年4回は来ているが、全般的に活気がない。中高年の我々にはややさみしい感じがする… 沿線に住んでいる為、何度も鬼怒川温泉には来ているが、どのホテルも食事がおいしいとは思えない。 ・この温泉地は、スキー目的で毎年1泊又は2・3泊で3回来ます。毎回、違うホテルを選んで泊っています。そして、私達なりにまた来たいと思う所、もう行かない所などを話します。冬ばかりという事もあり、いつも泊るだけになってしまってます。しかし、“何かやってるヨ”という事であれば“行こうか！”と思います。子供がいますので、月単位で土・日だけでもイベントがあるとうれしいと思います。
	好意・応援	6 <ul style="list-style-type: none"> ・何度か鬼怒川に来ましたが、家からの交通の便もよく、各旅館やホテルも駅から近くとてもよいと思います。このままでとても気に入っています。 ・私達の埼玉から高速道で時間があまりかからず、何度も来られます。 ・鬼怒川はわりと気軽にこれる所で、気に入っています。 ・春日部から“きぬ”に乗れば便利なので、時々利用しています。皆さんの努力がきっと報われますので、がんばって下さい。友達と又、来ますので！ ・家から近く(足利)気軽に来られます。今回も前々日に話がまとまり、翌日(金曜日)に手配しました。 ・とても良い所と思い何度か来ていますが、今まで通りでとても皆さまに愛される温泉地だと思います。

áCèWávÉfÁ[É^

ñ, 1-1Á@ãLì, é“ÇÃëÆê’

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	ij	èó	isñæ
Ái	100.0	44.4	50.9	4.7
Çé	638	283	325	30

ñ, 1-2Á@ãLì, é“ÇÃiNóÓ

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	10ë,,	20ë,,	30ë,,	40ë,,
Ái	100.0	0.6	15.4	26.5	16.8
Çé	638	4	98	169	107

ÉJÉeÉSÉäÄ[50ë,,	60ë,,	70ë,, à»è,,	isñæ
Ái	19.6	15.4	4.2	1.6
Çé	125	98	27	10

ñ, 1-3Á@ãLì, é“ÇÃèèZin

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	iãûis	çÈã áß	éÁótáß	ê_1/4eĬáß
Ái	100.0	23.4	27.9	12.1	3.9
Çé	638	149	178	77	25

ÉJÉeÉSÉäÄ[ì»ñÿáß	àÔèÈáß	âQínáß	Ç ^a ÇÃë°	isñæ
Ái	12.9	8.0	3.9	6.6	1.4
Çé	82	51	25	42	9

ñ, 1-4Á@ãLì, é“ÇÃêEä²

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	âÔé-àÐ ã^ñ±àÐ	é©âcã²	äwêŽ	éÁiw
Ái	100.0	45.8	10.7	2.8	20.2
Çé	638	292	68	18	129

ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉpÁ[Ég ÉAÉãÉoÉCÉg	ë/4êEé“	Ç ^a ÇÃë°	isñæ
Ái	6.0	8.2	2.7	3.8
Çé	38	52	17	24

ñ,2Á@ólçsé“ÇÃiNóÓç\ê”

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	18ç(Eà»állÇ¾ ä<Ç¼	19Á`64çE ÇÃÇ>	65ç(Eà»è,,Ç¾ ä<Ç¼
Ái	100.0	29.5	17.6	53.0
Çé	638	188	112	338

ñ,3Á@ólçsÇÃñ¹il

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	â²ellÇ,êê Ç²ÇÃólçs	óFêlÇ²ÇÃólçs	áíelól	icëÃólçs
Ái	100.0	67.2	19.3	0.8	5.3
Çé	638	429	123	5	34

ÉJÉeÉSÉäÄ	ÇªÇÃë°	isñæ
Ái	6.7	0.6
Çé	43	4

ñ,4Á@aSi{éíálléÚÇ-ó«Ç©Ç;ÇzÇ±Ç²Áir°êiãÒiöÁj

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	é©èRÇ™ñLÇ© ióaĐñæðZ	äceáDé{è>Ç™ ã½Ç°Ç...Ç†ÇÈ	ólñ°Ç»äceáĐin Ç™é,í”Ç...Ç†Ç	ÉeÁ[E]ÉpÁ[ÉN Ç™é,í”Ç...Ç†Ç
Ái	100.0	49.4	11.1	31.3	27.0
Çé	638	315	71	200	172

ÉJÉeÉSÉäÄ	álléÚÇÃéøÇ™ ÇÊÇç	Ç®iáoCÇÃê>iĐ Ç™ÇÊÇç	ÉzÉeÉäÇ,ólläY ÇÃêHéñÇ™ÇÊÇç	ÉzÉeÉäÇ,ólläY Ç™óBíh	Çe YÇ,ólläYÇÃ ªll¼žÇ™çsÇ’ iÖÇçÇfÇçÇÈ
Ái	40.0	34.3	35.3	21.9	31.7
Çé	255	219	225	140	202

ÉJÉeÉSÉäÄ	ÇªÇÃë°	isñæ
Ái	13.9	1.9
Çé	89	12

ñ, ÇTÅ@ãSi{êİällëÚÇ-ãÝë“ÇÕÇÇÍÇæÇ;ÇžÇ±Ç²Åir°êİâÒiöÅj

ÉJÉeÉSÉäÅ]	ëSëÃ	ällëÚinÇÃ iòèÓÇ...ääÇØÇ	ãSi{êİÇÃãÕãÝÇ, é,İ”ÇÃéRC¾ İ‡ÇØÇ»Çç	ñ°ëäÇ,ãää’Ç™ ãXÇÃİÜÇ...Ç»Ç	é,İ”ÇÃäæãĐiniò Ç...ñëóÕÇ™Ç»
Åi	100.0	18.0	14.4	19.6	19.3
Çé	638	115	92	125	123

ÉJÉeÉSÉäÅ]	İÇ¾ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç’Ç»Çç	ällëÚÇÃéøÇ™ isñüë’	Ç®iòòCÇÃ êİĐÇ™isñüë’	ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ óøòùÇ™isñüë’	ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ é{êÇ,êİĐÇ™ isñüë’
Åi	17.2	6.0	4.7	6.1	2.5
Çé	110	38	30	39	16

ÉJÉeÉSÉäÅ]	ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ ÉTÅ[ÉrÉXÇ™ isñüë’	ÇªÇÃë°	isñæ
Åi	3.9	11.4	28.5
Çé	25	73	182

ñ, ÇUÅ@çfòãñKÇÃä”ã,

ÉJÉeÉSÉäÅ]	ëSëÃ	óàÇžÇç óàÇfÇ‡ÇÈÇç	óàÇžÇ°Ç»Çç	isñæ
Åi	100.0	95.0	2.4	2.7
Çé	638	606	15	17

ñ, ÇVÅ@èhñiÜÇ...ãXÇ...èòÇÈóİÉ

ÉJÉeÉSÉäÅ]	ëSëÃ	èòÇž ÅiòİÉÇ¾ã«Ç¼Åj	èòÇfÇçÇ»Çç ÅiòİÉÇ¾ã«Ç¼Åj	isñæ
Åi	100.0	28.2	71.3	0.5
Çé	638	180	455	3

ñ, ÇWÅ@ãXÇ...èòÇÈñ’İIÅir°êİâÒiöÅj

ÉJÉeÉSÉäÅ]	ëSëÃ	éUİ‡	İÉÇçİ®	èHéñÇ,ãİÉ	Ç®é¾Ç¾ã×Ç¼
Åi	100.0	62.8	39.4	15.0	3.3
Çé	180	113	71	27	6

ÉJÉeÉSÉäÅ]	äæãĐ	ë°ÇÃällëÚÇ...İ,ÇÈ	ÇªÇÃë°	isñæ
Åi	23.9	8.3	4.4	0.6
Çé	43	15	8	1

ñ, 9 Å @ ä X Ç ... è o Ç » Ç ç ó ù ó R Å ï ° ê ï à Ò ï ö Å j

ÉJÉeÉSÉäÄÅ	ëSëÃ	ñ£óÔiIÇ»Ç®iXÇ Ç»Ç¶ÇªÇ§	ï‡iŝÇ™Ç»Ç°ÅA âÐiKÇ...i‡ÇØÇªÇ Ç‡Ç»Çç	ñ°èäÇ,ãâê'Ç™ äXÇÄiÜÇ...Ç»Ç	Œ ŸÇ,ólaŸi‡ÇÃ é{è>Ç™è[éçÇµ ÇfÇçÇÈ
Åi	100.0	36.0	9.9	22.4	30.8
Çé	455	164	45	102	140

ÉJÉeÉSÉäÄÅ	éüä'Ç™Ç»Çç	ä¶Çç	ÇªÇÃë°	isñæ
Åi	25.3	33.4	18.7	1.8
Çé	115	152	85	8

ñ, 10 Å @ Ç ‡ Ç § à l i x ç s Ç ' Ç z Ç ç Ç ² é v Ç § à l l é Ú Å i Ç R Ç - Ç < Ç - Å j

ÉJÉeÉSÉäÄÅ	ëSëÃ	älléÚäXÇÁÇµÇç ïòèÓÇ™Ç‡ÇÈ	îÉÇçï®Ç,à×èH Ç™äyÇµÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇìÇíÇfÇçÇÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
Åi	100.0	63.2	26.8	18.3	29.3
Çé	638	403	171	117	187

ÉJÉeÉSÉäÄÅ	älléÚó ó{Ç™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÅXÇ»ïòðCÇ™ äyÇµÇ½ÇÈ	älléÚrè¶ïòÇ™ ÇµÇiÇ©ÇÈÇµÇ ÇçÇÈ	êHénÇ,ï™Ø¶ŝ/ ±¶féüä'Ç¾ èIÇ³ÇÈ	ëfièÇ<ÇÈÇ»Ç« àçÇ°ieÇ<ÇíÇÈ èhÇ™Ç‡ÇÈ
Åi	5.2	27.9	31.2	38.1	13.0
Çé	33	178	199	243	83

ÉJÉeÉSÉäÄÅ	ÇªÇÃë°	isñæ
Åi	5.5	2.2
Çé	35	14

À°ólçsé“ÇÃÉÓÉãÄ[Évç\ê”i ÇÃèWávãã

Ä@Äi18ç(Èà)ällÇÃéqÇ«Ç‡òAÇÍÄA65ç(Èà)è,,ÇÃçÇóÓé“òAÇÍÄA19Ä`64ç(ÈÇÃèlÇÃÇ)Äj

ñ,4Ä@aSi{éíälleÚÇ-ó«Ç©ÇjÇzÇ±Ç²Äir°èiàÒiòÄj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[é©èRÇ™ñLÇ© ióaDñæøZ	äceãDé{ê}Ç™ ã½Ç°Ç...Ç†ÇÈ	óLñ°Ç»äceãDin Ç™é,ï”Ç...Ç†Ç	ÉeÄ[É}ÉpÄ[ÉN Ç™é,ï”Ç...Ç†Ç
éqÇ«Ç‡òAÇÍ	Äi	47.9	14.9	26.6	41.0
ÇéÄÄ188	Çé	90	28	50	77
çÇóÓé“òAÇÍ	Äi	52.7	10.7	41.1	18.8
ÇéÄÄ112	Çé	59	12	46	21
ëÄèlÇÃÇ	Äi	49.1	9.2	30.8	21.9
ÇéÄÄ338	Çé	166	31	104	74

	ÉJÉeÉSÉäÄ[älleÚÇÃéøÇ™ ÇÈÇç	Ç®iódCCÃè»iD Ç™ÇÈÇç	ÉzÉeÉäÇ,óllaY ÇÃèHénÇ™ÇÈÇç	ÉzÉeÉäÇ,óllaY Ç™óßih
éqÇ«Ç‡òAÇÍ	Äi	36.7	26.6	31.4	19.1
ÇéÄÄ188	Çé	69	50	59	36
çÇóÓé“òAÇÍ	Äi	60.7	48.2	43.8	26.8
ÇéÄÄ112	Çé	68	54	49	30
ëÄèlÇÃÇ	Äi	34.9	34.0	34.6	21.9
ÇéÄÄ338	Çé	118	115	117	74

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉzÉeÉäÇ,óllaYÇÃ ÉTÄ[ÉrÉXÇ™ çsÇ”iÖÇçÇfÇçÇl	ÇªÇÃè°	isñæ
éqÇ«Ç‡òAÇÍ	Äi	31.9	14.4	1.6
ÇéÄÄ188	Çé	60	27	3
çÇóÓé“òAÇÍ	Äi	39.3	17.0	2.7
ÇéÄÄ112	Çé	44	19	3
ëÄèlÇÃÇ	Äi	29.0	12.7	1.8
ÇéÄÄ338	Çé	98	43	6

ñ, 5Å@ãSi{ẽĩãlleÚÇ-ãÝẽ“ÇÕÇÇÇÇæÇÇÇÇ±Ç²Åĩ°ẽãÒiöÅj

	ÉJÉeÉSÉãÅ[ãlleÚinÇÃ iõeÓÇ...ããÇØÇ	ãSi{ẽiÇÃãÕãÏÇ, é,ĩ”ÇÃéRÇ¾ ĩ±ÇØÇ»Çç	ñ°èãÇ,ããé’Ç™ ãXÇÃiÜÇ...Ç»Ç	é,ĩ”ÇÃãçãDiniö Ç...ñ£óÕÇ™Ç»Ç
éqÇ«Ç±ðAÇ	Åi	16.5	13.8	17.0	17.0
ÇéÅÅ188	Çé	31	26	32	32
çÇóÓé“ðAÇ	Åi	16.1	13.4	18.8	10.7
ÇéÅÅ112	Çé	18	15	21	12
ẽÅêlÇÃÇ	Åi	19.5	15.1	21.3	23.4
ÇéÅÅ338	Çé	66	51	72	79

	ÉJÉeÉSÉãÅ[iiÇ½ÇÆÇËÇ™ Ç-Ç’Ç»Çç	ãlleÚÇÃéõÇ™ ĩsnũé’	Ç®iõeÇÇÃ ê»iÐÇ™ĩsnũé’	ÉzÉeÉãÇ,õllaÏÇÃ óóóuÇ™ĩsnũé’
éqÇ«Ç±ðAÇ	Åi	12.8	4.8	4.8	6.9
ÇéÅÅ188	Çé	24	9	9	13
çÇóÓé“ðAÇ	Åi	17.0	4.5	1.8	5.4
ÇéÅÅ112	Çé	19	5	2	6
ẽÅêlÇÃÇ	Åi	19.8	7.1	5.6	5.9
ÇéÅÅ338	Çé	67	24	19	20

	ÉJÉeÉSÉãÅ[ÉzÉeÉãÇ,õllaÏÇÃ é{ê}Ç,ê»iÐÇ™ ĩsnũé’	ÉzÉeÉãÇ,õllaÏÇÃ ÉTA[ÉrÉXÇ™ ĩsnũé’	ÇªÇÃé°	ĩsnæ
éqÇ«Ç±ðAÇ	Åi	4.3	3.7	12.2	33.0
ÇéÅÅ188	Çé	8	7	23	62
çÇóÓé“ðAÇ	Åi	0.9	3.6	7.1	42.0
ÇéÅÅ112	Çé	1	4	8	47
ẽÅêlÇÃÇ	Åi	2.1	4.1	12.4	21.6
ÇéÅÅ338	Çé	7	14	42	73

ñ, ÇWÁ@ãXÇ...èøÇÈñ¹iIÁir°éiãÒiøÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[éUr‡	îÉÇéi®	êHéñÇ, äiiÉ	Ç®é³/₄Ç³/₄à×Ç¹/²
éqÇ«Ç‡ðAÇ	Äi	58.0	34.0	10.0	2.0
ÇéÄÄ188	Çé	109	64	19	4
çÇóÓé“ðAÇ	Äi	73.3	43.3	20.0	0.0
ÇéÄÄ112	Çé	82	49	22	0
ëÄêlÇÃÇ	Äi	62.0	41.0	16.0	5.0
ÇéÄÄ338	Çé	210	139	54	17

	ÉJÉeÉSÉäÄ[äceãÐ	è°ÇÄällèÚÇ...i,ÇÈ	ÇªÇÃè°	isñæ
éqÇ«Ç‡ðAÇ	Äi	30.0	0.0	4.0	0.0
ÇéÄÄ188	Çé	56	0	8	0
çÇóÓé“ðAÇ	Äi	10.0	6.7	6.7	3.3
ÇéÄÄ112	Çé	11	7	7	4
ëÄêlÇÃÇ	Äi	25.0	13.0	4.0	0.0
ÇéÄÄ338	Çé	85	44	14	0

ñ, 9Ä@ãXÇ...èøÇ»Ç©ÇjÇzòuóRÁir°éiãÒiøÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ñ£óÖiIÇ»Ç®iXÇ Ç»ÇlÇªÇ§	î‡isÇ™Ç»Ç°ÄÄ âÐiKÇ...î‡ÇØÇª Ç‡Ç»Çé	ñ°èäÇ, ääè°Ç™ ãXÇÄiÜÇ...Ç»Ç	ÇE YÇ, òlãYi‡ÇÃ é{è}Ç™è[é¿Çµ ÇfÇéÇÈ
éqÇ«Ç‡ðAÇ	Äi	34.3	11.7	22.6	31.4
ÇéÄÄ188	Çé	64	22	43	59
çÇóÓé“ðAÇ	Äi	34.1	4.9	20.7	36.6
ÇéÄÄ112	Çé	38	5	23	41
ëÄêlÇÃÇ	Äi	37.7	10.6	22.9	28.4
ÇéÄÄ338	Çé	127	36	77	96

	ÉJÉeÉSÉäÄ[éüa‘Ç™Ç»Çé	ã¶Çé	ÇªÇÃè°	isñæ
éqÇ«Ç‡ðAÇ	Äi	23.4	38.0	24.1	0.0
ÇéÄÄ188	Çé	44	71	45	0
çÇóÓé“ðAÇ	Äi	20.7	26.8	19.5	6.1
ÇéÄÄ112	Çé	23	30	22	7
ëÄêlÇÃÇ	Äi	28.0	33.1	15.3	1.3
ÇéÄÄ338	Çé	95	112	52	4

Å°ólçsÇÃñ'li ÇÃèWávãã Åiâ²èllÇ, êeê Ç²ÇÃólçsÅAóFèlÇ²ÇÃólçsÅj

Å@

ñ,4Å@ãSi{éíálléÚÇ-ó«Ç©ÇjÇzÇ±Ç²Åir°êâÒiöÅj

	ÉJÉeÉSÉäÅ[é©èRÇ™ñLÇ© ióaĐñæðZ	äœáDé{ê,Ç™ ã½Ç°Ç...Ç†ÇÈ	ólñ°Ç»äœáĐin Ç™é,ĩ”Ç...Ç†Ç	ÉeÅ[É}ÉpÅ[ÉN Ç™é,ĩ”Ç...Ç†Ç
â²èllÇ, êeê	Åi	47.3	11.4	32.6	29.8
ÇéÅÅ119	Çé	56	14	39	36
óFèlÇ²	Åi	54.5	12.2	29.3	21.1
ÇéÅÅ42	Çé	23	5	12	9

	ÉJÉeÉSÉäÅ[álléÚÇÃéøÇ™ ÇÈÇé	Ç®iòòCÇÃê»iĐ Ç™ÇÈÇé	ÉzÉeÉäÇ,ólläY ÇÃêHèñÇ™ÇÈÇ	ÉzÉeÉäÇ,ólläY Ç™óßih
â²èllÇ, êeê	Åi	40.1	32.9	36.4	22.1
ÇéÅÅ119	Çé	48	39	43	26
óFèlÇ²	Åi	35.0	34.1	35.8	18.7
ÇéÅÅ42	Çé	15	14	15	8

	ÉJÉeÉSÉäÅ[ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ ÉTÅ[ÉrÉXÇ™ çsÇ iÖÇéÇjÇéÇl	ÇªÇÃè°	isñæ
â²èllÇ, êeê	Åi	33.3	14.7	1.2
ÇéÅÅ119	Çé	40	17	1
óFèlÇ²	Åi	28.5	13.8	0.8
ÇéÅÅ42	Çé	12	6	0

ñ, 5Å@ãSi{ẽĩãlleÚÇ-ãÝe“ÇÕÇÇÍÇæÇ;ÇžÇ±Ç²Åĩr°ẽiãÒiöÅj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ãlleÚinÇÃ iõeÓÇ...ããÇØÇ	ãSi{ẽĩÇÃãÕãÏÇ, é,ĩ”ÇÃéRÇ¾ ĩ‡ÇØÇ»Çç	ñ°èäÇ,ããé’Ç™ ãXÇÃiÜÇ...Ç»Ç	é,ĩ”ÇÃãœãDiniô Ç...ñ£óÕÇ™Ç»
â²ẽlÇ,êeê	Åi	18.6	15.4	19.6	17.7
ÇéÅÅ119	Çé	22	18	23	21
óFèlÇ²	Åi	16.3	12.2	22.8	27.6
ÇéÅÅ42	Çé	7	5	10	12

	ÉJÉeÉSÉäÄ[iiÇ½ÇÆÇËÇ™ Ç-Ç’Ç»Çç	ãlleÚÇÃéœÇ™ isñüë’	Ç@iódCÇÃ è>iDÇ™isñüë’	ÉzÉeÉãÇ,óllaYÇÃ óóóuÇ™isñüë’
â²ẽlÇ,êeê	Åi	17.2	5.8	4.0	6.8
ÇéÅÅ119	Çé	21	7	5	8
óFèlÇ²	Åi	21.1	7.3	6.5	4.1
ÇéÅÅ42	Çé	9	3	3	2

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉzÉeÉãÇ,óllaYÇÃ é{è>Ç,è>iDÇ™ isñüë’	ÉzÉeÉãÇ,óllaYÇÃ ÉTA[ÉrÉXÇ™ isñüë’	ÇªÇÃé°	isñæ
â²ẽlÇ,êeê	Åi	2.6	3.0	11.4	29.6
ÇéÅÅ119	Çé	3	4	14	35
óFèlÇ²	Åi	2.4	7.3	13.8	22.0
ÇéÅÅ42	Çé	1	3	6	9

ñ, ÇWÁ@äXÇ...èøÇÈñ¹iIÁir°éîäÒiöÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[éUr‡	îÉÇéi®	êHéñÇ, äiiÉ	Ç®é³/4Ç³/4à×Ç¹/
â²èlÇ, êeê	Äi	61.3	35.3	13.4	2.5
ÇéÄÄ119	Çé	73	42	16	3
óFèlÇ²	Äi	69.0	47.6	19.0	0.0
ÇéÄÄ42	Çé	29	20	8	0

	ÉJÉeÉSÉäÄ[äceâÐ	è°ÇÄällêÜÇ...i,ÇÈ	ÇªÇÄè°	isñæ
â²èlÇ, êeê	Äi	24.4	7.6	3.4	0.8
ÇéÄÄ119	Çé	29	9	4	1
óFèlÇ²	Äi	26.2	9.5	7.1	0.0
ÇéÄÄ42	Çé	11	4	3	0

ñ, 9Ä@äXÇ...èøÇ»Ç©ÇÇÇzòuóRÄir°éîäÒiöÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ñ£óÖiIÇ»Ç®iXÇ Ç»ÇlÇªÇ§	îîiŝÇ™Ç»Ç°ÄA âÐiKÇ...îîÇØÇª ÇîÇ»Çç	ñ°èäÇ, äâè'Ç™ äXÇÄiÜÇ...Ç»Ç	Çe YÇ, óllaYi‡ÇÄ é{è>Ç™è[éçÇµ ÇfÇçÇÈ
â²èlÇ, êeê	Äi	36.8	11.1	23.1	34.9
ÇéÄÄ119	Çé	44	13	28	41
óFèlÇ²	Äi	37.0	9.9	27.2	19.8
ÇéÄÄ42	Çé	16	4	11	8

	ÉJÉeÉSÉäÄ[éüa'Ç™Ç»Çç	ä¶Çç	ÇªÇÄè°	isñæ
â²èlÇ, êeê	Äi	24.4	32.2	19.9	0.7
ÇéÄÄ119	Çé	29	38	24	1
óFèlÇ²	Äi	24.7	38.3	16.0	3.7
ÇéÄÄ42	Çé	10	16	7	2

À°ñ, 10ÁFÇ‡Ç§àlixçç'ÇzÇçälléÚÁiÇRCÇ-Ç<Ç-ÁjÇÃèWávããã

À†ÉOEãÀ[Évç\ê¨i ÁiéqÇ«Ç‡ðAÇÍÁAçÇÓÓé“ðAÇÍÁAèÂêlÇÃÇ>Áj

	ÉJÉeÉSÉäÀ[älléÚaXCÁÇμÇç iòèÓÇ™Ç†ÇÈ	iÉÇçî@Ç,à×êH Ç™âyÇμÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇiÇÍÇfÇçÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
éqÇ«Ç‡ðAÇÍ	Ái	59.6	31.9	23.4	20.7
ÇéÁÁ188	Çé	112	60	44	39
çÇÓÓé“ðAÇÍ	Ái	58.0	16.1	11.6	31.3
ÇéÁÁ112	Çé	65	18	13	35
èÂêlÇÃÇ>	Ái	66.9	27.5	17.8	33.4
ÇéÁÁ338	Çé	226	93	60	113

	ÉJÉeÉSÉäÀ[älléÚóóçÇ™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÁXÇ>iòðCÇ™ âyÇμÇ½ÇÈ	älléÚrê¶iòÇ™ ÇμÇiÇ©ÇÈÇμÇ ÇçÈ	èHéñÇ, i™ØlŠ>/ ±lféúã'Ç¼ èlÇ³ÇÈ
éqÇ«Ç‡ðAÇÍ	Ái	3.7	43.6	26.1	38.3
ÇéÁÁ188	Çé	7	82	49	72
çÇÓÓé“ðAÇÍ	Ái	7.1	12.5	45.5	38.4
ÇéÁÁ112	Çé	8	14	51	43
èÂêlÇÃÇ>	Ái	5.3	24.3	29.3	37.9
ÇéÁÁ338	Çé	18	82	99	128

	ÉJÉeÉSÉäÀ[ëfièÇ<ÇÈÇ>Ç« àç°ièÇ<ÇÍÇÈ èhÇ™Ç†ÇÈ	ÇªÇÃè°	isñæ
éqÇ«Ç‡ðAÇÍ	Ái	12.8	6.4	2.1
ÇéÁÁ188	Çé	24	12	4
çÇÓÓé“ðAÇÍ	Ái	15.2	4.5	4.5
ÇéÁÁ112	Çé	17	5	5
èÂêlÇÃÇ>	Ái	12.4	5.3	1.5
ÇéÁÁ338	Çé	42	18	5

À†ólçsÇÃñ¹ili Áiâ²èllÇ,êeê Ç²ÅAóFèlÇ²Åj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[âlêÚäXÇÁÇμÇφ ïóèÓÇ™Ç†ÇÈ	îÉÇφi@Ç,à×êH Ç™âyÇμÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇìÇíÇfÇçÇÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
â²èllÇ,êeê	Ái	62.9	27.5	18.2	28.0
ÇéÅÅ119	Çé	75	33	22	33
óFèlÇ²	Ái	70.7	25.2	25.2	35.8
ÇéÅÅ42	Çé	30	11	11	15

	ÉJÉeÉSÉäÄ[âlêÚóó{Ç™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÅXÇ»iódCÇ™ âyÇμÇ½ÇÈ	âlêÚîé¶iôÇ™ ÇμÇjÇ©ÇÈÇμÇ ÇçÇÈ	êHéñÇ,ï™Øllš)/ ±llfèúà'Ç¼ èlÇ³ÇÈ
â²èllÇ,êeê	Ái	5.4	30.5	32.6	37.8
ÇéÅÅ119	Çé	6	36	39	45
óFèlÇ²	Ái	4.1	25.2	26.8	39.8
ÇéÅÅ42	Çé	2	11	11	17

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ëffèÇ<ÇÈÇ>Ç« àçÇ°ièÇ<ÇíÇÈ èhÇ™Ç†ÇÈ	ÇªÇÃè°	isñæ
â²èllÇ,êeê	Ái	13.5	5.6	1.9
ÇéÅÅ119	Çé	16	7	2
óFèlÇ²	Ái	14.6	3.3	1.6
ÇéÅÅ42	Çé	6	1	1

Å°ñ,ÇUÅFçfóàñKÇÃà”å,i ÇÃèWåvååâ

ñ,4Å@ãSi{éíálléÚÇ-ó«Ç©ÇjÇzÇ±Ç²Åir°êâÒiöÅj

	ÉJÉeÉSÉäÅ[é©ëRÇ™ñLÇ© ióaĐñæðZ	äœåĐé{ê>Ç™ ã½Ç°Ç...Ç†ÇÈ	óLñ°Ç»äœåĐin Ç™é,ĩ”Ç...Ç†Ç	ÉeÅ[É}ÉpÅ[ÉN Ç™é,ĩ”Ç...Ç†Ç
óàÇzÇç	Åi	50.2	11.2	30.5	26.6
ÇéÅÅ606	Çé	304	68	185	161
óàÇzÇ°Ç»Çç	Åi	33.3	6.7	53.3	40.0
ÇéÅÅ15	Çé	5	1	8	6

	ÉJÉeÉSÉäÅ[álléÚÇÃéøÇ™ ÇÈÇç	Ç®ióaÇÇÃê>iĐ Ç™ÇÈÇç	ÉzÉeÉäÇ,ólläY ÇÃêHénÇ™ÇÈÇ	ÉzÉeÉäÇ,ólläY Ç™óßih
óàÇzÇç	Åi	40.6	35.0	36.3	22.1
ÇéÅÅ606	Çé	246	212	220	134
óàÇzÇ°Ç»Çç	Åi	26.7	20.0	13.3	26.7
ÇéÅÅ15	Çé	4	3	2	4

	ÉJÉeÉSÉäÅ[ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ ÉTÅ[ÉrÉXÇ™ çsÇ iÖÇçÇfÇçÇl	ÇªÇÃè°	isñæ
óàÇzÇç	Åi	32.8	14.2	1.8
ÇéÅÅ606	Çé	199	86	11
óàÇzÇ°Ç»Çç	Åi	6.7	6.7	0.0
ÇéÅÅ15	Çé	1	1	0

ñ, 5Å@ãSi{ẽĩãlleÚÇ-ãÝe“ÇÕÇÇÍÇæÇ;ÇžÇ±Ç²Åĩr°ẽiãÒiöÅj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ãlleÚinÇÃ iõeÓÇ...ããÇØÇ	ãSi{ẽĩÇÃãÕãÝÇ, é,ĩ”ÇÃéRÇ¾ ĩ±ÇØÇ»Çç	ñ°èäÇ,ããé’Ç™ ãXÇÃiÜÇ...Ç»Ç	é,ĩ”ÇÃãçãDiniô Ç...ñ£óÕÇ™Ç»
óàÇžÇç	Åi	17.2	14.4	18.5	19.1
ÇéÅÅ606	Çé	104	87	112	116
óàÇžÇ°Ç»Çç	Åi	46.7	6.7	33.3	20.0
ÇéÅÅ15	Çé	7	1	5	3

	ÉJÉeÉSÉäÄ[iiÇ½ÇÆÇËÇ™ Ç-Ç’Ç»Çç	ãlleÚÇÃéøÇ™ isñüé’	Ç@iódCÇÃ è>iÐÇ™isñüé’	ÉzÉeÉãÇ,óllaÝÇÃ óóóuÇ™isñüé’
óàÇžÇç	Åi	17.5	5.3	4.5	5.6
ÇéÅÅ606	Çé	106	32	27	34
óàÇžÇ°Ç»Çç	Åi	6.7	40.0	20.0	33.3
ÇéÅÅ15	Çé	1	6	3	5

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉzÉeÉãÇ,óllaÝÇÃ é{è>Ç,è>iÐÇ™ isñüé’	ÉzÉeÉãÇ,óllaÝÇÃ ÉTA[ÉrÉXÇ™ isñüé’	ÇªÇÃé°	isñæ
óàÇžÇç	Åi	2.3	3.6	11.2	29.2
ÇéÅÅ606	Çé	14	22	68	177
óàÇžÇ°Ç»Çç	Åi	13.3	20.0	33.3	0.0
ÇéÅÅ15	Çé	2	3	5	0

(3) 潜在的顧客へのアンケート（台東区住民アンケート調査）

①概要

□アンケート調査の目的

- ・ 鬼怒川温泉の潜在的顧客の意見を聴取するアンケート。

□調査期間

- ・ 平成17年1月30日（日）～2月6日（日）の10日間

□調査対象者

- ・ 台東区に居住する20代から70代の男女、各50人（全600人）を無作為に抽出

□配布数・回収数

- ・ 配布数：600通
- ・ 回収数：165通（回収率27.5%）

□調査方法

- ・ アンケート票を郵送にて配布
- ・ 郵送にて回収

②アンケート用紙

「鬼怒川温泉についてのアンケート」へのご協力をお願い

鬼怒川温泉は、浅草から東武鉄道で約2時間の距離にある、豊かな自然に恵まれた歴史ある温泉地として、首都圏をはじめとする全国のお客さまに愛され、発展を続けてきました。

このたび、鬼怒川温泉のある藤原町では、お客さまの生の声をこれからのまちづくりに生かしたいと考え、「鬼怒川温泉についてのアンケート」を実施することにいたしました。

ご回答頂いた内容および皆さまの個人情報の保護には十分な配慮を行っておりますので、鬼怒川温泉がこれからも皆さまの憩いの場として発展していけるよう、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの実施に当たっては、藤原町の友好都市である台東区のご協力を得ております。

ご回答頂いたアンケート用紙は、同封の返信用封筒で調査受託者（株）都市計画設計研究所）までお送りください。恐れ入りますが、ご投函は2月6日（日）までにお願いいたします。なお、お送り頂いた方にはささやかですがお礼の品をさしあげます。

どうぞ、これからも鬼怒川温泉をよろしくお願いいたします。

平成17年1月吉日

藤原町長 八木澤昭雄

※このアンケートについてご質問等がありましたら、下記までお願いいたします。
（調査受託者）（株）都市計画設計研究所（担当：磯野、矢作、平井）03-3225-1501

まず、あなたについてお聞かせ下さい。

問1 記入者について、当てはまるものに○をつけてください

性別：男性 女性

年齢層：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

職業：会社員・公務員 自営業 学生 主婦 パート、アルバイト 退職者

その他（具体的に)

つぎに、鬼怒川温泉への旅行経験についてお聞かせ下さい。

問2 鬼怒川温泉に行ったことがありますか。（日帰りを含む）

1 ある →問3へ

2 ない →問7へ

鬼怒川温泉に行ったことがある方にお聞きします。

問3 その旅行はどんな旅行でしたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 家族や親戚との旅行

2 友人との旅行

3 一人旅

4 団体旅行（社員旅行、組合、同窓会、町内会など）

5 その他（具体的に)

問4 もう一度、鬼怒川温泉に行きたいと思いますか。

1 行きたい・行ってもよい →問5へ

2 行きたくない →問6へ

問5 問4で、もう一度、鬼怒川温泉に「1 行きたい・行ってもよい」と答えた方にお聞きします。鬼怒川温泉のどんなところが良かったですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 鬼怒川や山並みなど自然が豊かで風光明媚

2 鬼怒川ライン下りやロープウェイなどの観光施設が近くにある

3 日光東照宮や竜王峡など、有名な観光地が周辺にある

4 日光江戸村や東武ワールドスクウェアなど、テーマパークが周辺にある

5 温泉（お湯）の質がよい

6 お風呂の設備がよい

7 ホテルや旅館の食事がよい

8 ホテルや旅館が立派

9 ホテルや旅館のサービスが行き届いている

10 その他（具体的に)

問6	<p>問4で、鬼怒川温泉に〔2 行きたくない〕と答えた方にお聞きします。そう思った理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温泉地の風情に欠ける（湯けむりや土産物屋など） 2 鬼怒川の河原や周辺の山を歩けない 3 見物できるような名所や旧跡が街の中にない 4 周辺の観光地やテーマパークに魅力がない 5 外湯や他のホテル・旅館のお風呂の【湯めぐり】ができない 6 温泉（お湯）の質が不満足 7 お風呂の設備が不満足 8 ホテルや旅館の料理が不満足 9 ホテルや旅館の施設や設備が不満足 10 ホテルや旅館のサービスが不満足 11 その他（具体的に ）
----	--

鬼怒川温泉に行ったことがない方にお聞きします。

問7	<p>鬼怒川温泉は台東区浅草から東武鉄道で約2時間ですが、行ったことがない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鬼怒川温泉にあまり良いイメージを持っていない 2 鬼怒川温泉のホテルや旅館に魅力がない 3 鬼怒川温泉のホテルや旅館は料金が高い 4 近傍の観光地や景勝地に魅力がない 5 温泉に行きたいとは思わない 6 旅行する（時間的、金銭的）ゆとりがない 7 旅行に興味がない 8 特に理由はない 9 その他（具体的に ）
----	--

あなたが行ってみたい温泉についてお聞かせ下さい。

問8	<p>あなたが行ってみたいと思う温泉はどんな温泉ですか。当てはまるものに3つまで○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温泉地らしい風情がある 2 買い物や飲食が楽しめる 3 にぎやかなお祭りやイベントが行われている 4 外湯や他のホテル・旅館の【湯めぐり】ができる 5 医師などの指導を受けながら、温泉療養が出来る 6 クアハウスやスパ、温泉プールなど色々な風呂が楽しめる 7 温泉表示などがしっかりしていて信頼できる 8 食事やチェックイン／チェックアウト時間を好みで選べる宿がある 9 素泊まりなど、安く泊まれる宿がある 10 その他（具体的に： ）
----	--

問9	<p>あなたが行ったことがあり、もう一度行きたい温泉はどこですか。3つまでお答え下さい。その理由もお書き添え下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">（ ）温泉</td> <td>理由（ ）</td> </tr> <tr> <td>（ ）温泉</td> <td>理由（ ）</td> </tr> <tr> <td>（ ）温泉</td> <td>理由（ ）</td> </tr> </table>	（ ）温泉	理由（ ）	（ ）温泉	理由（ ）	（ ）温泉	理由（ ）
（ ）温泉	理由（ ）						
（ ）温泉	理由（ ）						
（ ）温泉	理由（ ）						

次のページにも質問があります。

温泉地でのヒーリング（癒し）についてお聞かせ下さい。

問 10 今後、鬼怒川温泉は温泉のもつヒーリング（癒し）効果に注目して、楽しみながら心と体が健康になる、美しくなる温泉地を目指したいと考えています。あなたが、温泉にあつたら利用してみたいと思うサービス、すべてに○をつけてください。

- 1 あなたの体調や体質にあつた湯治メニュー（カルテ）の提供
- 2 医師などの専門家が指導する温泉療養プログラム
- 3 マッサージや指圧
- 4 エステや各種の美容サービス
- 5 アーユルヴェーダ（インドの伝統療法）の体験・指導
- 6 ヨガや太極拳、気功などの体験・指導
- 7 介護予防に役立つ軽い運動（パワーリハビリテーション）などの体験・指導
- 8 アロマセラピーの体験・指導
- 9 音楽（ヒーリングミュージック）療法の体験・指導
- 10 ペットや小動物とふれあう動物療法の体験・指導
- 11 健康的な食事（ダイエット）メニューの提供・指導
- 12 ストレス解消のためのセミナーやカウンセリング、セラピー
- 13 地元の人が案内する近郊の山や森のガイドツアー
- 14 クラインガルテン（市民農園）での園芸や農業体験
- 15 陶芸や手芸、料理教室などのカルチャースクール
- 16 その他（具体的に： _____）

問 11 あなたが「癒し」を求めて温泉に行くとしたら、温泉に入るほかに何がしたいですか。自由に書いてください。

鬼怒川温泉への要望や期待をお聞かせ下さい。

問 12 現在、鬼怒川温泉のある藤原町では、皆さまに愛される温泉地づくりを進めています。これからの鬼怒川温泉への要望や期待があつたら教えてください。

アンケートは以上です。どうもありがとうございました。

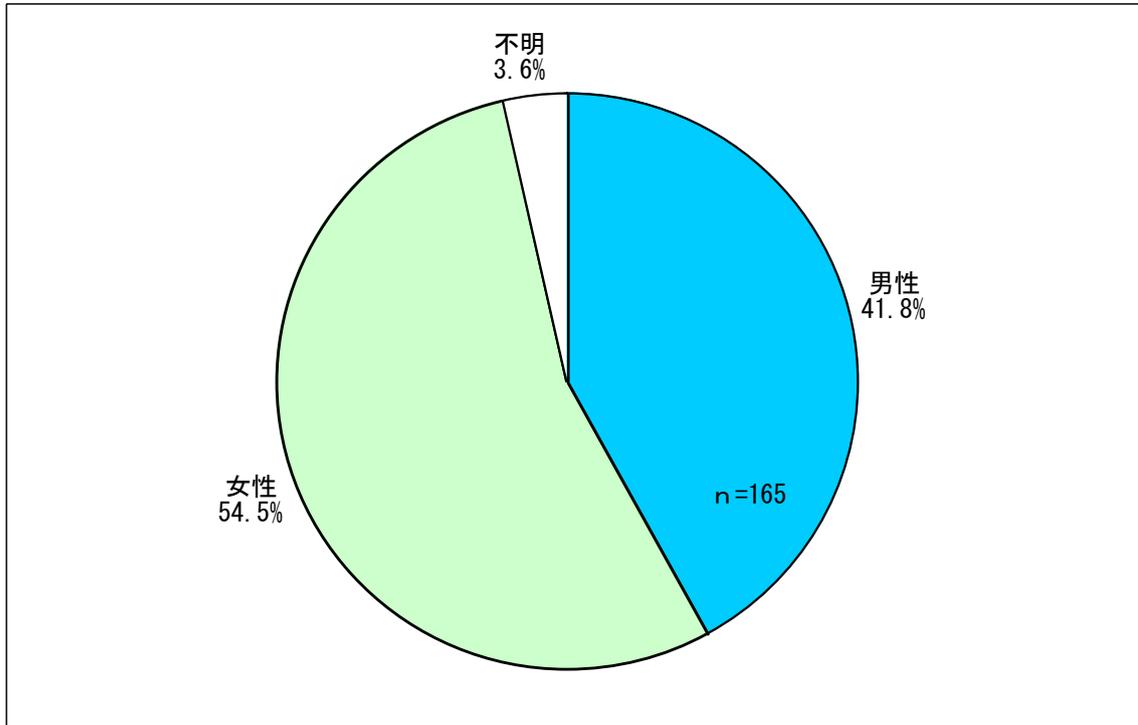
同封の返信用封筒に入れて、2月6日（日）まで（消印有効）に、調査受託者の（株）都市計画設計研究所までお送り下さい。

お礼の品をお送りしたいので、差し支えなければ返信用封筒にご住所・お名前をお書き下さい。

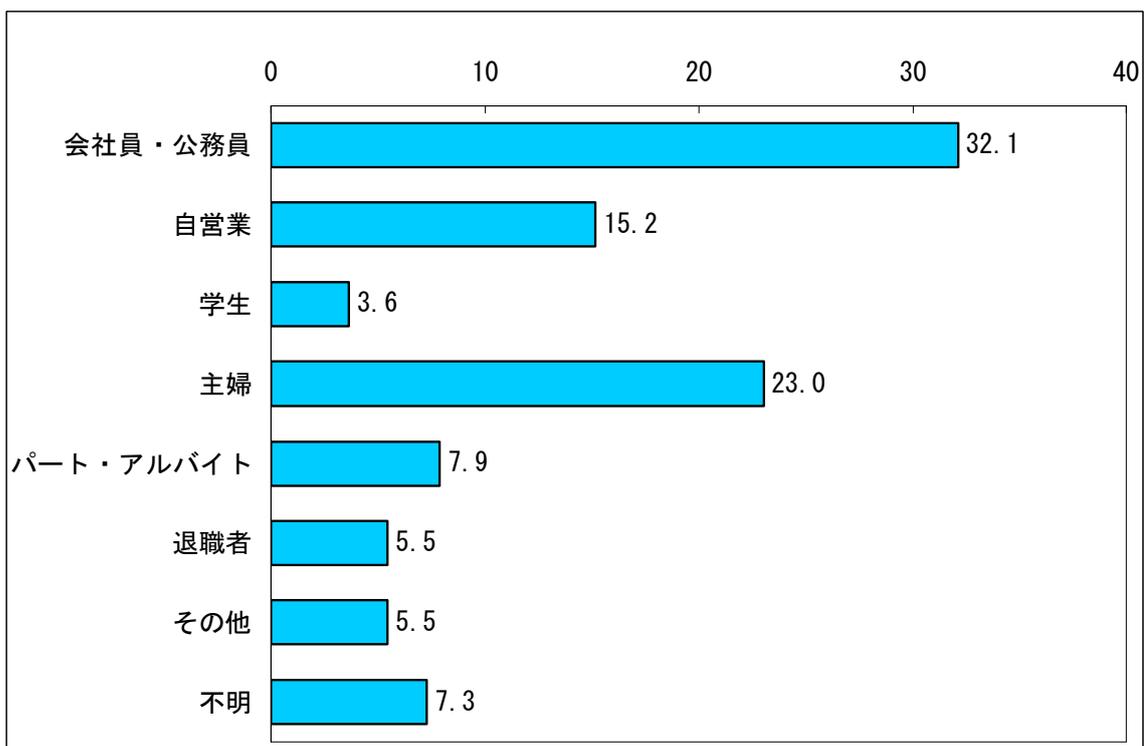
③集計結果

■属性

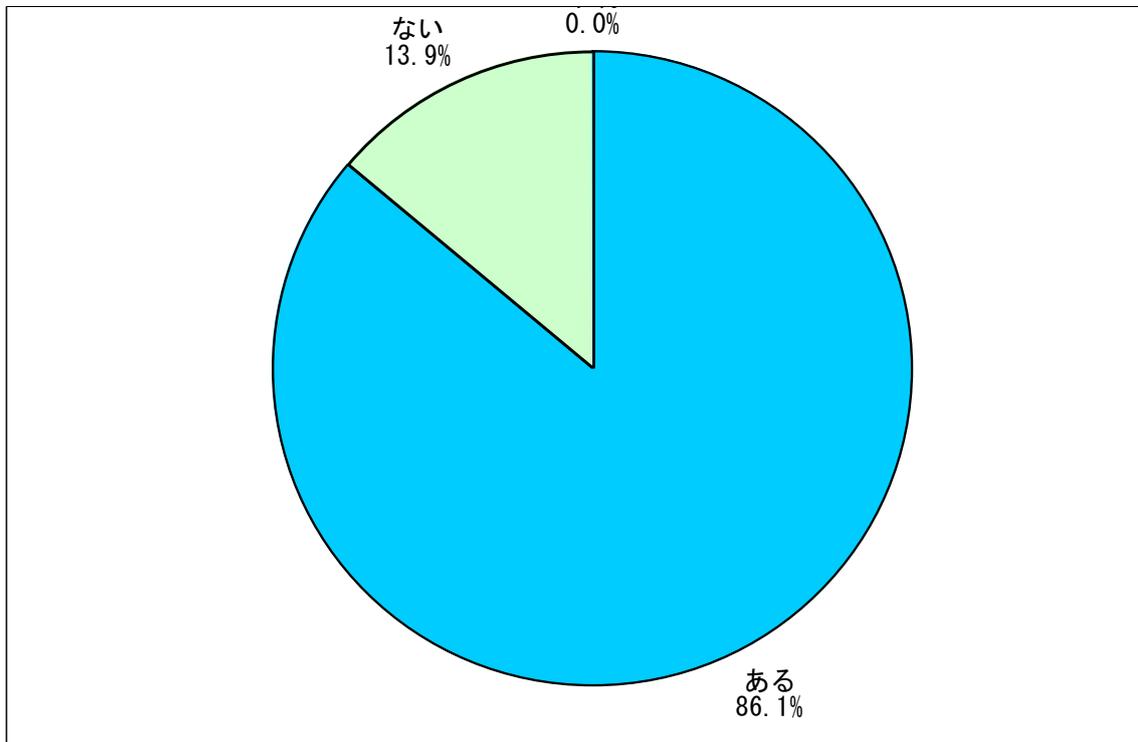
□記入者の性別 (n = 165)



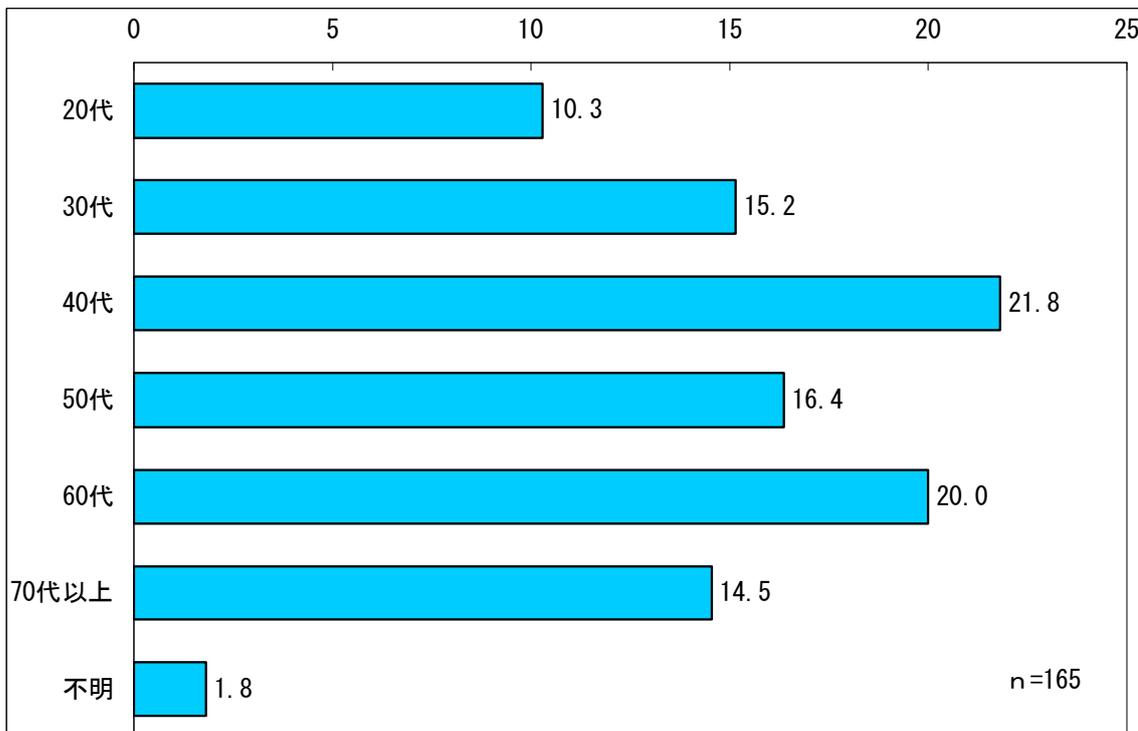
□記入者の職業 (n = 165)



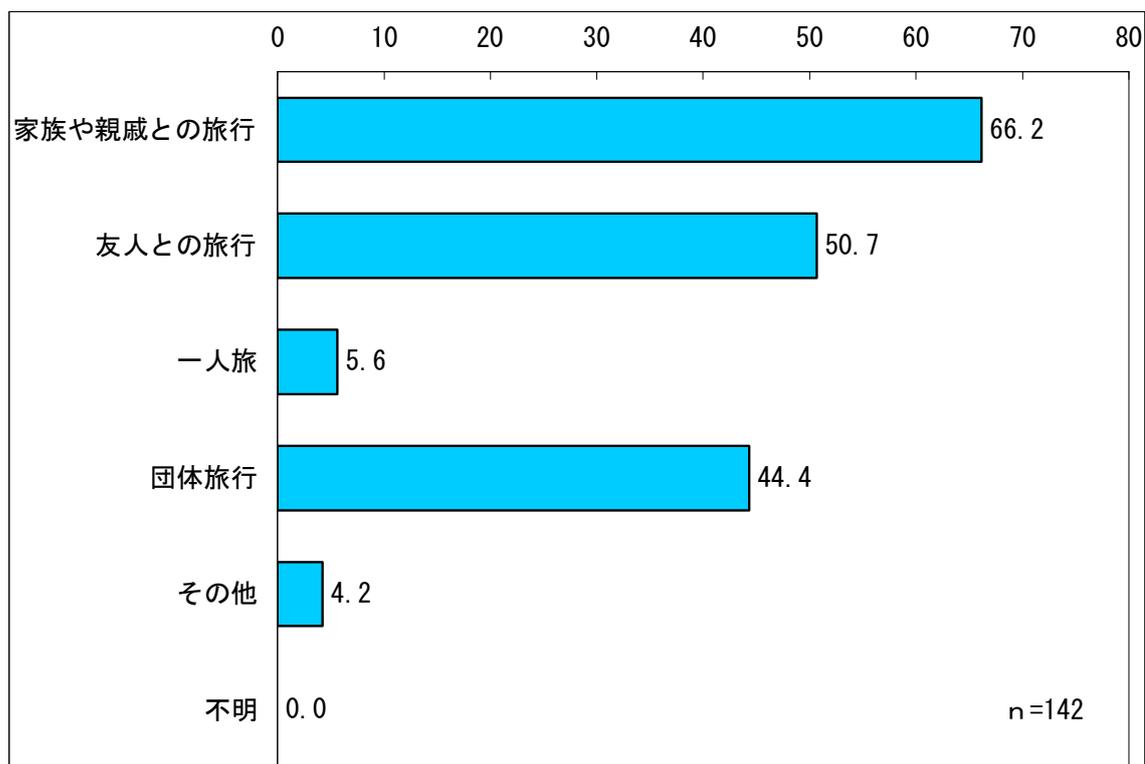
□鬼怒川温泉への旅行経験（n=165）



□記入者の職業（n=165）

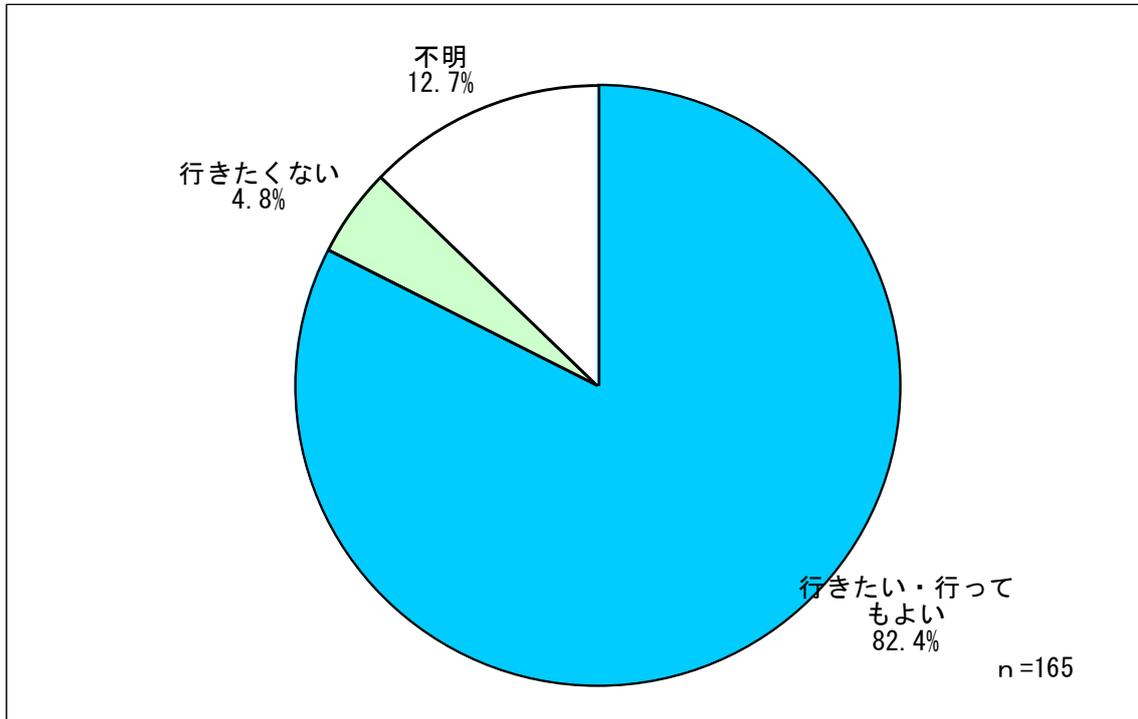


□鬼怒川温泉への旅行目的（n=142）

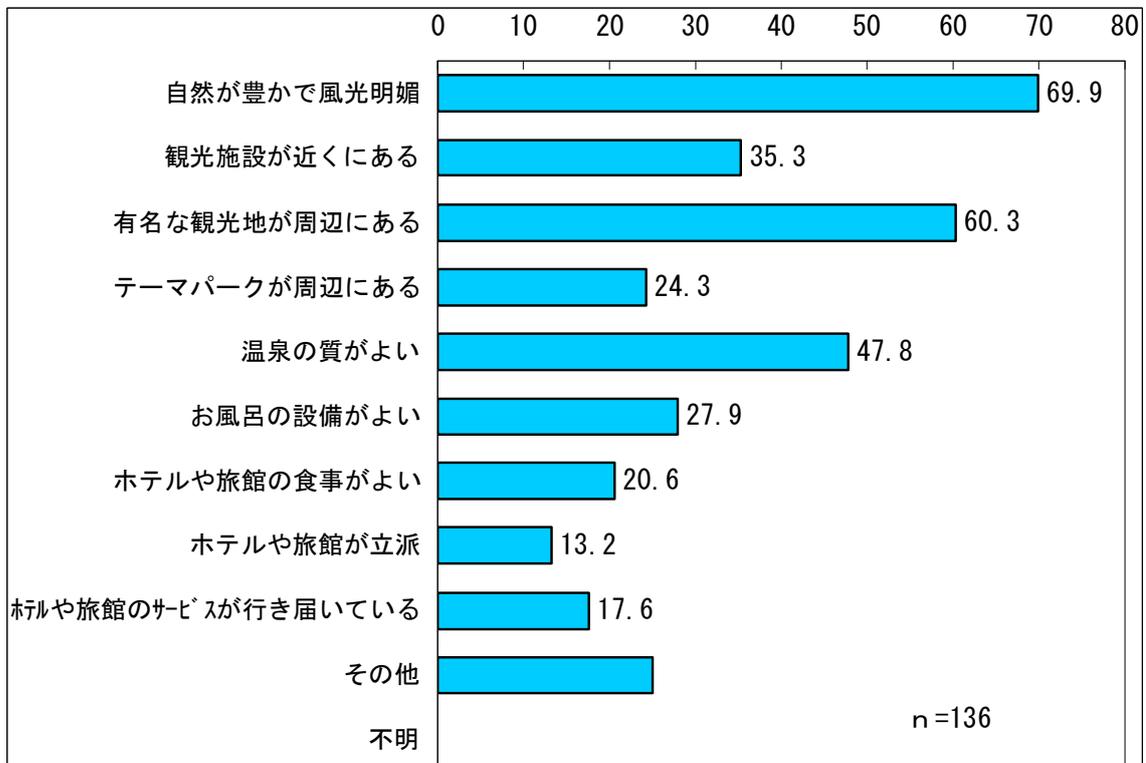


■単純集計結果

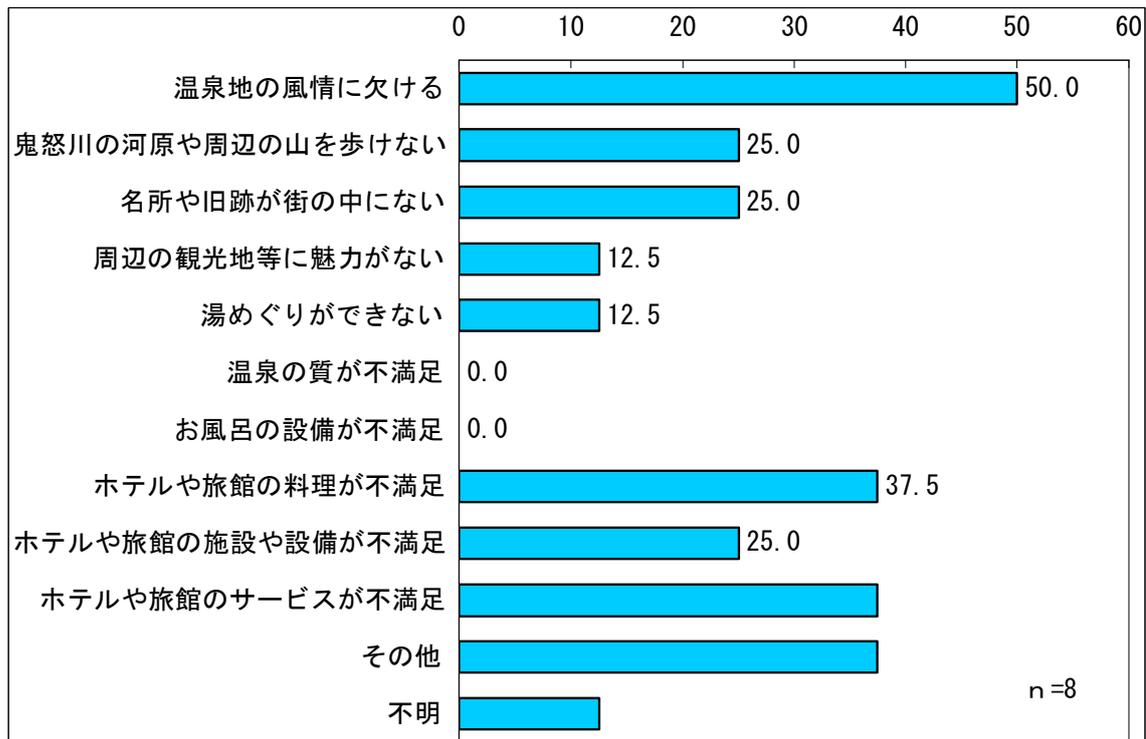
□鬼怒川温泉への再来訪の意向 (n=165)



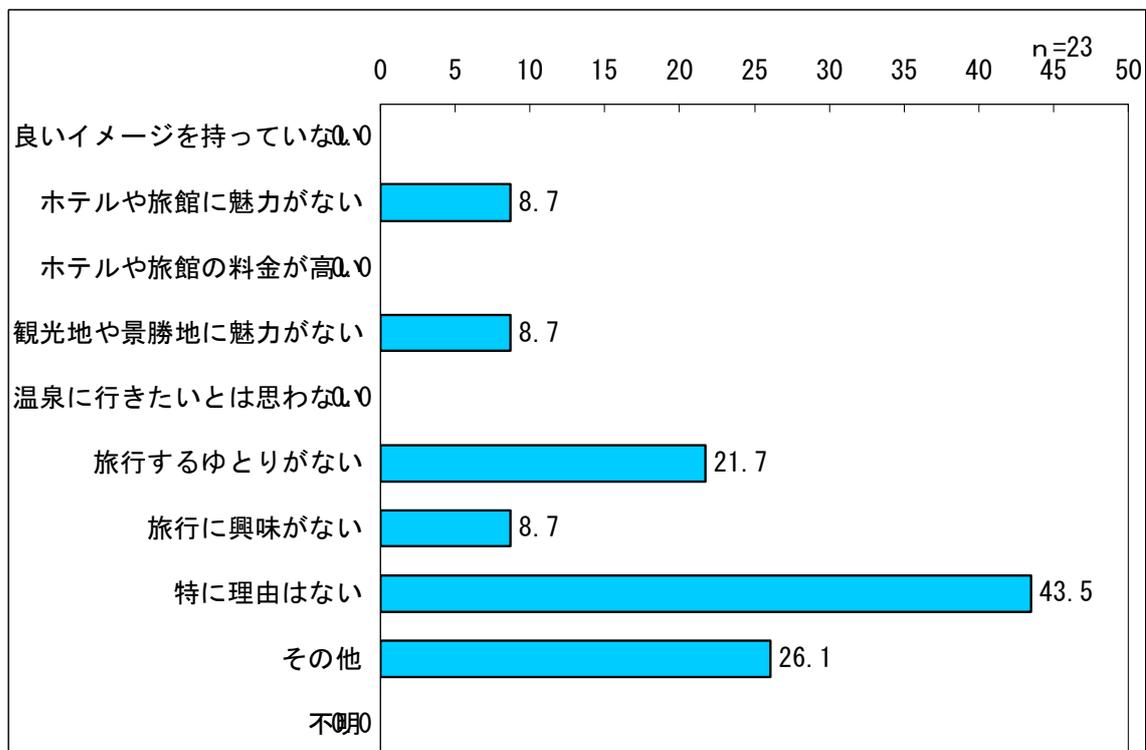
□鬼怒川温泉で良かったこと (n=136)



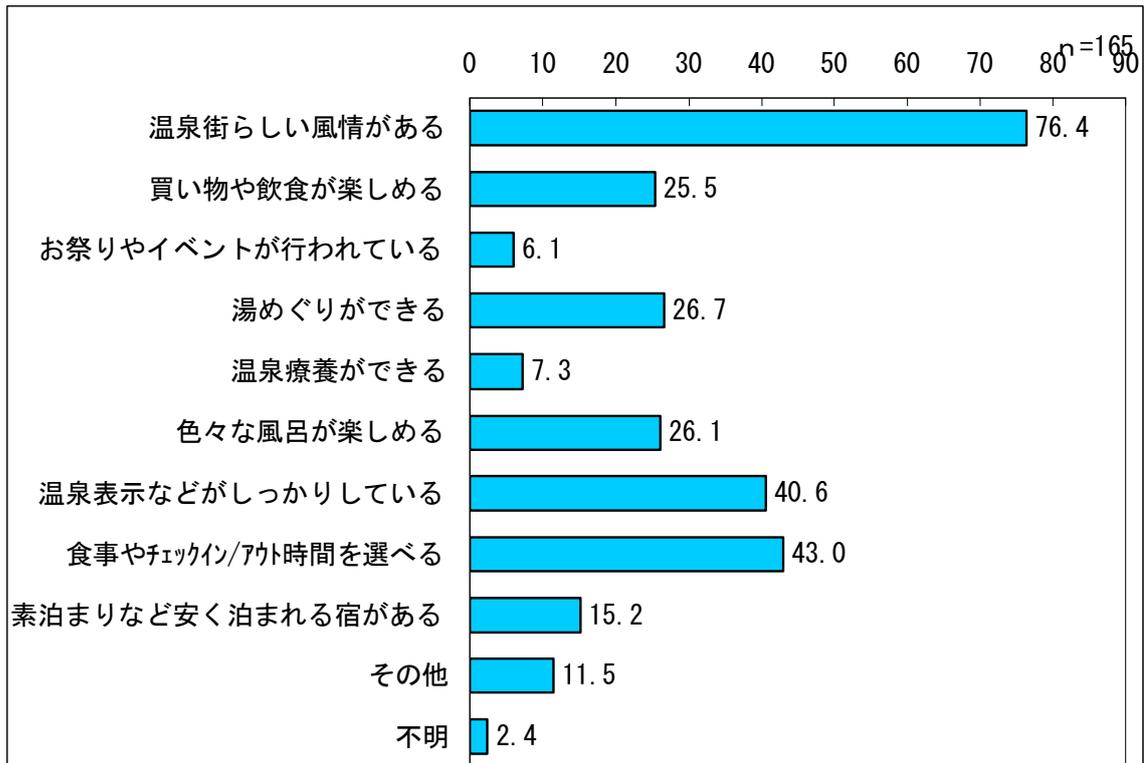
□鬼怒川温泉に行きたくない理由（n = 8）



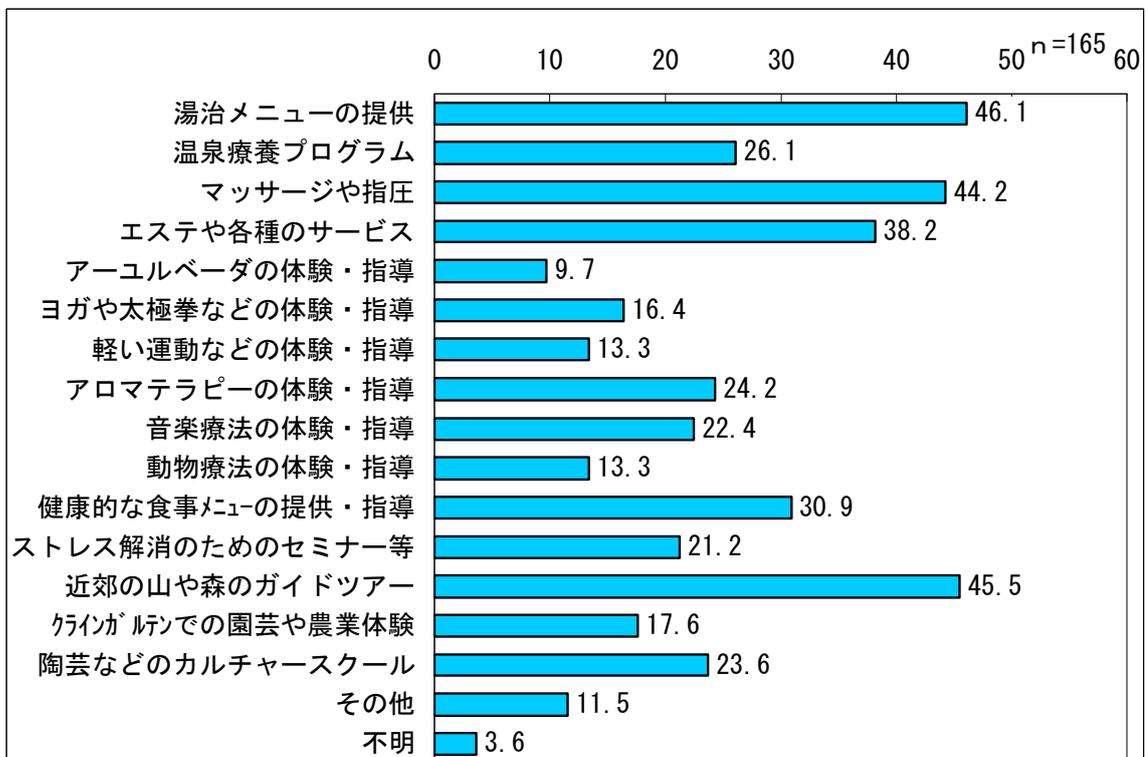
□鬼怒川温泉に行っていない理由（n = 23）



□行ってみたいと思う温泉（n=165）

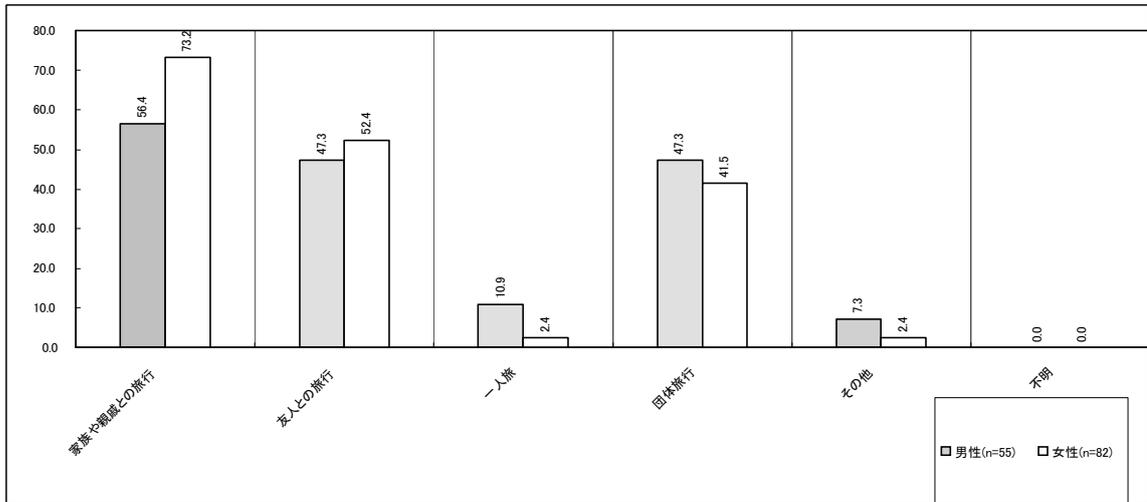


□温泉地で利用・体験してみたいこと（n=165）

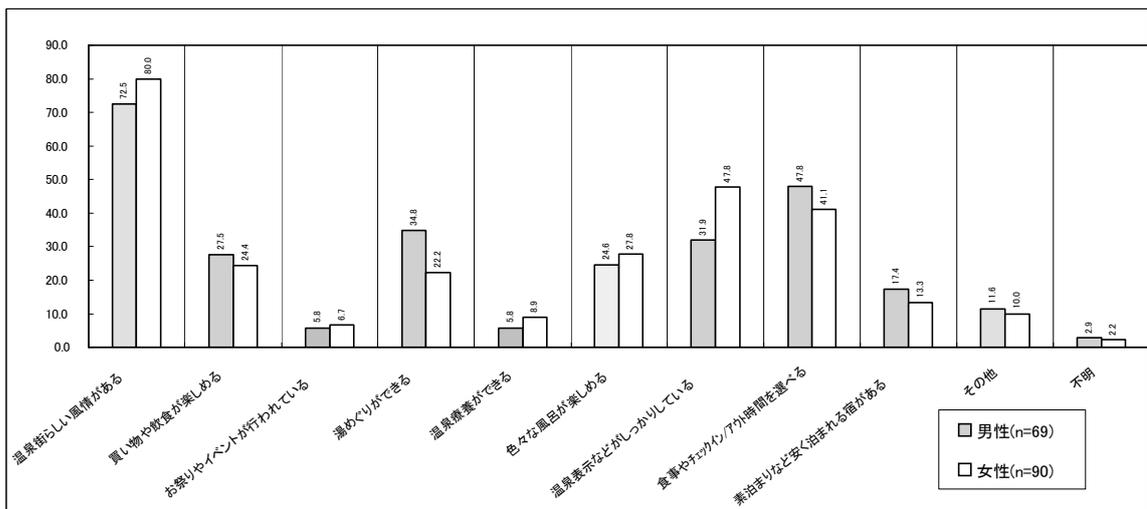


■性別別の集計結果（男、女）

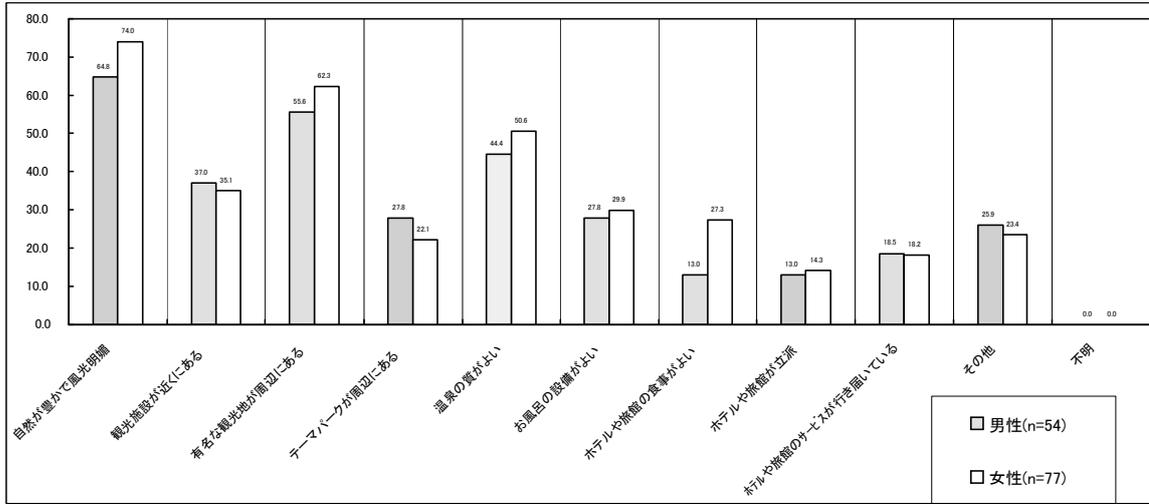
□鬼怒川温泉に行った目的（n=142）



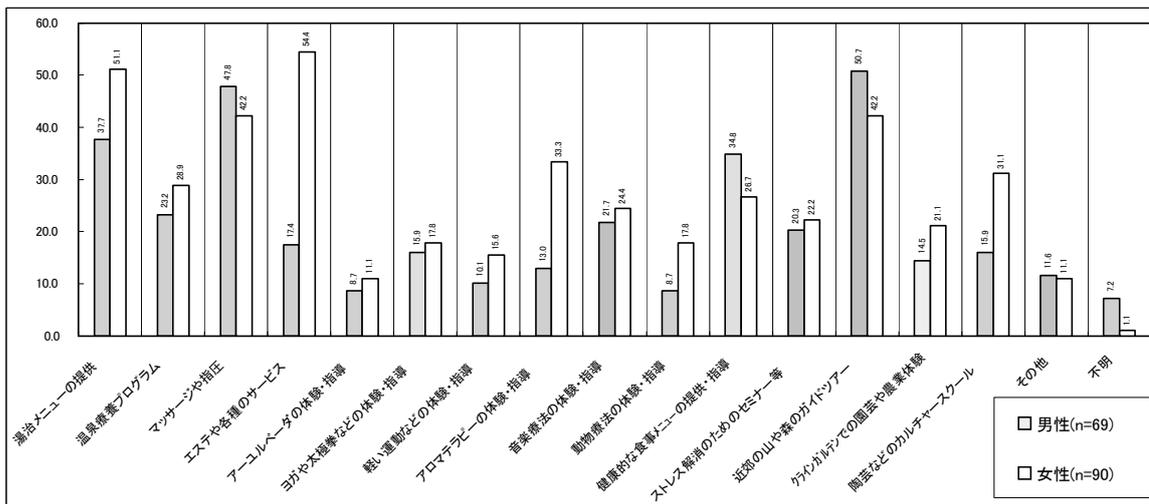
□行ってみたい温泉（n=165）



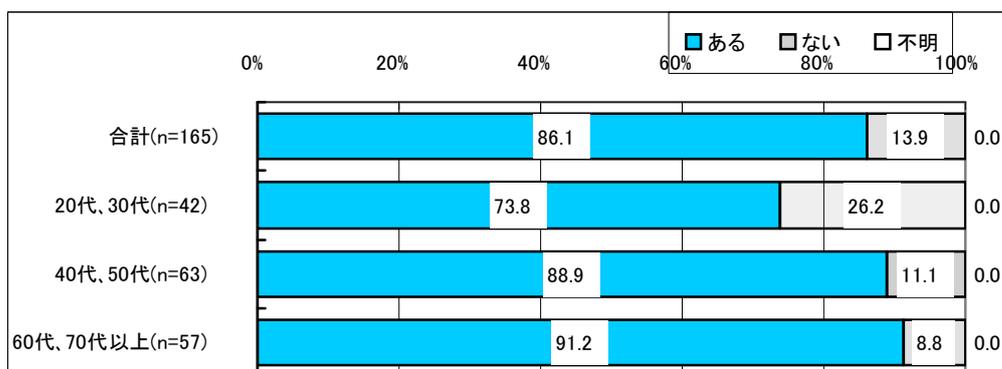
□鬼怒川温泉の良かったところ（n=165）



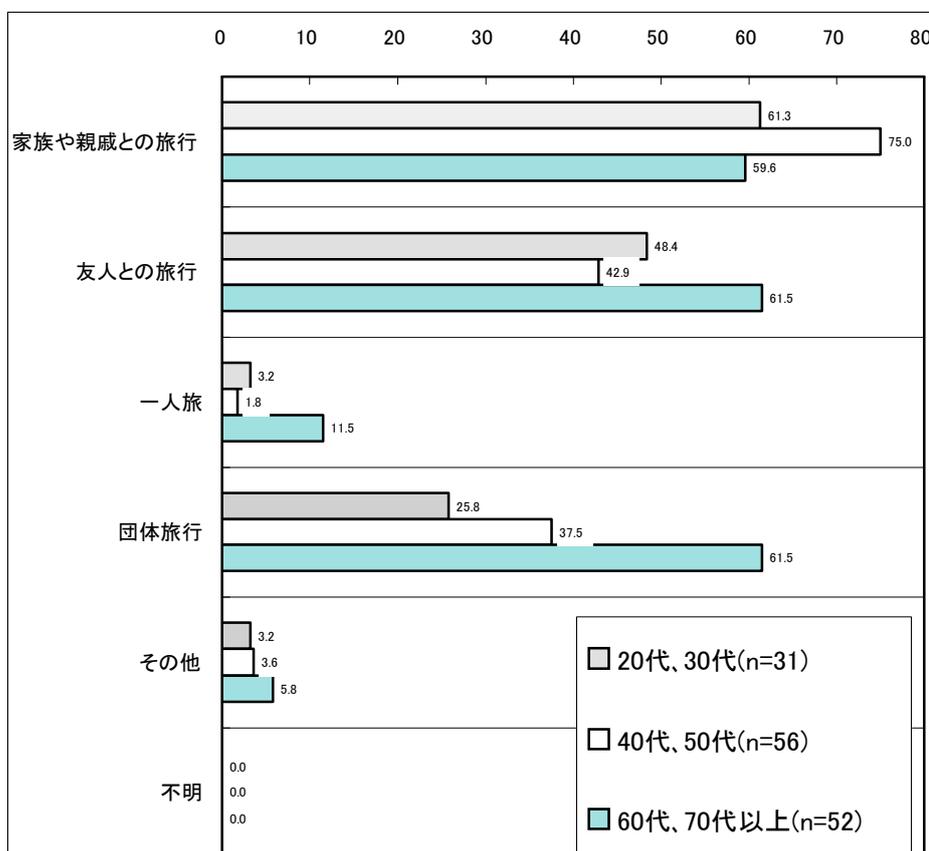
□温泉地で体験・利用してみたいこと（n=165）



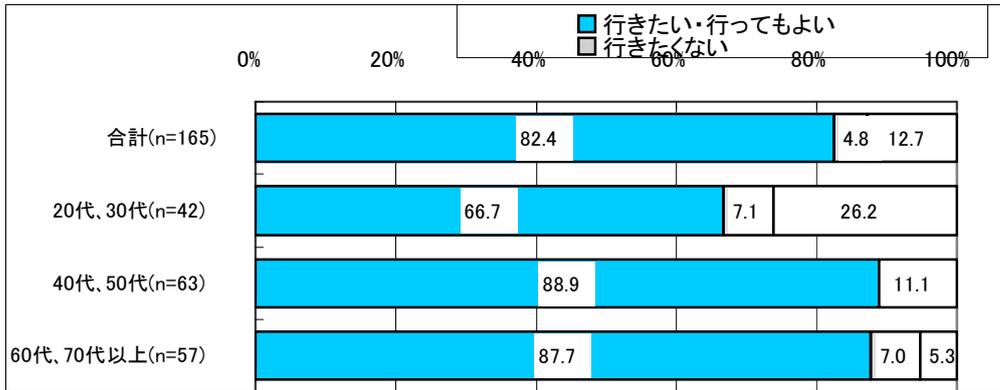
■年代別の集計結果（20～30歳代、40～50歳代、60～70歳代以上）
 □鬼怒川温泉に行った経験（n=165）



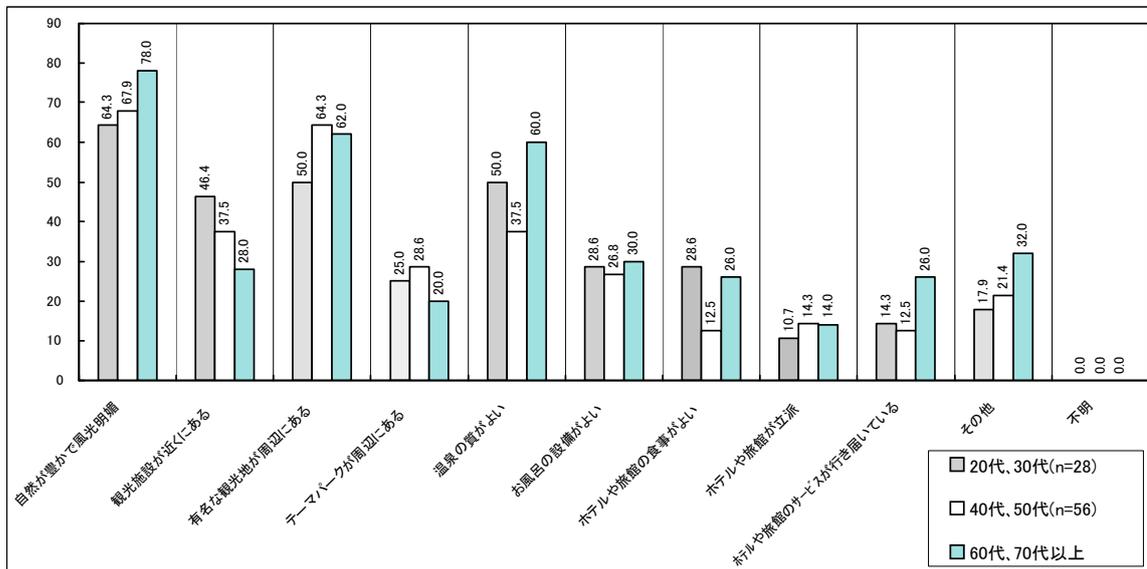
□鬼怒川温泉に行った目的（n=142）



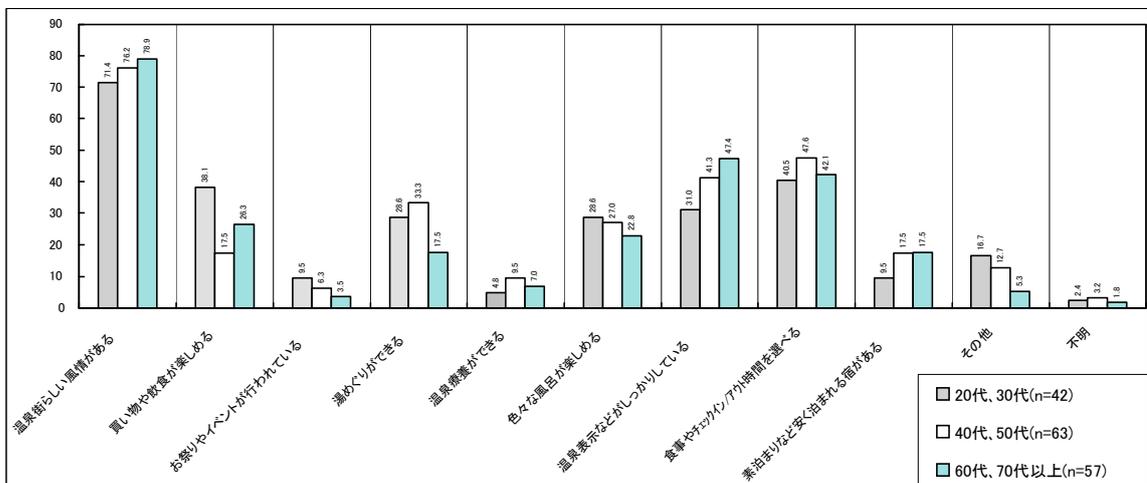
□再訪の意向 (n=165)



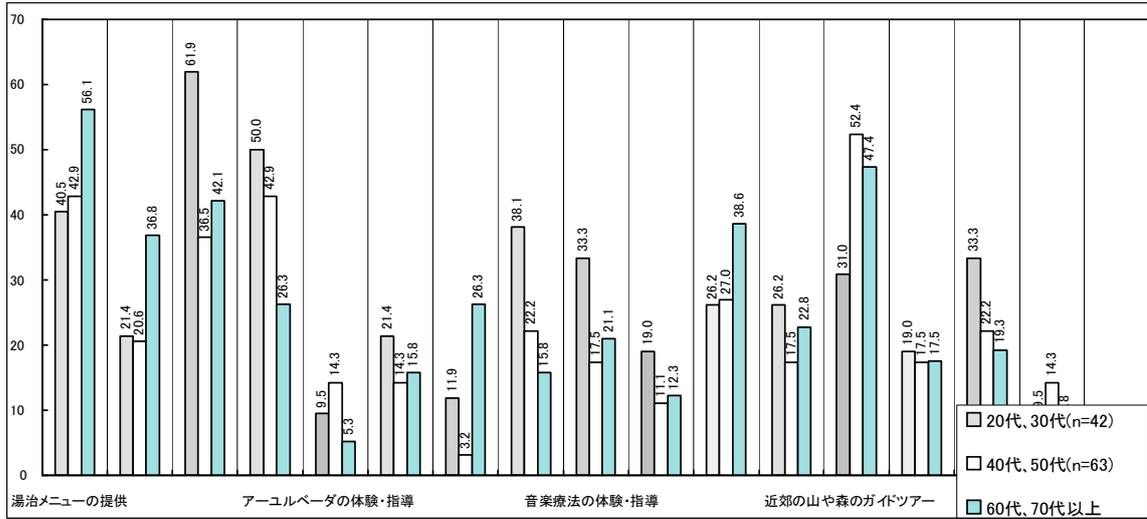
□鬼怒川温泉で良かったこと (n=136)



□行ってみたいと思う温泉 (n=165)



□温泉地で体験・利用してみたいこと (n=165)



■これからの鬼怒川温泉への要望や期待（フリーアンサー）

カテゴリー	件数	主なコメント				
街について	全般	33	<ul style="list-style-type: none"> ・古いイメージがあるので若い人が興味を持つような施設→観光を考えると良いと思う。 ・本来の温泉らしい温泉地がいい。騒がしさは必要ない。 ・昔からの良い物を残しながら、エステがあったり、美味しいケーキとコーヒーを飲ませて下さる良い雰囲気の所があったり、「ほっ!」と出来る温泉であって下さい。 ・昔ながらの街並みを残しつつ新しくきれいなホテルや設備も出来るといい。ホテル以外での外食できる所が少なかったように思ったので増やして欲しい。 ・施設インフラの充実だけでなく、訪れた人が「歓迎されている」と感じられるような雰囲気というものは心に強く残ります。歓迎されてこそ癒されると思いますので、その辺のレベルアップに期待します。(鬼怒川温泉を訪れたのはなかり前のことになりました。特に上記の事は鬼怒川温泉に対して感じた、感じていないというものではありません) ・団体の行く旅館は嫌いなので、個人でのんびり静かに温泉を楽しめる宿と川沿いの自然な景観。(大きな看板や廃屋は見たくない) ・東京から2時間と近い温泉地。今、若い人達の温泉熱はかなりのものです。試験後、卒業旅行、休みが取れたら一泊で温泉と、中高年をターゲットとし若い人達が訪れたいくなる様な場所にしたらと思います。おしゃれなカフェやイタリアンレストランがあったら。 ・家族サービスを目的とした旅行、一人旅で本当に癒しを求める為に訪れる旅行、それぞれ形態は違えども、それぞれの目的であれ、満足のいく様な温泉地であり又、受入旅館の充実を期待します。今後、東武鉄道だけでなく、JR 東日本との相互乗入れも決まり、より一層集客が見込まれる温泉地であるのだから。 ・浅草から東武鉄道で2時間なので、浅草に住んでいる私としては、本当に近くてうれしい限りです。だからといってしょっちゅう足を運びたいか言ったら…というか、何かもう少しひかれるものがあれば…と思います。たまたま私が行った(泊まった)所がそんなに心ひかれなかっただけかもしれないので、これから自分好みの宿が見つかる様に何度か行ってみたいと思います。 ・夜でも安心して歩ける防犯性 ・リーズナブルで、ポイントカードのような回数による特典があると浅草から1本で便利なので行く人も増えると思う。 ・両親は、年に何回か鬼怒川温泉に行きますが、駅まで送迎もありますし皆、親切と聞かされています。これからもサービスよろしくお願いします。 ・幼い頃から鬼怒川温泉のCMを見ていて名前は知っていたので、これからも頑張ってください。もう少し子供が成長したら一度おとずれてみたいです。 			
		イメージ	5	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川温泉は、大きな旅館があり男性の団体旅行が多いイメージがある。個人がゆっくり行ける家族的な温泉になって欲しい。 ・一度持ってしまったイメージは何年経っても消えません。鬼怒川というあの汚い温泉地という事で私はどうしても幹事になっても避けています。 ・都心から近いことをもっと宣伝して頂いてイメージアップにつとめてください。 		
				駅前	2	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前をもっと充実して欲しい。(駅の周辺に何も無い)。駅前に足湯を楽しむ所とか、ショッピングモールを作るとか、駅の発展が観光客の発展につながる。
						温泉施設
		景観	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各店、色まちまの雑多なぼりなどの広告が目立つ。温泉街には、個人的に魅力を感じません。カラートーンの統一された街作りに期待致します。 ・大型のホテル、旅館が多すぎるように思います。せつかくの自然の景色がいかされていないと思います。もっと昔ながらの温泉場の雰囲気を大事にした町作りが必要だと思えます。 		
				自然	12	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にきれいな川や植物を育てて又、季節毎に会いに行きたいと思わせて欲しい。出来上がったテーマパークや建物なんて一度で飽きてしまうものだから。地場の野菜や果物そして小鳥も大切な出会いたい生物です。感動する野生の生物に出会いたい。タヌキ、キツネ、シカ等。 ・外国にあるクラブメッツやPICの様なスポーツやイベント、森の体験や川での体験をしてくれる様な所があると便利で楽しく過ごせそう、若い人にも受けそう。自然の遊び方を知らない人は多いと思います。癒しだけの温泉場で終わらないで下さい。山や川もいかして下さい。 鬼怒川温泉特有の自然を生かした、心の癒される温泉地にして欲しい。 川原に降りられる所があるといいのだが。(橋の上でしか川が見れない) 家族で自然の中でくつろげるような温泉地
		子ども	3			<ul style="list-style-type: none"> ・大きなアスレチックを置いた公園など、遊び場を作って欲しい。子供達が自然の中で遊べる施設があるといい。 ・つり堀り、つかみどり、野菜作りの後の収穫等々、孫や子供達と一緒に遊べる施設があるといいですが。
						交通・道路
		交通(送迎)	5			

		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスの便利性を考えていただく。もっと細かく時間を整えながらお客のサービスにつとめていただきたいです。 ・地元の旅館組合で直行バス（浅草、巣鴨、渋谷、新宿等）を設定、宿泊込で交通料も含んで企画設定。15名以上は直接バスで送迎するとか。現在、実施していたら申し訳ございません。
	情報	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料の見やすいおすすめマップ。安いおすすめツアーを作ってください。 ・たしかに鬼怒川は、浅草から近いですね。ただこの町に住んでいて鬼怒川の事がよく伝わって来ません。東武鉄道に乗れば日光鬼怒川方面には行くんだ!ぐらいの感覚しかありません。マスコミ等でイメージ的なアピールをする事をおすすめします。
温泉について		<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“温泉の信頼性”と“大自然”これがなければわざわざ交通費を払って行くのはちょっと、気分の良い風呂だけなら都心にもたくさんあるので。 ・鬼怒川温泉は、とてもリラックスできて気に入った温泉でした。7、8年前までは、年に4、5回行きました。ある日、知人から源泉湯じゃない事を聞き、その後宿泊せずに日帰りで数回行きました。とても好きな温泉だけに淋しいですね。わかし湯でなければ直ぐにでも行き、宿泊したいと思っています。 ・他の温泉にないものを、一つ（これが何か? 大きな露天風呂、日本一の露天風呂を作ってください）だけでもあれば近いので年に何度も行くと思います。
ホテルについて	全般	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくは知りませんが、鬼怒川の旅館は大規模な施設を持った所が多いようですが、家族で行くには不向きのような気がする。私が温泉に行く場合（家族で）源泉掛け流しの宿を基本としており、おのずと鬼怒川は対象外になります。 ・色々なランクの旅館が共栄共存すること。東京からの立地も良いのだから宴会ばかりでなく、個人旅行としても年代的に色々な旅館があつて欲しい。個性をもつこと。 ・地元の料理といつでも入れる露天風呂 ・食事が良くて、温泉がきれいで質が良いというあたりまえの事が出来てないところが多すぎます。まずは宿1つ1つが当り前のサービスができるように心掛けて欲しい。そうすれば必行きます。宿が全てです。 ・団体客がいるホテルよりも小さな旅館で、広目の部屋で落着ける所が良い。お風呂も1カ所ではなく、いくつかあつた方が良く思う。 ・宴会で騒々しくない部屋の配置（何回か宴会に巻き込まれて困った事がある。特に和室は鍵がかからないので)
	チェックイン/アウト	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の温泉地で泊まったあくる日の昼食もあり午後2時までというのがありました。料金は高くなりますが、とてもゆっくり出来ました。一泊でもとても良いと思いました。 ・ホテルのチェックアウトは遅くしてもらいたい。(チェックインは遅くても良いから) ※大体が10時チェックアウトなのでのんびり出来ない。11時~12時にして欲しい。
	イメージ	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休んでいたり、休館してホテル、旅館を利用する方法を考えた方がよい。「イメージとして」怖い、暗い、さみしい感じがする。 ・安いイメージがある為、高級感
	食事	<p>17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風情が色々あるので良いのですが、食事を全体にもう少し良くして欲しいですね。 ・宿の食事がどこも似たりよったりで量も多すぎて少々うんざりしています。 ・温泉は好きなのですが、夕食は料理が多くつい食べ過ぎてカロリーオーバーになってしまい又、塩分やコレステロールも増えてしまいます。年を取ったら料理も沢山食べられませんので数を減らして、質を良くして頂いたらと思います。健康に良い食事を考えていただけたらと期待しています。 ・以前、ある旅行会社のバック旅行で行った時、食事に独自性がないと思いました。数ばかり多くても仕方がないと思います。横並びでなく、例えば、シニア向けの数が少なくともその価値観があると思えるメニューを考えられてれば。 ・食事もバイキングで色んなものを出してもらった方が良くと思います。 ・旅館の料理には、食べられない物が多い。私達が好き嫌いが多いせいでもあるのだが。前もって食事の内容を教えてもらえるとありがたい。高い料金払うのだから。 ・食事にも鬼怒川ならではの郷土料理を一品、二品は取り入れて欲しい。
	接客	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客へのあいさつ（掃り際共）きちんとすると気分が良く、又来たくなる感じがする。従業員の服装などきれいで統一すると良い。 ・仲居さんの質にもバラつきが大きく、宴会等でとても失礼な仲居さんもいて、ビール運びを命令口調で手伝わされたことすらあります（私は幹事でも何でもないので）。逆にとても気持ち良いサービスしてくれた人もいたのですが、差があまりに大きすぎます。
	ペット同伴	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペット専用の温泉があり、お部屋でペットと一緒に食事が出来る温泉が日本は少ないので是非作って欲しいです。 ・もっと犬連れで入れる宿、レストラン、遊び場が増えて欲しいです。
	料金	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊料金が平日と休前日の差がだいぶあるので、その差を少し縮めてもらえるとうれしいです。勤めているので土日くらいしかお休みが取れないので、平日料金並になると回数も多くいけると思いますのでよろしく願います。 ・土、日とサービスを決め、代金をかえない方が良く思います。
	施設	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温水プールがあると嬉しい。(子供がいるので) ・日頃の疲れが取れるようなマッサージやエステの充実をして欲しい。

áCèWávÉfÁ[É^

Á†āLì,é“ÇÃēÆê’

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	ij	èó	isñæ
Äi	100.0	41.8	54.5	3.6
Çé	165	69	90	6

Á†āLì,é“ÇÃêEä²

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	âÔé-âÐ â^ñ±âÐ	é©âcâ²	äwêŽ	éÄiw
Äi	100.0	32.1	15.2	3.6	23.0
Çé	165	53	25	6	38

ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉpÄ[Ég ÉAÉäÉoÉCÉg	ë¼êEé“	ÇªÇÃê°	isñæ
Äi	7.9	5.5	5.5	7.3
Çé	13	9	9	12

Á†āLì,é“ÇÃäSì{éİálléÚÇ÷ÇÃóllçsâoâ±

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	Ç†ÇÈ	Ç»Çé
Äi	100.0	86.1	13.9
Çé	165	142	23

Á†āLì,é“ÇÃîNóÓç\ê”

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	20ë,,	30ë,,	40ë,,	50ë,,
Äi	100.0	10.3	15.2	21.8	16.4
Çé	165	17	25	36	27

ÉJÉeÉSÉäÄ[60ë,,	70ë,,à»è,,	isñæ
Äi	20.0	14.5	1.8
Çé	33	24	3

Á†ólçsÇÃñ'iI

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	â²ëllÇ,êeê Ç²ÇÃólçs	óFêlÇ²ÇÃólçs	áíélól	ícëÃólçs
Äi	100.0	66.2	50.7	5.6	44.4
Çé	142	94	72	8	63

ÉJÉeÉSÉäÄ	ÇªÇÃëº	isñæ
Äi	4.2	0.0
Çé	6	0

Á†ãSi{éIälléÚÇ÷ÇÃçfñKà''ã,

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	çsÇ'ÇžÇé	çsÇ'ÇžÇ'Ç»	isñæ
Äi	100.0	82.4	4.8	12.7
Çé	165	136	8	21

Á†ãSi{éIälléÚÇ-ó«Ç©Ç;ÇžÇ±Ç²ÄirºéiãÒiöÄj

ÉJÉeÉSÉäÄ	ëSëÃ	é©èRÇ™ñLÇ© iöãĐñæðZ	äceãDé{è>Ç™ ã½ÇºÇ...Ç†ÇÈ	óLñºÇ»äceãĐin Ç™é,í'Ç...Ç†Ç	ÉeÄ[É]ÉpÄ[ÉN Ç™é,í'Ç...Ç†Ç
Äi	100.0	69.9	35.3	60.3	24.3
Çé	136	95	48	82	33

ÉJÉeÉSÉäÄ	älléÚÇÃéøÇ™ ÇÊÇé	Ç®iöòCCÃè>iĐ Ç™ÇÊÇé	ÉzÉeÉäÇ,óllaŸ ÇÃèHéñÇ™ÇÊÇé	ÉzÉeÉäÇ,óllaŸ Ç™óBih	Çe ŸÇ,óllaŸÇÃ ªll¼žÇ™çsÇ' iÖÇéÇfÇéÇÈ
Äi	47.8	27.9	20.6	13.2	17.6
Çé	65	38	28	18	24

ÉJÉeÉSÉäÄ	ÇªÇÃëº	isñæ
Äi	25.0	0.0
Çé	34	0

Á†āSi{ēīāllēÚÇ...çsÇ'ÇzÇ°Ç»ÇçóùóRĀir°ēīāÒiōĀj

ÉJÉeÉSÉäĀ[ēSēĀ	āllēÚinÇĀ iōēÓÇ...āāÇØÇ	āSi{ēīÇĀāŌāŸÇ, é,r'ÇĀéRÇ¾ i‡ÇØÇ»Çç	ñ°ēāÇ,āāē'Ç™ āXÇĀiŪÇ...Ç»Ç	é,r'ÇĀācāDīniō Ç...ñfóŌÇ™Ç»
Āi	100.0	50.0	25.0	25.0	12.5
Çé	8	4	2	2	1

ÉJÉeÉSÉäĀ[iiÇ½ÇÆĒÇ™ Ç-Ç'Ç»Çç	āllēÚÇĀéøÇ™ isñûé'	Ç@iōóCÇĀ êiĐÇ™isñûé'	ÉzÉeÉāÇ,óllāYÇĀ óøóùÇ™isñûé'	ÉzÉeÉāÇ,óllāYÇĀ é{ê>Ç,êiĐÇ™ isñûé'
Āi	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0
Çé	1	0	0	3	2

ÉJÉeÉSÉäĀ[ÉzÉeÉāÇ,óllāYÇĀ ÉTĀ[ÉrÉXÇ™ isñûé'	ÇªÇĀē°	isñæ
Āi	37.5	37.5	12.5
Çé	3	3	1

Á†āSi{ēīāllēÚÇ...çsÇjÇzÇ±C²Ç™Ç»ÇçóùóRĀir°ēīāÒiōĀj

ÉJÉeÉSÉäĀ[ēSēĀ	ó«ÇçÉCÉĀĀ[ÉW èùÇjÇfççÇ»Çç	ÉzÉeÉāÇ,óllāYÇ. ñfóŌÇ™Ç»Çç	ÉzÉeÉāÇ,óllāYÇĀ óøā‡Ç™ÇÇÇç	ācāDīnÇ,āièüin Ç...ñfóŌÇ™Ç»
Āi	100.0	0.0	8.7	0.0	8.7
Çé	23	0	2	0	2

ÉJÉeÉSÉäĀ[āllēÚÇ...çsÇ'ÇzÇ Ç²ÇŌévÇiÇ»Çç	ólçsÇlÇÈ Ç%oC²ÇÈÇ™Ç»	ólçsÇ... āªñ°Ç™Ç»Çç	ijÇ...óùóRÇŌÇ»Çç	ÇªÇĀē°
Āi	0.0	21.7	8.7	43.5	26.1
Çé	0	5	2	10	6

Á†Ç‡Ç§àlixççÇ'ÇžÇçÇ²évÇ§àlléÚÁiÇRC-Ç<Ç-Áj

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	älléÚäXÇÁÇμÇç iòèÓÇ™Ç†ÇÈ	îÉÇçî@Ç, à×êH Ç™âyÇμÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇìÇíÇfÇçÇÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
Ái	100.0	76.4	25.5	6.1	26.7
Çé	165	126	42	10	44

ÉJÉeÉSÉäÄ[älléÚó ó{Ç™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÁXÇ»iòðCÇ™ âyÇμÇ½ÇÈ	älléÚíé¶iòÇ™ ÇμÇ†Ç©ÇÈÇμÇ ÇçÇÈ	êHéñÇ, i™ØŠ/	ëffèÇ<ÇÈÇ>Ç« àzÇ°ièÇ,ÇíÇÈ èhÇ™Ç†ÇÈ
Ái	7.3	26.1	40.6	43.0	15.2
Çé	12	43	67	71	25

ÉJÉeÉSÉäÄ[ÇªÇÃë°	isñæ
Ái	11.5	2.4
Çé	19	4

Á†älléÚinÇ-óóópÁEëÃä±ÇμÇfÇ>ÇžÇçÉTÁ[ÉrÉXÁEé{è}Áir°éiäÒiöÁj

ÉJÉeÉSÉäÄ[ëSëÃ	ii°ÉÁÉjÉÖÁ[ÇÄiÖäü	älléÚó ó{ ÉvÉçÉÓÉäÉÄ	É}ÉbÉTÁ[ÉWÇ éwäll	ÉGÉXÉeÇ>Ç<Ç ÉTÁ[ÉrÉX
Ái	100.0	46.1	26.1	44.2	38.2
Çé	165	76	43	73	63

ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉAÄ[ÉÚÉäÉxÄ[ÇÃëÃä±ÁEéwi±	ÉaÉKÇ, ëæä... äüç ëÃä±ÁEéwi±	âyÇçá^iÆÇÃ ëÃä±ÁEéwi±	ÉAÉçÉ}ÉeÉäÉsÄ ÇÃëÃä±ÁEéwi±	äšäyó ñ@ÇÃ ëÃä±ÁEéwi±
Ái	9.7	16.4	13.3	24.2	22.4
Çé	16	27	22	40	37

ÉJÉeÉSÉäÄ[iÆi@ó ñ@ÇÃ ëÃä±ÁEéwi±	âiçNiIÇ»èHéñÇÃ iÖäüÁEéwi±	ÉXÉgÉäÉXâ³è;Ç ÉZÉ~ÉiÄ[iô	ä½çxÇÃéRÇ, éXÇ ÉKÉCÉhÉcÉÄÄ	ßŠ,Ž¼Ý Ç-ÇÃ äÃä Ç, î ä²ëÃä±
Ái	13.3	30.9	21.2	45.5	17.6
Çé	22	51	35	75	29

ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉJÉaÉ'ÉÉÄ[ÉXÉNÄ[Éä	ÇªÇÃë°	isñæ
Ái	23.6	11.5	3.6
Çé	39	19	6

À°ijèoi ÇÃèWávaãâ

À†óllçsÇÃñ'ii

	ÉJÉeÉSÉäÄ[â°ellÇ,êeê Ç°ÇÃóllçs	óFêiÇ°ÇÃóllçs	áíêiól	ícëÃóllçs
ij	Äi	56.4	47.3	10.9	47.3
ÇéÄÄ55	Çé	31	26	6	26
èó	Äi	73.2	52.4	2.4	41.5
ÇéÄÄ82	Çé	60	43	2	34

	ÉJÉeÉSÉäÄ[Ç°ÇÃè°	isñæ
ij	Äi	7.3	0.0
ÇéÄÄ55	Çé	4	0
èó	Äi	2.4	0.0
ÇéÄÄ82	Çé	2	0

À†çsÇ;ÇfÇ>ÇžÇçällèÜÄiÇRC-Ç<Ç-Äj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ällèÜaXCÁÇµÇç iòèóÇ™Ç†ÇÈ	iÉÇçr®Ç,â×êH Ç™âyÇµÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇiÇiÇfÇçÈÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
ij	Äi	72.5	27.5	5.8	34.8
ÇéÄÄ55	Çé	40	15	3	19
èó	Äi	80.0	24.4	6.7	22.2
ÇéÄÄ82	Çé	66	20	5	18

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ällèÜó ó{Ç™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÄXÇ»iòòCÇ™ âyÇµÇ½ÇÈ	ällèÜrè¶iòÇ™ ÇµÇ;Ç©ÇÈÇµÇ ÇçÈÈ	êHèñÇ, i™Ølš,/ ≠lféüä'Ç¼ èiÇ³ÇÈ
ij	Äi	5.8	24.6	31.9	47.8
ÇéÄÄ55	Çé	3	14	18	26
èó	Äi	8.9	27.8	47.8	41.1
ÇéÄÄ82	Çé	7	23	39	34

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ëffèÇ<ÇÈÇ>Ç« àzÇ°rèÇ<ÇiÇÈ èhÇ™Ç†ÇÈ	Ç°ÇÃè°	isñæ
ij	Äi	17.4	11.6	2.9
ÇéÄÄ55	Çé	10	6	2
èó	Äi	13.3	10.0	2.2
ÇéÄÄ82	Çé	11	8	2

Á†āSi{ēīāllēÚÇ-ó«Ç©Ç;ÇZÇ±Ç²Áir°ēiāÒiōÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[é©èRÇ™ñLÇ© iōāĐñæðZ	äceâDé{ê}Ç™ ā½Ç°Ç...Ç†ÇÈ	óLñ°Ç»äceâĐin Ç™é,í”Ç...Ç†Ç	ÉeÄ[É}ÉpÄ[ÉN Ç™é,í”Ç...Ç†Ç
ij	Äi	64.8	37.0	55.6	27.8
ÇéÄÄ55	Çé	36	20	31	15
èó	Äi	74.0	35.1	62.3	22.1
ÇéÄÄ82	Çé	61	29	51	18

	ÉJÉeÉSÉäÄ[älléÚÇÄéoÇ™ ÇÈÇé	Ç®iòòCÇÄê»iĐ Ç™ÇÈÇé	ÉzÉeÉäÇ,ólläY ÇÄêHéñÇ™ÇÈÇ	ÉzÉeÉäÇ,ólläY Ç™óßih
ij	Äi	44.4	27.8	13.0	13.0
ÇéÄÄ55	Çé	24	15	7	7
èó	Äi	50.6	29.9	27.3	14.3
ÇéÄÄ82	Çé	42	24	22	12

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÄ ÉTA[ÉrÉXÇ™ çsÇ”iÖÇéÇfÇéÇi	ÇªÇÄè°	isñæ
ij	Äi	18.5	25.9	0.0
ÇéÄÄ55	Çé	10	14	0
èó	Äi	18.2	23.4	0.0
ÇéÄÄ82	Çé	15	19	0

À†allèÚinÇ-óòópÀEëÃâ±ÇµÇfÇ>ÇzÇçÉTÀ[ÉrÉXÀEé{è}Àir°èiãÒiöÀj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ii°ÉÄÉjÉÖÄ[ÇÄiÒäü	allèÚó ó{ ÉvÉçÉOÉäÉÄ	É}ÉbÉTÀ[ÉWÇ éwall	ÉGÉXÉeÇ>Ç«Ç ÉTÀ[ÉrÉX
ij	Äi	37.7	23.2	47.8	17.4
ÇéÄÄ55	Çé	21	13	26	10
èó	Äi	51.1	28.9	42.2	54.4
ÇéÄÄ82	Çé	42	24	35	45

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉAA[ÉÜÉäÉxÄ[ÇÄëÄâ±ÄEéwi±	ÉàÉKÇ,ëæä...äüÇ ëÄâ±ÄEéwi±	âyÇçâ^iÆÇÄ ëÄâ±ÄEéwi±	ÉAÉçÉ}ÉeÉäÉsÄ ÇÄëÄâ±ÄEéwi±
ij	Äi	8.7	15.9	10.1	13.0
ÇéÄÄ55	Çé	5	9	6	7
èó	Äi	11.1	17.8	15.6	33.3
ÇéÄÄ82	Çé	9	15	13	27

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ášäyó ñ@ÇÄ ëÄâ±ÄEéwi±	iÆi®ó ñ@ÇÄ ëÄâ±ÄEéwi±	áiçNiIÇ>èHénÇÄ íÖäüÄEéwi±	ÉXÉgÉäÉXä³⁄è Ç ÉZÉ~ÉiÄ[iö
ij	Äi	21.7	8.7	34.8	20.3
ÇéÄÄ55	Çé	12	5	19	11
èó	Äi	24.4	17.8	26.7	22.2
ÇéÄÄ82	Çé	20	15	22	18

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ã½çxÇÄèRÇ,èXÇ ÉKÉCÉhÉcÉÄÄ ääÄ Ç,i ä²ëÄâ±	ÞŠ>Ž¼Ÿ Ç-ÇÄ ääÄ Ç,i ä²ëÄâ±	ÉJÉäÉ`ÉÉÄ[ÉXÉNÄ[Éä	ÇªÇÄè°
ij	Äi	50.7	14.5	15.9	11.6
ÇéÄÄ55	Çé	28	8	9	6
èó	Äi	42.2	21.1	31.1	11.1
ÇéÄÄ82	Çé	35	17	26	9

	ÉJÉeÉSÉäÄ[isñæ
ij	Äi	7.2
ÇéÄÄ55	Çé	4
èó	Äi	1.1
ÇéÄÄ82	Çé	1

Á†îNë,,î ÇÃèWávããâ Ái20Á`30ë,,ÁA40Á`50ë,,ÁA60Á`70ë,,à»è,,Áj

Á†ãSi {éïálléÚÇ...çsÇ;Çžãoã±

	ÉJÉeÉSÉäÄ[Ç†ÇÈ	Ç»Çç	isñæ
20Á`30ë,,	Ái	73.8	26.2	0.0
ÇéÄÄ42	Çé	31	11	0
40Á`50ë,,	Ái	88.9	11.1	0.0
ÇéÄÄ63	Çé	56	7	0
60Á`70ë,,	Ái	91.2	8.8	0.0
ÇéÄÄ57	Çé	52	5	0

Á†óllçsÇÃñ`iI

	ÉJÉeÉSÉäÄ[â²èllÇ,êeê Ç²ÇÃóllçs	óFèlÇ²ÇÃóllçs	áíèlól	íçèÄóllçs
20Á`30ë,,	Ái	61.3	48.4	3.2	25.8
ÇéÄÄ42	Çé	26	20	1	11
40Á`50ë,,	Ái	75.0	42.9	1.8	37.5
ÇéÄÄ63	Çé	47	27	1	24
60Á`70ë,,	Ái	59.6	61.5	11.5	61.5
ÇéÄÄ57	Çé	34	35	7	35

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÇªÇÃè°	isñæ
20Á`30ë,,	Ái	3.2	0.0
ÇéÄÄ42	Çé	1	0
40Á`50ë,,	Ái	3.6	0.0
ÇéÄÄ63	Çé	2	0
60Á`70ë,,	Ái	5.8	0.0
ÇéÄÄ57	Çé	3	0

Á†ãSi {éïálléÚÇ÷ÇÃçfñKà”ã,

	ÉJÉeÉSÉäÄ[çsÇ`ÇžÇç	çsÇ ÇzÇ Ç»	isñæ
20Á`30ë,,	Ái	66.7	7.1	26.2
ÇéÄÄ42	Çé	28	3	11
40Á`50ë,,	Ái	88.9	0.0	11.1
ÇéÄÄ63	Çé	56	0	7
60Á`70ë,,	Ái	87.7	7.0	5.3
ÇéÄÄ57	Çé	50	4	3

Á†āSi{ēīāllēÚÇ-ó«Ç©Ç;ÇžÇ±Ç²Áir°ēīāÒiöÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[é©ēRÇ™ñLÇ©(i iōāĐñæðZ	äceâDé{ê>Ç™ ā½Ç°Ç...Ç†ÇĤ	óLñ°Ç»äceâĐin Ç™é,ī°Ç...Ç†Ç	ÉeÄ[É}ÉpÄ[ÉN Ç™é,ī°Ç...Ç†Ç
20Å`30ë,, ÇéÅÅ42	Äi Çé	64.3 27	46.4 20	50.0 21	25.0 11
40Å`50ë,, ÇéÅÅ63	Äi Çé	67.9 43	37.5 24	64.3 41	28.6 18
60Å`70ë,, ÇéÅÅ57	Äi Çé	78.0 44	28.0 16	62.0 35	20.0 11

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ällēÚÇÃéøÇ™ ÇÊÇç	Ç®iōòCÇÃê>îĐ Ç™ÇÊÇç	ÉzÉeÉäÇ,ólläY ÇÃêHēñÇ™ÇÊÇç	ÉzÉeÉäÇ,ólläY Ç™óßih
20Å`30ë,, ÇéÅÅ42	Äi Çé	50.0 21	28.6 12	28.6 12	10.7 5
40Å`50ë,, ÇéÅÅ63	Äi Çé	37.5 24	26.8 17	12.5 8	14.3 9
60Å`70ë,, ÇéÅÅ57	Äi Çé	60.0 34	30.0 17	26.0 15	14.0 8

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉzÉeÉäÇ,ólläYÇÃ ÉTÄ[ÉrÉXÇ™ çsÇ°iÖÇçÇfÇçÇi	ÇªÇÃê°	isñæ
20Å`30ë,, ÇéÅÅ42	Äi Çé	14.3 6	17.9 8	0.0 0
40Å`50ë,, ÇéÅÅ63	Äi Çé	12.5 8	21.4 14	0.0 0
60Å`70ë,, ÇéÅÅ57	Äi Çé	26.0 15	32.0 18	0.0 0

Á†çsÇ;ÇfÇ>ÇzÇçâlleÚÁiÇRC-Ç<Ç-Áj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[âlêÚäXÇÁÇμÇφ ïòèÓÇ™Ç†ÇÈ	îÉÇφi®Ç,à×êH Ç™âyÇμÇ½ÇÈ	Ç®ç'ÇÈÇ, ÉCÉxÉiÉgÇ™ çsÇiÇíÇfÇçÇÈ	iiÇ½ÇÆÇÈÇ™ Ç-Ç'ÇÈ
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Ái	71.4	38.1	9.5	28.6
	Çé	30	16	4	12
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Ái	76.2	17.5	6.3	33.3
	Çé	48	11	4	21
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Ái	78.9	26.3	3.5	17.5
	Çé	45	15	2	10

	ÉJÉeÉSÉäÄ[âlêÚó{Ç™ Ç-Ç'ÇÈ	êFÁXÇ»ïòðCÇ™ äyÇμÇ½ÇÈ	âlêÚiñé¶iòÇ™ ÇμÇiÇ©ÇÈÇμÇ ÇçÇÈ	êHénÇ,i™ØŠ)/ ±l f'éüä'Ç¾ èiÇ³ÇÈ
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Ái	4.8	28.6	31.0	40.5
	Çé	2	12	13	17
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Ái	9.5	27.0	41.3	47.6
	Çé	6	17	26	30
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Ái	7.0	22.8	47.4	42.1
	Çé	4	13	27	24

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ëfiëÇ<ÇÈÇ>Ç« àzÇ°ieÇ<ÇíÇÈ èhÇ™Ç†ÇÈ	ÇªÇÃë°	isñæ
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Ái	9.5	16.7	2.4
	Çé	4	7	1
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Ái	17.5	12.7	3.2
	Çé	11	8	2
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Ái	17.5	5.3	1.8
	Çé	10	3	1

À†allèÚinÇ-óóópÁEëÃâ±ÇμÇfÇ>ÇžÇçÉTÀ[ÉrÉXÁEé{ê}Ãir°êîâÖiöÁj

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ii°ÉÁÉjÉÖÄ[ÇÄiÖäü	alléÚó{ ÉvÉçÉÖÉäÉÄ	É}ÉbÉTÄ[ÉWÇ éwall	ÉGÉXÉeÇ>Ç«Ç ÉTÄ[ÉrÉX
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Äi	40.5	21.4	61.9	50.0
	Çé	17	9	26	21
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Äi	42.9	20.6	36.5	42.9
	Çé	27	13	23	27
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Äi	56.1	36.8	42.1	26.3
	Çé	32	21	24	15

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ÉAA[ÉÜÉäÉxÄ[ÇÄëÄâ±ÁEéwi±	ÉäÉKÇ,ëæä...äüÇ ëÄâ±ÁEéwi±	äyÇçâ^iÆÇÄ ëÄâ±ÁEéwi±	ÉAÉçÉ}ÉeÉäEsÄ ÇÄëÄâ±ÁEéwi±
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Äi	9.5	21.4	11.9	38.1
	Çé	4	9	5	16
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Äi	14.3	14.3	3.2	22.2
	Çé	9	9	2	14
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Äi	5.3	15.8	26.3	15.8
	Çé	3	9	15	9

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ášäyó ñ@ÇÄ ëÄâ±ÁEéwi±	iÆi®ó ñ@ÇÄ ëÄâ±ÁEéwi±	äiçNiIÇ>èHèñÇÄ íÖäüÁEéwi±	ÉXÉgÉäÉXä¼è Ç ÉZÉ~ÉiÄ iö
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Äi	33.3	19.0	26.2	26.2
	Çé	14	8	11	11
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Äi	17.5	11.1	27.0	17.5
	Çé	11	7	17	11
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Äi	21.1	12.3	38.6	22.8
	Çé	12	7	22	13

	ÉJÉeÉSÉäÄ[ä½çxÇÄéRÇ,èXÇ ÉKÉCÉhÉcÉÄÄ äÄâ Ç,i ä²ëÄâ±	ÞŠ>Ž¼ÿ Ç-ÇÄ äÄâ Ç,i ä²ëÄâ±	ÉJÉaÉ'ÉÉÄ[ÉXÉNÄ[Éä	ÇªÇÄë°
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Äi	31.0	19.0	33.3	9.5
	Çé	13	8	14	4
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Äi	52.4	17.5	22.2	14.3
	Çé	33	11	14	9
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Äi	47.4	17.5	19.3	8.8
	Çé	27	10	11	5

	ÉJÉeÉSÉäÄ[isñæ
20Á`30ë,, ÇéÄÄ42	Äi	2.4
	Çé	1
40Á`50ë,, ÇéÄÄ63	Äi	3.2
	Çé	2
60Á`70ë,, ÇéÄÄ57	Äi	3.5
	Çé	2

(4) 地元アンケート（鬼怒川温泉ホテル・旅館経営者アンケート調査）

①概要

□アンケート調査の目的

- ・鬼怒川温泉に立地しているホテル・旅館の経営者（代表権を有する人）を対象に、今後の観光地としてのあり方や、ホテル・旅館の経営などについての意見を聴取する。

□調査期間

- ・平成17年1月28日（金）～2月6日（日）の8日間

□調査対象者

- ・鬼怒川温泉旅館組合加盟のホテル・旅館経営者

□配布数・回収数

- ・配布数：42通
- ・回収数：19通（回収率45.2%）

□調査方法

- ・町及び旅館組合で各ホテル・旅館に配布
- ・郵送にて回収

②アンケート用紙

「ホテル・旅館経営者アンケート」へのご協力をお願い

鬼怒川温泉は、豊かな自然に恵まれた歴史ある温泉地として、首都圏をはじめとする全国のお客さまに愛され、発展を続けてきましたが、近年の景気低迷の影響で平成5年をピークに年々お客さまが減少するなど、現在、様々な問題を抱えています。

このような状況を踏まえて、藤原町では、地域全体で鬼怒川温泉の振興を図る必要があると考え、【藤原町地域再生計画】を策定し、平成16年6月21日に、国の【地域再生認定制度】の認定を受けました。そして現在、国や栃木県の支援を受けて、地域再生のための様々な取り組みや調査を行っています。

この「ホテル・旅館経営者アンケート」は、お客さまをお迎えする現場の生の声を集めて、地域再生の基礎資料とするためのものです。お忙しいところ誠に恐縮ですが、鬼怒川温泉がこれからも全国有数の温泉地として発展できるよう、ご協力をお願いいたします。

ご回答いただいたアンケート用紙は、2月4日（金）までに、同封の返信用封筒で【藤原町 地域再生推進室】までお送りください。

どうぞよろしく願いいたします。

平成17年1月吉日

藤原町長 八木澤昭雄

まず、あなたが経営しているホテル・旅館について教えてください。

問1	創業年次 年（創業 年） 室 数 室（宿泊定員 人） 従業員数 人（うち社員 人、パート 人）
問2	あなたのホテル・旅館に宿泊するお客様は、団体客と個人客のどちらが多いですか。 1 ほとんどが団体客 2 団体客の方がやや多い 3 団体客と個人客が半分ずつぐらい 4 個人客の方がやや多い 5 ほとんどが個人客
問3	今後は団体客と個人客、どちらの誘致に力を入れていきたいですか。 1 団体客 2 どちらかといえば団体客 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば個人客 5 個人客
問4	10年前に比べて、あなたのホテル・旅館の経営状態に変化はありましたか。 1 よくなった 2 悪くなった 3 あまり変わらない
問5	今後5年間の間に、新たな施設整備や改修などの新規投資の予定はありますか。 1 ある 2 ない

つぎに、鬼怒川温泉について伺います。

問6	鬼怒川温泉の強みは何だと思いますか。以下から <u>3つ</u> まで選んでください。 1 鬼怒川や山並みなど、自然が豊かで風光明媚 2 ライン下りやロープウェイなど、観光スポットが近くにある 3 日光東照宮や竜王峡など、有名な観光地が周辺にある 4 日光江戸村や東武ワールドスクウェアなど、テーマパークが周辺にある 5 東京（首都圏）からの交通の便がよい 6 立派なホテルや旅館がたくさん立地している 7 ホテルや旅館の中に色々な楽しみ（温泉、飲食、宴会、買い物など）がある 8 「鬼怒川温泉」という名前が全国的に知られている 9 その他（具体的に)
----	--

問7	<p>鬼怒川温泉の弱みは何だと思えますか。以下から5つまで選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 周辺の観光地やテーマパークの魅力が低下している 2 温泉の湯量が少ない（かけ流しが出来ない） 3 外湯がない 4 「湯めぐり」ができない 5 温泉地の風情に欠ける（湯けむりや土産物屋など） 6 全国的に有名な祭りやイベントがない 7 街に魅力的な商業施設（飲食、物販、娯楽）がない 8 街に空き店舗や閉鎖施設が目立つ 9 温泉街に観光の目玉となるような名所や施設がない 10 文化施設やコンベンション（会議）施設がない 11 鬼怒川の河原や周辺の山を歩けない 12 お客様も利用できる公園や遊歩道、スポーツ施設などが無い 13 歩道が狭い、公共駐車場がないなど、都市基盤の整備が遅れている 14 その他（具体的に
問8	<p>問7のような問題点を改善するために、あなたのホテル・旅館ではどのような工夫をしていますか。具体的に書いてください。</p>
問9	<p>鬼怒川温泉のホテルや旅館は「個人客のニーズに対応し切れていない」という指摘がありますが、対応が進まない原因はなんだと思えますか。具体的に書いてください。</p>
最後に、今後の観光のありかたについて伺います。	
問10	<p>藤原町では平成22年度を目標年次とする「地域再生計画」を立案し、その中で「広域連携観光の推進」を目指しています。今後、鬼怒川温泉が連携を図るべき観光拠点はどこだと思えますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日光地域 2 那須塩原地域 3 その他の栃木県地域 4 会津地域 5 東京 6 東アジア（韓国、中国など） 7 その他（具体的に

次のページにも質問があります。

問 11	<p>藤原町は「地域再生計画」の中で、温泉観光の新たな方向性として「福祉観光」「ヒーリング（癒し）観光」を位置づけ、様々なお客様の心と体の健康づくりに貢献できる温泉地の形成を目指しています。</p> <p>これを実現するためには、入湯客への温泉療養メニューや介護サービスの提供、軽い運動やアロマセラピーの指導、バランスのとれた健康食の提供など、ホテルや旅館における対応が不可欠と考えられますが、あなたのホテル・旅館では、このような事業に協力したいと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 積極的に協力したい 2 協力する方向で考えたい 3 協力することは難しい 4 事業の具体的な内容がよくわからないので判断できない
問 12	<p>問 11 で 3（協力することは難しい）とお答えになった方に伺います。今後、どのような施策が図られれば「福祉観光」や「ヒーリング（癒し）観光」に協力できますか。当てはまるものにすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 必要なサービスを実施するための事業費や経費の補助 2 医師や保健士など専門家のサポートやボランティアの協力 3 上記のような施策が図られても、協力することは難しい 4 その他（具体的に
問 13	<p>今後、鬼怒川温泉がにぎわいを取り戻すためには、どんな工夫をする必要があると思いますか。あなたの考えを自由に書いてください。</p>

アンケートは以上です。どうもありがとうございました。

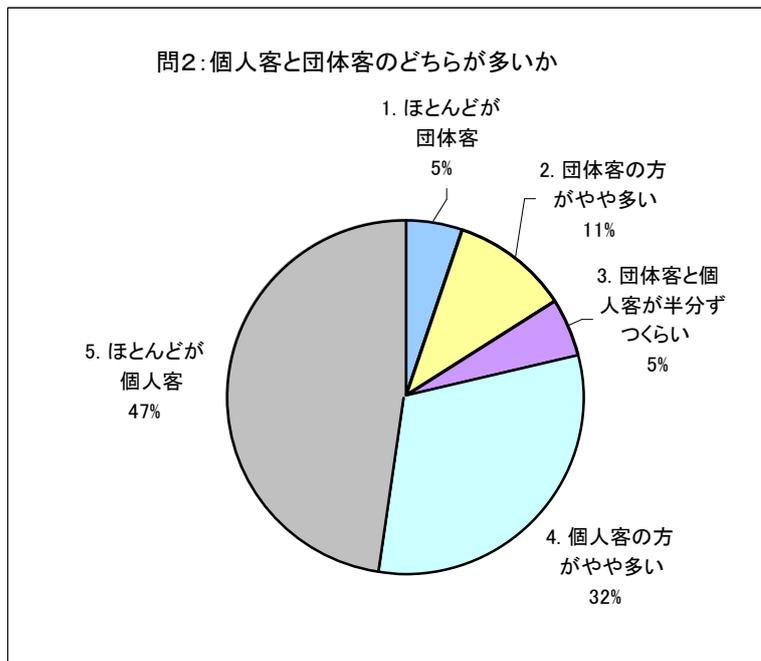
同封の返信用封筒で「藤原町地域再生推進室」まで、ご返送下さい。

③集計結果

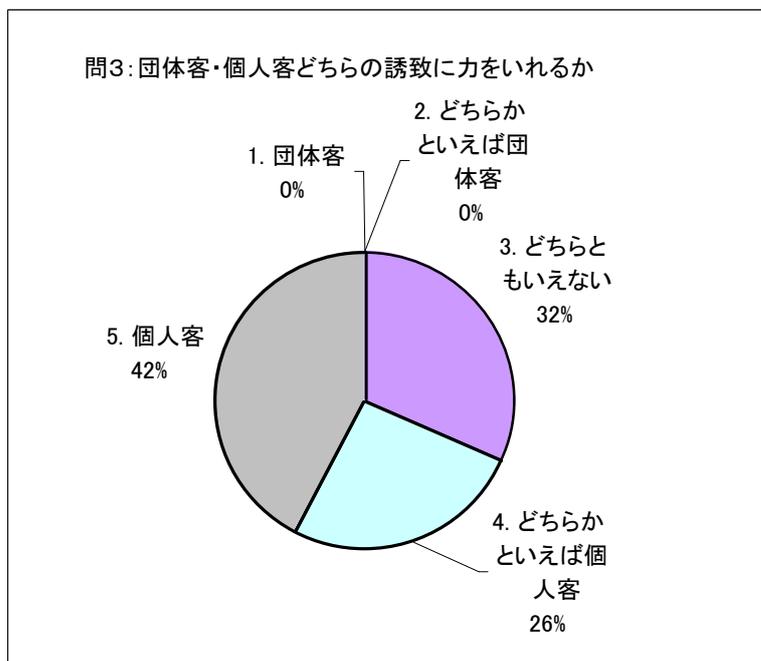
問1：ホテル・旅館の特徴について（創業年次、室数、従業員数）

※企業経営上の設問であるため回答は非公表

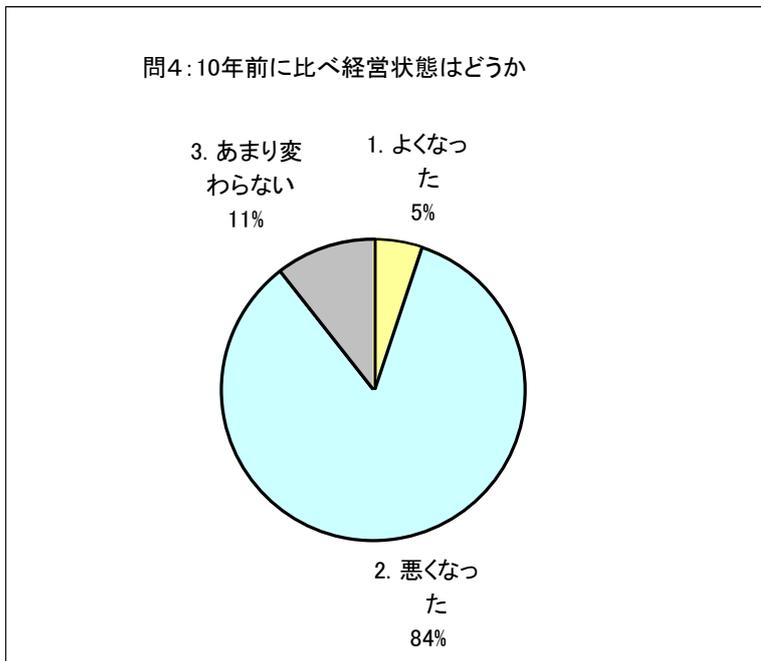
問2：個人客と団体客のどちらが多いか



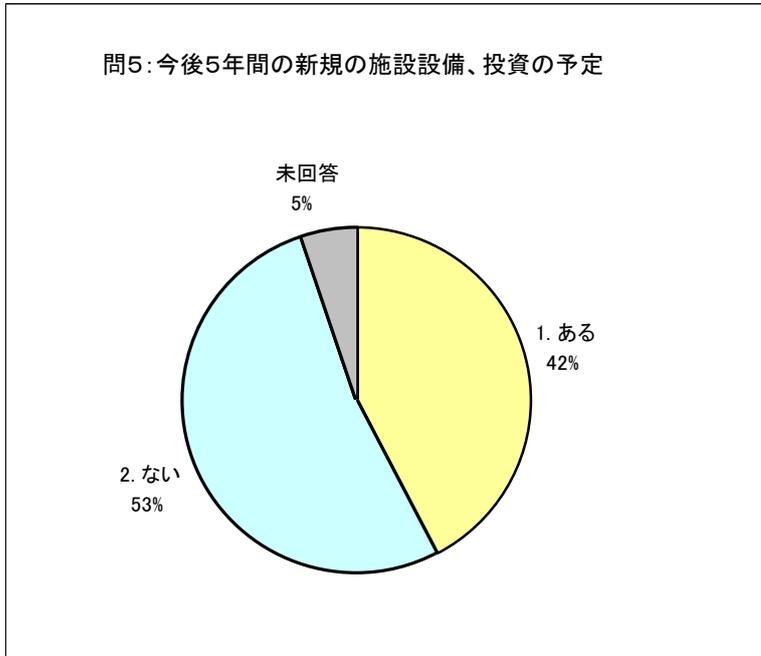
問3：団体客・個人客どちらの誘致に力をいれるか



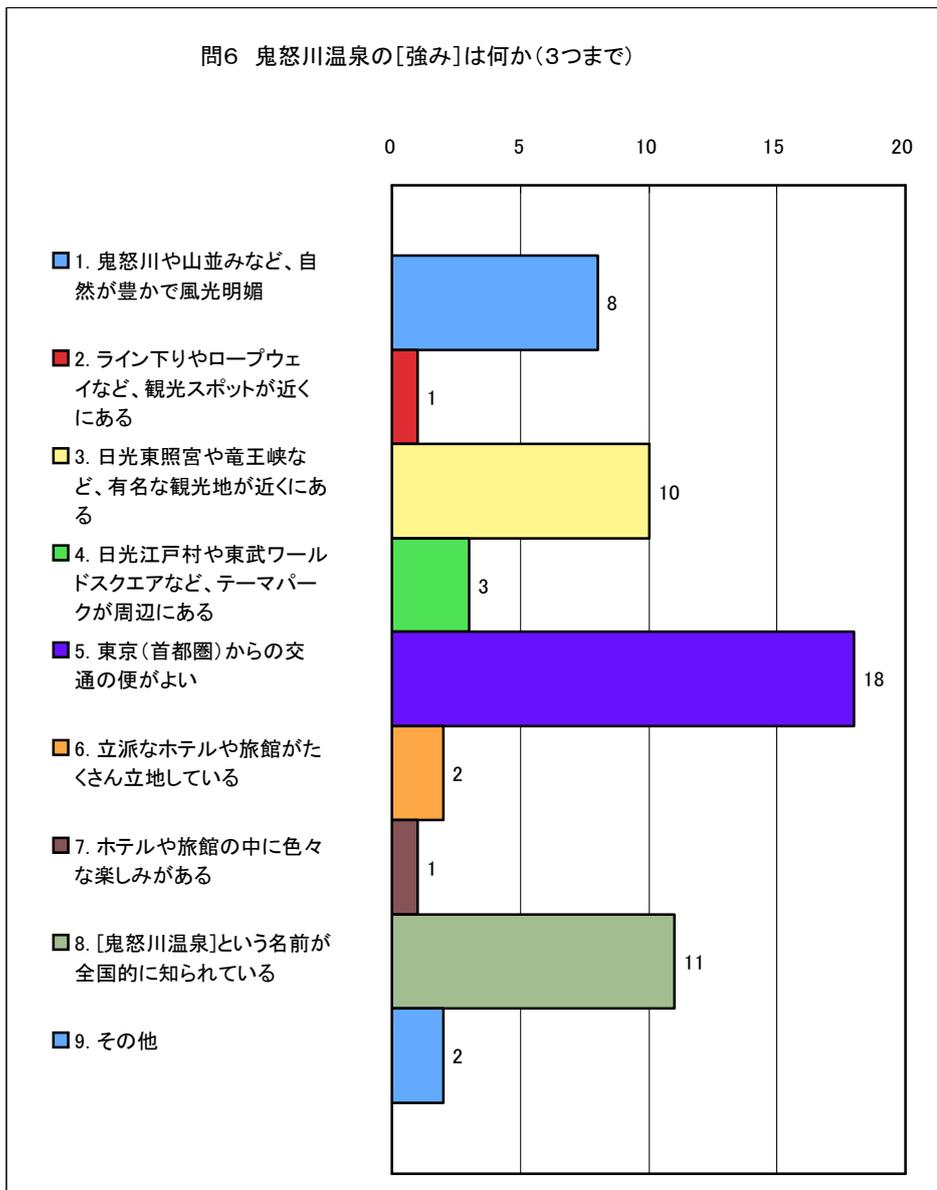
問4：10年前に比べ経営状態はどうか



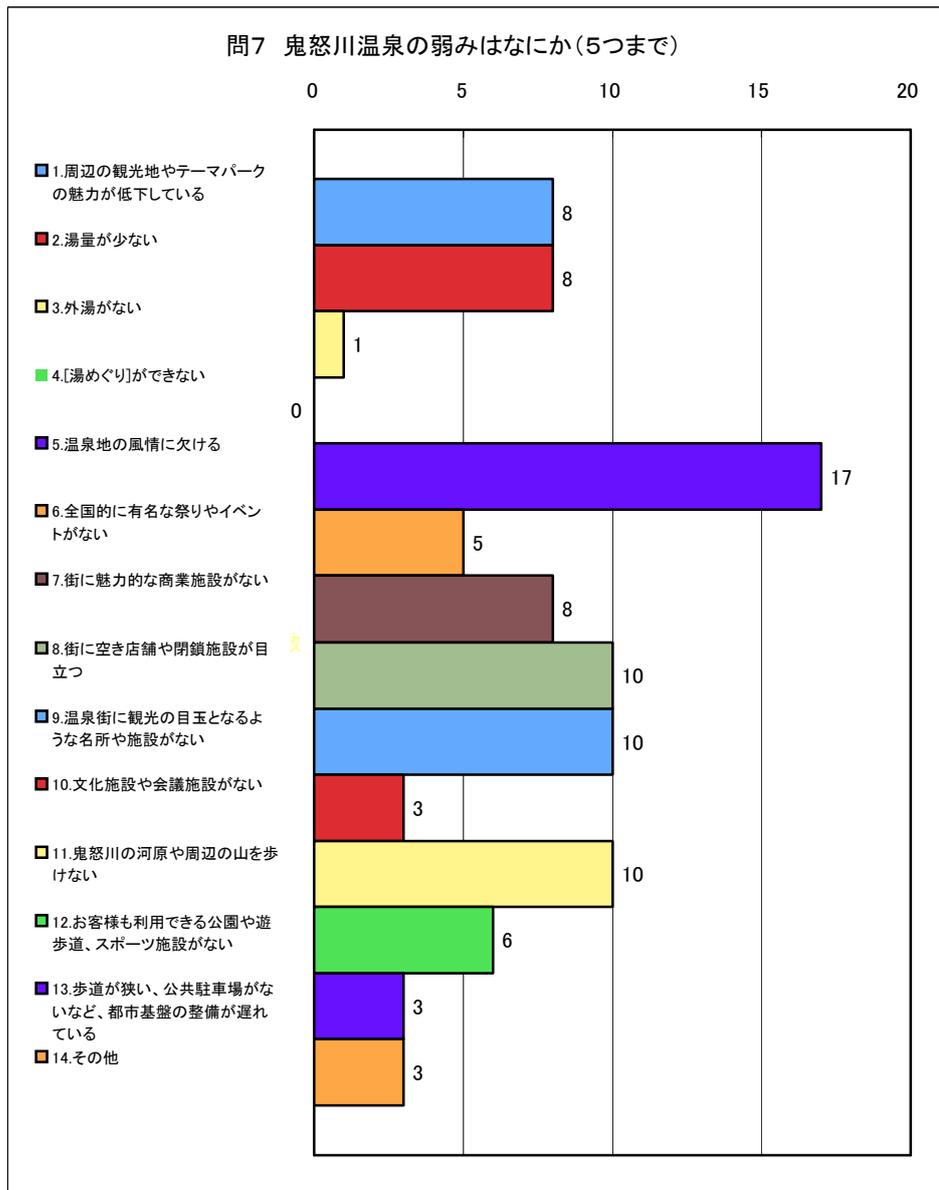
問5：今後5年間の新規の施設設備、投資の予定



問6：鬼怒川温泉の〔強み〕は何か（3つまで）



問7：鬼怒川温泉の弱みはなにか（5つまで）



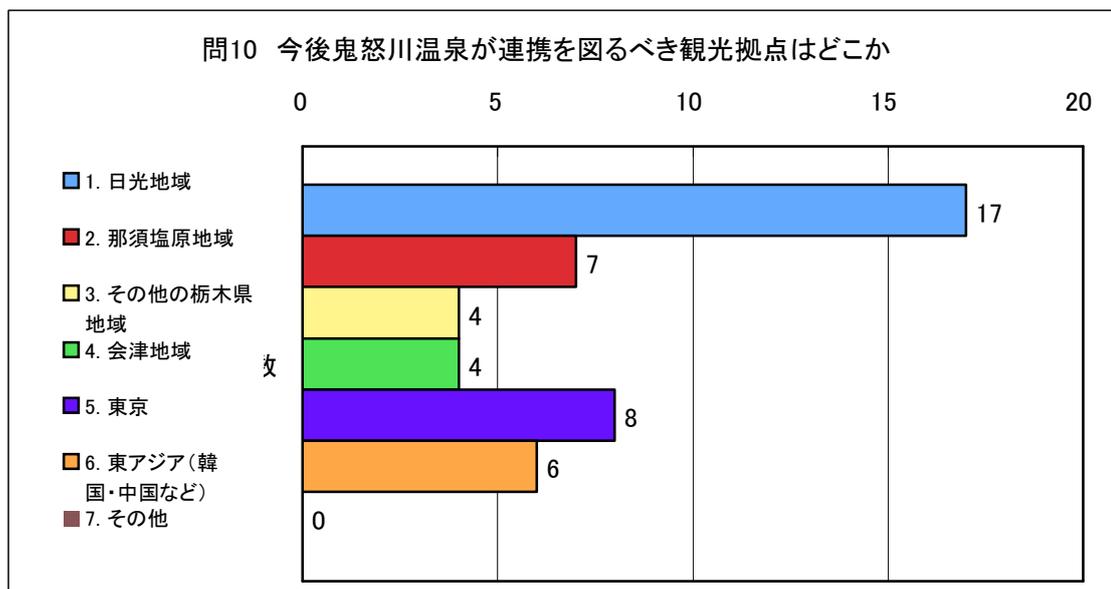
問8：鬼怒川温泉の問題点改善のために独自に行っている工夫は何か

※フリーアンサー（後述）

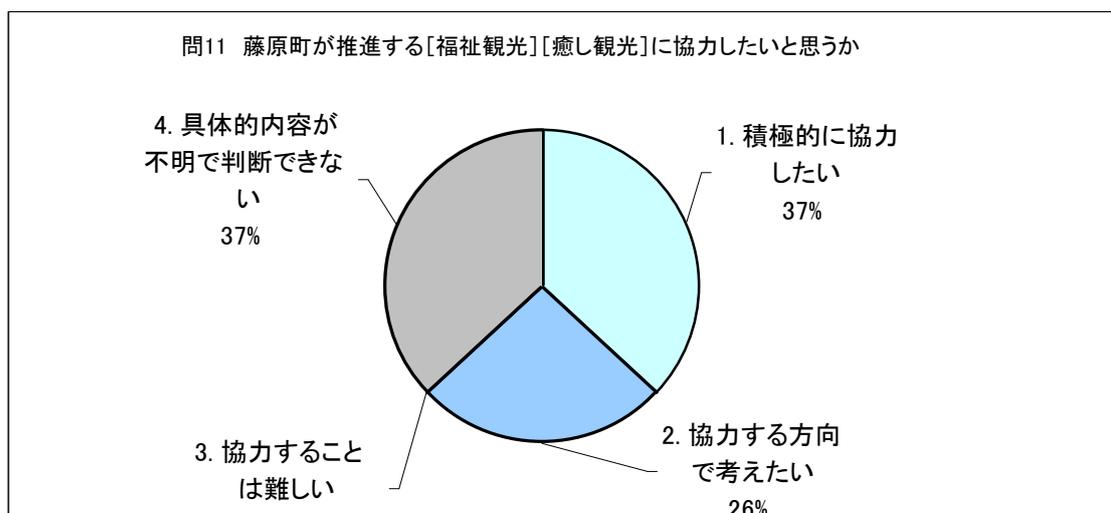
問9：鬼怒川温泉のホテルや旅館が、個人客のニーズへの対応が進まない原因は何だと思うか

※フリーアンサー（後述）

問 10：今後鬼怒川温泉が連携を図るべき観光拠点はどこか



問 11：藤原町が推進する〔福祉観光〕〔癒し観光〕に協力したいと思うか



問 12：（問 11 で「協力することは難しい」と答えた回答者へ）どのような施策が図られれば〔福祉観光〕や〔ヒーリング（癒し）観光〕に協力できるか。

※「協力することは難しい」の回答数がゼロのため省略

問 13：今後、鬼怒川温泉がにぎわいを取り戻すためにはどんな工夫をする必要があると思うか

※フリーアンサー（後述）

■□問8、問9、問13のフリーアンサーの整理

	問2	問8	問9	問13
No	団体客と個人客どちらが多いか	鬼怒川温泉の問題点改善のために独自に行っている工夫は何か	鬼怒川温泉のホテルや旅館が、個人客のニーズへの対応が進まない原因は何だと思うか	今後、鬼怒川温泉がにぎわいを取り戻すためにはどんな工夫をする必要があると思うか
1	5 ほとんどが個人客	街に食事処、美術館をつくっている。レトロバスを運行している。	団体客優先の考え方から脱却していない。	廃墟の物件を町で売却するようにお願いしたい。
2	3 団体客と個人客が半分ずつぐらい	隠れた名所などを教えている。ホテル内でイベントなどを行っている。	人件費の削減と部屋数が多いすぎる。社員教育。	個々のホテルが特徴を出して営業していく。
3	2 団体客の方がやや多い			
4	4 個人客の方がやや多い	各旅館、道路には林や花が申し訳程度しかない為、玄関口、旅館に沿った道沿いに木や花を植えて、空間を少なくして通行する方に目の保養をしている。町を歩く方に温泉街に行きたいという印象を持ってもらえるよう、貸切露天風呂を設置しPRに努めている。	部屋が団体客用に造られている為、一間の部屋が多く、お客様の希望に添えない。減量経営で従業員数を減らしており、一歩突っ込んだコミュニケーションがはかされていない。社員教育の不徹底で従業員に対する教育が行き届かず満足する対話がとれていない。	・閉鎖施設の多目的利用。足湯、地元の県産物の販売等を早期に実施し、空間と壁をなくすようにする。 ・大事業で長期に亘るとは思いますが近隣の山を一つ選び、春は桜、秋は紅葉を楽しめるような計画をたてて推進していただきたい。それに伴って道路沿いにも従来以上に力を入れて植樹してもらいたい。
5	5 ほとんどが個人客	大浴場の改装工事を実施	個人客比率の目標を立てて、その部屋数分空けておく。(団体・エージェントでは埋めない)そして個人客リストを作りリピータをDMで直接集客しファンを増やす努力を続ける。	1. つぶれた鬼怒川沿いの温泉旅館を源泉ごと町or県が買い取り、湯けむりの上がる源泉公園として整備！公営民営の温泉施設や、周辺の遊歩道とともに鬼怒川エリアの“湯の街”としての「へり」を造る。(水明館の敷地+くろがね橋を整備) 2. 駅前のホールをリニューアルし、毎日営業&収容出来る物産館的な“広場”(プラザ)“市場”のような商業施設にする。地域の民芸・大道芸・太鼓等のイベントを毎週末には実施し、“活気”のへりを。店は地元の“こだわりの一品”を作っている生産者グループ等に安くテナントとして入れる等、どこにもある土産屋だらけにしない工夫が必要！！ 3. まず駅からくろがね橋まで歩きたくなる整備を。1+2で2つの極が出来ます。 4. 癒しの街づくりには“美しい水”の出る街(里)のイメージが不可欠。

				ヨーロッパには水+クアの保養リゾートが多くあります。鬼怒周辺で尚仁沢に負けない“美しく体に良い水”の水源を確保
6	1 ほとんどが団体客	鬼怒川温泉の弱みを強みに変えるのは、ホテル・旅館の経営者並びに観光関連施設のかたがたと町政当局が一体となって将来へのグランド・デザインを考え弱みを強みに変えてゆくことが大切です。10年～20年後を見据える事が大切です。	ホテル・旅館の個性化は進んでおり、更に特化してゆく事と思いますし、広域合併が進めば栗山地域は個人客のニーズを満たす施設があると十分あると思います。選ぶのはゲストですので、色々な使用目的を持った施設があると楽しみです。	1. 栃木、福島、新潟その他近隣の県との広域観光への連携が必要と思います。 1. 国内のみならず海外からのインバウンドのゲストを福島空港から入り福島空港あるいは他の空港からの出発を組み合わせ日本の良さを大いに満喫して頂くような旅行プランを立て、セールスプロモーションをする事が大切だと思います。 1. 経営する人、社員の笑顔とやる気が大切です。
7	4 個人客の方がやや多い	降雪時は従業員全員で敷地内駐車場は当然の事として、当館敷地の道路、間口部分の車道の雪かきをしている。 (当館内外で事故が起こった時は天災ではなく人災であるという教育をしている)	エージェン特よりの集客依存度が高すぎるのではないかと思います。AGTに対する団体ではなく、パーソナル商品の売り込みの強化が必要。私を含めてホテル経営(運営)責任者が団体集客はプラスαであるという意識も持つ事と顧客(個客)第一主義、お客様の目線でのおもてなしの実現が必要と思います。	藤原町一万人超の全体でのまとまりのあるイベントが出来ていない。“鬼まつり”“桜まつり”“竜王峡のまつり”“夏まつり”等々、各エリア毎の人々が行っている様で町民全体での祭り及び鬼怒川に來られたお客様と一緒に“見て、ふれて”のイベントとは思えない。町、観光協会、各施設が一体となって意見を出し、お金を分担し合っイベントを実施すべきと思います。※河口湖(山梨)では7～8年前より冬期集客対策として日本人の心を癒す“冬花火大会”を1月第1週の(土)(日)8日間実施致し50%前後の集客増と聞いております。費用は町、組合、各ホテル旅館で分担しているそうです。

8	4 個人客の方がやや多い	食材になるべく県産品を取り入れたメニューにする。数件の旅館で自由に往来できる「芸術散歩」というタイトルで各種の作品をロビーに展示。将来お客様にお茶のおもてなしができたという願いで、社員に作動のおけいこをして貰っている。	旅館の大型化によるサービスの低下では？情報化の時代なので、お客様の旅行に対する知識が驚く程の内容です。その様なお客様に対してお料理・施設・サービス全てに得をした、と思っ て頂ける内容にしなればなりません、現実には社員は少ない、設備は老朽化するという状況で、並の努力では乗り切る事ができないと思います。	○町全体でお客様をお迎えしていません、という雰囲気をつくって行く事が大切だと思います。 (例、長崎県平戸では、おひな様を各個人、お店で飾ってお客様にみて頂く、というお話を聞いたことがあります) 皆で、お客様の為に何かをしたり、作ったり、という事と、この町に住んでいるからには、観光で成り立っているという再認識をして頂く為の講習を重ねて行く事が必要な気がします。 ○文化の町を目指すのであれば、きちんとした茶室を備えることを強く希望致します。町民の研修の場所ともなり、どの様なお客様でもおもてなしが可能です。
9	5 ほとんどが個人客			<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生を考えるより先に、ホテル・旅館まず再生を考える。 ・社員が集まる場所をつくり(飲食店)情報交換の場をつくる。 ・社員が元気な地域を見出す。
10	5 ほとんどが個人客		有能な人材が少ない。	
11	5 ほとんどが個人客	温泉街活性化のため、館内施設の縮小及び閉店を進めている。	資金不足。	全体的に宿泊施設の規模を縮小すること。 尚温泉街(商店街)活性化のため宿泊客を館外に出す工夫をする。又周辺環境整備が不可欠。
12	5 ほとんどが個人客			
13	4 個人客の方がやや多い		施設が大きすぎるため、細やかな対応が出来ない。一人一人のお客様に目が行き届く様な教育を従業員にしていない。	草津温泉の中澤敬町長や下呂温泉の山田良司市長のように、観光立国として判断力や経営力のある人がトップでなくては、昔の活気を取り戻す事はできない。 待っていても来ないのだから商店街や旅館が本気で力を合わせて積極的に取り組んで行く事が必要。 具体的には、河川に沿ったきれいな遊歩道を作り、今ある自然を有効利用し、鬼怒川のすばらしさを知ってもらう事が先決である。 “福祉といやし”の温泉地づくり？とあげているが、全く具体的な事が伝わって来ないのが現状である。
14	4 個人客の方がやや多い			※多量のため、次頁にまとめて記載
15	2 団体客の方がやや多い			
16	2 団体客の方がやや多い	ソフト面の充実(お客様の対応、料理他)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人客のニーズに対応するための設備投資(改装他)資金が不足している。 ・従業員のお客に対する「も 	

			てなしの心」が欠如している。	
17	5 ほとんどが個人客	ソフト面の充実に力を入れる。		
18	5 ほとんどが個人客	町のイベント等がある際は、ホームページにも告知している。夜も出来る限り、外の飲食店をすすめている。	総客室数が多いため、お客さまを鬼怒川温泉内の旅館・ホテルで取り合っているため、値崩れがおき、コスト削減、サービスの低下等、個性を出せないのだと思います。また、多額の借入金等により、資金繰りが厳しく、新たな試みが出来ずにいるのだと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・「温泉に来たなー」と思えるようなスポットが必要。 ・昼も夜も、自信をもってお客さまにお勧め出来る温泉街（通り）があれば。 ・今後、旅館・ホテルの空き店舗をどのように活用するかが重要。 ・道づくり（路地に心のこもった石畳） ・ロープウエーに桜・紅葉の植樹 ・駅内、ホームに木の温もりで（柱・壁、照明（灯笼、雪洞））お迎え。 ・歩いて楽しい、見て楽しい外観（建物）の規制・条例
19	5 ほとんどが個人客	館内にてくつろいで頂く努力をしている（お客さまが外に出て行かれると「何もないんですね」と戻ってこられる）。下駄を並べたりして、外に出て頂く工夫もしている。	規模が大きすぎるため、個人客の様々な要望に応えにくい。要望に対する、選択できる幅が少ない仕組みになっている（例：夕食対応できる食事場が町に少なすぎる）	<p>旅館・ホテル従事者が、観光に携わる人々に対して、明るい未来の描ける復興後のイメージを強く打ち出す。どんな町になるのか、どんな温泉街になるのか、皆がイメージできる絵・言葉・感覚を表し、共有化する。自分たちがその事柄に対して、「何かを行った」という達成感と「まわりに認められた」と感じる気持ち、「変わった」と実感出来るものを作り出せたら、町や街に対して愛着が湧いてくると思います。「一緒にやろう！」と誘いあい、語り合い、にぎわっていくものと感じます。考えは誰にでもあるが、「実行」するかしないかで、大きく変わっていくのではないのでしょうか。</p>
<p>問6「鬼怒川温泉の〔強み〕はなにか」に対する「その他」回答：街全体で活性化していこうとする姿勢が、以前に比べて強くなった。国や自治体からも注目を浴び、色々な資源が投球されようとしている点。</p> <p>問7「鬼怒川温泉の〔弱み〕はなにか」に対する「その他」回答：足銀関連の問題点が旅館街を直撃している。まだまだ復興モードになっていない。</p> <p>問11「〔福祉観光〕〔ヒーリング（癒し）観光〕への協力について「積極的に協力したい」という回答の備考：ヒーリング観光で協力したいと考えている。介護サービスは当館では行えない。質の高い介護サービスを提供する自信がない。</p>				

No16 の問 13「今後、鬼怒川温泉がにぎわいを取り戻すためには、どのような工夫をする必要があるか」に対する回答

魅力ある温泉観光地に向けて

○全町 IT 町づくり（光ファイバー網の整備）……全国のモデル地区を目指す
サーバーを一カ所にして全町で使用（共同でならハイレベルなものを安く使える）
旅客が旅先で仕事ができる
全町民インターネットの利用……情報伝達のスピード化・共有化
全町に監視カメラの設置……防災・防犯・不法投棄防止
保育園では母親がいつでも子供を見られて安心
（プライバシーとの兼ね合いの検討は必要）

○全町 バリアフリー（ユニバーサルデザイン）化……人に優しい町づくり
バリアフリー施設整備資金の助成をお願いしたい……全国のモデル地区を目指す

○景観の抜本的見直しと徹底した美化（景観法による景観形成事業推進費の活用）
廃屋化した建物の取り壊しと整備・活用（公園・遊歩道・演舞場・陶芸教室など）
伝染の地中化と歩道の整備
河川の徹底した保護と河川利用（地域を決めメリハリある行動計画）
（環境省・砂防法との調整必要）

○全町あげて環境問題への取り組み
地域発電・地域冷暖房
ごみのリサイクル運動（食材ごみ→肥料→有機栽培→各旅館で使用→食材ごみ→）

○観光戦略と誘客活動

※外客を積極的に受け入れる

国のビジットジャパンキャンペーンとの連携強化

各交通機関へのアプローチ（ルートや割引など）

海外への広告宣伝活動

受け入れ態勢の整備……多国籍語看板の設置・各受け入れ機関のマニュアル整備

※産業観光として誘客

栃木県の産業を有効に活用させて頂き、国内外から誘客する

※地産地消運動との連携強化

栃木県の農産物を積極的に料理に使う……食の安全と県産物の宣伝

※オリジナリティ豊かな観光設備の整備

当町でなくては味わえない情緒性・イベント性に富んだ観光施設の設置

※人材の育成と教育の徹底化・鬼怒川スタンダードの確立

訪れた観光客が必ずリピーターになってもらえるように努力する

※これからの旅行トレンドを徹底的に研究する期間の設立

※全国「ことばの 110 番」の新設（病院・警察・交通機関・旅館・ホテル・行政機関他必要）

ビジットキャンペーンの関係からも必要。有料でもよいのでは？

○オリジナリティ豊かな観光設備の整備について

当町でなくては味わえない情緒性・イベント性に富んだ観光施設の設置が必要であろう。

◎駅前設備に関して

メインテーマ：自然・温泉・緑（藤）・水・風・光・音・枕木（鉄道と自然）

サブテーマ：イベント性・驚き（感動）・オリジナリティ

ターゲット：女性・家族・子供などを意識して、設計のやり直しを望みます。

足湯：日本一・非常に景色の良い・等の条件が付かないとあまり魅力的でない。→人まねの典型
→それほどの魅力はなく、数年で廃れてしまうの予想される。

からくり時計：からくり時計を見るために、人が集まるとすれば、かなりお金をかけてオリジナリティに富んだ立派なものを作らなければならない。所詮は、人まねの境をでない。

◎芸術の町としての藤原町の確立について

空き店舗の有効活用から始めたらどうだろうか

◎地域全体として

温泉の町を際立たせることが重要である。

鬼怒川温泉の湧出量及び温度が低下している（需要過多）現状であり、温泉表示問題などもある。

各宿泊施設それぞれが魅力ある温泉施設を作るとは、不可能と思われる。

そこで、鬼怒川温泉に2ヶ所の温泉施設をつくる事を提案します。

その1：景色の素晴らしいところに、大浴場・露天風呂・温泉プール・エステクラブ・美容院（カ
リスマ美容師）・マッサージルーム・談話室（読書室）・巧み館 →ターゲット：女性中心 「車
（駐車場）・徒歩・循環バス」

その2：鬼怒川温泉駅（前）に、大浴場・露天風呂・子供用温泉プール（滑り台や遊戯付）・リ
ハビリ用温泉プール（歩行湯）・バリアフリー用お風呂・マッサージルーム・談話室（読書室）・
健康相談室・健康増進室（各種健康器具） →ターゲット：家族・高齢者・地元従業員など 「電
車・徒歩・循環バス

※この2ヶ所と各テーマパークを循環バスでつなぐ。→温泉観光地として良いイメージが定着
し、安定した顧客の確保ができる。又、温泉療養などの新しいニーズも喚起できる。（歩く人
が増える→にぎやかな町となり、商店等が繁盛する。 東武鉄道乗客増→東武鉄道の協力→
鉄道の重要性）

(5) 福島空港利用ツアーの社会実験

①実施概要

○目的

福島空港～日光・鬼怒川温泉間で実証実験運行されている高速バスを活用し、関西、九州、北海道等の遠隔地から鬼怒川温泉への周遊旅行の可能性と問題点を検証する。

○モニター

JTBを通じて、九州地方に在住する7名(全員女性 20～50 才代)のモニターを募集。

○旅程

2月19日(土)	15:10	福岡空港発、ANA848便(空港までの交通費は自己負担)
	16:45	福島空港着
	17:00	高速バスにて日光・鬼怒川に向けて出発
	19:30	鬼怒川温泉着。鬼怒川金谷ホテル泊
2月20日(日)		ジャンボタクシーにて鬼怒川温泉周辺を観光
	14:36	下今市駅発、きぬ 124号で東京に向けて出発
	16:13	浅草駅着。浅草ビューホテルへ移動し、チェックイン。
	17:00	旅行の感想に関するヒアリング(30分～1時間程度)
		浅草ビューホテル泊
2月21日(月)		都内観光(都内での諸費用は自己負担)
	17:10	羽田空港発、ANA263便で福岡に向けて出発
	19:00	福岡空港着、解散(空港からの交通費は自己負担)

○モニターの感想・意見

- ・2月 20 日(日)浅草ビューホテルに於いて、モニター参加者全員に、福島空港からの高速バス利用の感想や鬼怒川温泉の印象を聴取し、併せてアンケートを行った。

(福島空港でのバスへの乗り換えはスムーズ)

- ・空港出口正面にバス乗り場があり、乗り換え時間 15 分でも問題ないが、荷物を預けた場合は乗り遅れが不安との意見あり。

(飛行機の到着時間が遅いため(外が暗くて)バス車窓の景観が楽しめない)

- ・鬼怒川温泉到着時間が 18:30 と遅く、宿到着後の食事や入浴が慌ただしいこと、また旅程の1日目をほとんど移動に費やすことから、昼頃に空港に到着することが望ましいとの意見が多数。

(鬼怒川温泉より日光が目的)

- ・遠方から来る場合は、鬼怒川温泉より日光が主要な目的地であるため、日光観光にもっと時間を費やせるスケジュールが望ましいとの意見あり。

(高速バスよりツアーバス)

- ・空港と鬼怒川温泉を直通で結ぶ高速バスより、途中的那須や塩原の観光地に立ち寄り、様々な楽しみと休息を交えつつ、移動と観光が同時に出来るツアーバスの方が望ましいとの意見あり。

②ツアー企画の検討

1. 実験の目的

遠隔地から鬼怒川温泉へのアクセス手段として、福島空港利用による空路の可能性と問題点を調査し、鬼怒川温泉の集客促進方策検討の資料とする。

2. 実験の概要

「栃木県北地域・福島空港間高速バス等運営委員会」(東武バス日光(株)、福島交通(株)、関東自動車(株)、ジェイアールバス関東(株)、東野交通(株)、(社)栃木県バス協会)が、国土交通省の「広域的な公共交通利用転換に関する実証実験」の認定を受けて運行している、福島空港ー日光・鬼怒川間の直通高速バスを利用し、関西圏などから福島空港を利用して鬼怒川温泉に宿泊するツアーを企画・実施し、モニターにその評価を聴取する。

3. 実施の体制

(財)都市づくりパブリックデザインセンター内に事務局を設け、藤原町、地元の協力を得ながら実施する。

4. モニターの募集

関東運輸局の協力を仰ぎ募集する。

5. 実施の方法

旅行代理店を通じて所用の搭乗券、乗車券、宿泊券を用意するとともに、自由時間内の参考となる資料(バス等の時刻表、観光スポットの資料等)を事前配布し、指定した旅程に従って旅行をしてもらう。

モニター全員が団体行動を取るのではなく、各グループ毎の行動とする。

6. 実施の時期

2月上旬の週末

7. ツアー企画案(詳細別紙)

以下の3ケースより今後検討し、具体案を作成する。

- ・ケース1：[土・日] 利用の1泊2日鬼怒川ツアー
- ・ケース2：[金・土・日] 利用の2泊3日東京・鬼怒川周遊ツアー
- ・ケース3：[土・日・月] 利用の2泊3日東京・鬼怒川周遊ツアー

8. モニターへの意見聴取

モニターに事前にアンケート用紙を配布し、帰宅後事務局へ郵送してもらう。

- ・ 空路、高速バスを活用した鬼怒川温泉へのアクセスの評価、問題点
- ・ 鬼怒川温泉に対する評価、問題点
- ・ 遠隔地から鬼怒川温泉への旅行を活性化するための問題点など

9. 要検討事項

- ・ 経費負担のあり方（事務局負担、モニター負担の区分など）
- ・ 添乗の必要性
- ・ 欠航時、ダイヤ遅延時等の対応
- ・ 鬼怒川温泉における活動メニュー（現状では冬期の個人客向けの楽しみが少ない。別途開催の空店舗活用社会実験等とのタイアップや、本実験向けの臨時的湯巡り券などを検討する必要がある。）

ケース1：[土・日] 利用の1泊2日鬼怒川ツアー

関西①	8:10 伊丹空港発	～	9:15 福島空港着	(25分接続)	9:40 福島空港発	～	12:10 鬼怒川温泉駅着
名古屋	8:05 中部国際空港発	～	9:15 福島空港着	(25分接続)			
関西②	11:15 伊丹空港発	～	12:20 福島空港着	(20分接続)	12:40 福島空港発	～	15:10 鬼怒川温泉駅着

第1日目 (土曜日)	午前：居住地から鬼怒川へ移動 午後：自由行動（日光観光、鬼怒川温泉で湯巡り・散策など） 鬼怒川温泉泊
第2日目 (日曜日)	午前：自由行動（鬼怒川温泉散策など） 午後：居住地へ帰宅

名古屋	12:50 鬼怒川温泉駅発	～	15:20 福島空港着	(40分接続)	16:00 福島空港発	～	17:20 中部国際空港着
関西				(70分接続)	16:30 福島空港発	～	17:45 伊丹空港着

ケース2：[金・土・日] 利用の2泊3日東京・鬼怒川周遊ツアー

※直通高速バスが土日運行のため、往路は東京で1泊

第1日目 (金曜日)	午前：居住地から東京へ移動 午後：東京にて自由行動（浅草観光など） 東京泊
第2日目 (土曜日)	午前：東武日光線にて鬼怒川に移動 午後：自由行動（日光観光、鬼怒川温泉で湯巡り・散策など） 鬼怒川温泉泊
第3日目 (日曜日)	午前：自由行動（鬼怒川温泉散策など） 午後：居住地へ帰宅

名古屋	12:50 鬼怒川温泉駅発	～	15:20 福島空港着	(40分接続)	16:00 福島空港発	～	17:20 中部国際空港着
札幌				(55分接続)	16:15 福島空港発	～	17:35 新千歳空港着
関西				(70分接続)	16:30 福島空港発	～	17:45 伊丹空港着
福岡				(50分接続)	17:10 福島空港発	～	19:10 福岡空港着

ケース3：[土・日・月] 利用の2泊3日東京・鬼怒川周遊ツアー

※直通高速バスが土日運行のため、復路は東京で1泊

関西①	11:15 伊丹空港発	～	12:20 福島空港着	(20分接続)	17:00 福島空港発	～	19:30 鬼怒川温泉駅着
名古屋	14:25 中部国際空港発	～	15:35 福島空港着	(85分接続)			
福岡	14:10 福岡空港発	～	15:45 福島空港着	(75分接続)			
関西②	14:55 伊丹空港発	～	16:00 福島空港着	(60分接続)			
札幌	15:20 新千歳空港発	～	16:40 福島空港着	(20分接続)			

第1日目 (土曜日)	午後：居住地から鬼怒川へ移動 関西①は、到着後自由行動（鬼怒川温泉散策など） 関西①以外は、夕食時間について宿泊施設側の対応が必要 鬼怒川温泉泊
第2日目 (日曜日)	午前：自由行動（日光観光、鬼怒川温泉で湯巡り・散策など） 午後：引き続き自由行動後、東武日光線で東京へ移動 東京泊
第3日目 (月曜日)	午前：自由行動（浅草観光など） 午後：居住地へ帰宅

※名古屋便は平成17年2月17日より就航予定